

令和6年度 年間指導計画 教科・領域名「国語(コミュニケーション)」科

	「働く」 主体的に社会貢献できる職業人をめざします。 ◎働くことを目指した学びを通して、働く意味や喜びを知り、主体的に社会とつながり、もてる力を発揮し貢献する力を育てます。	「自立」 社会や他者とつながりもてる自立した社会人をめざします。 ◎社会とつながり、多様な人々との交わりを通して、自己の理解を深め、他者と行動しながら自分らしく社会生活を送ることができる力を育てます。	「自己実現」 自分の幸せを思い描き、実現していく人をめざします。 ◎社会や他者を尊重し、自己の夢や希望に向かって、自分らしく幸せに生活するために自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力を育てます。
知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	社会状況の変化に応じた働くことを目指した活動を通して、働くうえで の生きた知識 や 一般化できる技能 を身に付けることができる。	社会とつながり多様な人々と交わったり、自立生活につながり する知識や技能を理解し、活用することができる。	自分の幸せや豊かな生活の実現のために 多様な見方・考え方を働かせて、生きた知識や技能 を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、できることをどう使うか)	多様化している ニーズや状況の変化、場に応じて対応 できるように、 見方・考え方や判断、相談力 を身に付けることができる。	課題解決に向けて、 自己を知り、自ら目標を立て他者に協力を求めたり、相談したり することができる。	幸せな人生について考えたり、 夢や希望 を思い描いたりして、 実現のために何が必要かを考え、判断し、表す ことができる。
学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)	働く意味や喜び を見出し、 他者と協働 しながらもてる力を発揮し、社会に貢献することができる。	社会の 課題について自分ごととして考え、自己理解を深め、他者と協働しながら自分らしく社会生活を送る ことができる。	生涯を通して働くことに 意味を見出し、豊かな生活のために芸術やスポーツと関わり、幸せな生活するための素地 を作ることができる。
目標 1年生 第1段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等 ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。 ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 ・言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。		目標 2・3年生 第2段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等 ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	

学習計画

1年生			2年生			3年生					
月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標(何ができるようになるか)	方法(どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標(何ができるようになるか)	方法(どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標(何ができるようになるか)	方法(どのように学ぶか)
4月	1「自己紹介をしよう①」クラス1 2「1年後の自分への手紙」2 3「日記を書こう」2	1(関・話)-1相手や目的に応じた話し方で話すこと。 -2相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気を付けて話したり、必要な話し方を工夫したりすること。 2(書)-1伝えたい事情を、相手に伝わるように構成を考えること。 -2文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。 3(書)-1「1・2共通」見聞したことや経験したことの中から書くことを選び、伝えたいことを明確にすること。	1 履きたる項目や自分のためだけの項目について発表する。 -友達の発表を聞いてメモをとりたり質問したりすること。 2 書く目的を明確にし、入学当初の思いを文章で表現すること。 -「手紙」の形式に合わせ、「思い」を言葉にする。発表する。 3 1冊を企画して文章を基本形式で、細かな事項にフォーカスして既読したり、文章を作る。	4月	1「自己紹介をしよう③」3	1(関・話)-1相手や目的に応じた話し方で話すこと。 -2相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気を付けて話したり、必要な話し方を工夫したりすること。	1 事前に話す内容を自分たちで相談して決める。それに沿って自己紹介をする。	4月	1「自己紹介をしよう④」1 2「小説に親しもう②」4	1(関・話)-1相手や目的に応じた話し方で話すこと。 -2相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気を付けて話したり、必要な話し方を工夫したりすること。 2(知)-1幅広く読書に親しみ、読書に必要な知識や情報を得ることに関心を持つこと。 -2日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づくこと。	1 事前に話す内容を自分たちで相談して決める。それに沿って自己紹介をする。 2 興味のある作品を複数読む。 -進んだ理由を発表する。 -感想を付箋に書いて本に貼る。
5月	4「図書室・図書館へ行こう」3 5「文章力をupしよう①」3 歌謡・主述の関係・助詞の使い方	4(学)-1「1・2共通」幅広い分野の書物にふれることにより、興味関心の幅を広げる。 5(知)-1主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解すること。 日常よく使われる歌謡を理解し使うこと。 -2文と文との接続の関係、文章の構成を理解すること。 日常よく使われる歌謡を理解し使い慣れること。	4 図書室や図書室と連携し、図書室で読む。 -図書室の分類について学ぶ。 -キーワードをもとに、1冊の本を選ぶ。 5 歌謡の種類や文の構成等の基本を学ぶ。 -身近な文章から、使い方を学ぶ。 -短文を作り、実践的な力を養う。	5月	2「5 作業日記をつけよう」4	2(思判・書)-1見聞したり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くこと。 -2目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。	2 作業全体の計画や予定を知り、目標や日程、工程を考える。 -作業の進捗状況や自分・班員の様子を記録すること。 -次回以降にいかせることを考え、記録する。	5月	3「伝えよう～POP作り②」4	3(思・表)-1「1・2共通」書く内容を決める。相手に伝わるように書き表し方を工夫すること。	3 自分がお薦めしたい本を選ぶ。 -お薦めしたいポイントや、言葉で表現すること。 -POPにどのように書くかと伝わりやすいかを考えて、表現する。
6月	6「自己紹介をしよう②面接」4 7「3 辞書を使う」4	6(関・話)-1相手や目的に応じた話し方で話すこと。 -2相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気を付けて話したり、必要な話し方を工夫したりすること。 7(知・読)-1比較や分類の仕方、辞書や事典の使い方などを理解し使うこと。 -2情報と情報との関係づけの仕方を理解し使うこと	6 自己紹介や自分の長所を話しているモデルを見る。 -「相手」を意識して、自己紹介する。 7 引き方の決まりを知る。テーマを決めて実際に書いてみる。クイズ大会(3ヒントクイズ・暗がらせるルール)決める。	6月	3「5 思い出を文章にして残そう②」 ～修学旅行を振り返る～6 ★特活・総合	3(書)-1相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 -2書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えること。	3 タブレットやPDP等を利用して視覚的な情報を含め、経験したことや感じたこと等を他者に伝えたり記録に残したりする。 →発表	6月	4「11 俳句を作ろう③」6 「12 詩に親しもう③」 ～詩・短歌・俳句を味わい作る～	4(読)-1簡単な文を読み、情景や場面の様子、心情などを想像すること。 (知)-1自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむこと。 -2易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。	4 様々な作品にふれ、その作品が生まれた背景や作者について調べ、発表する。 発表して、自分の考えや感じたことなどを伝える。
7・8月	8「文章力をupしよう②」4 歌謡・クッション言葉	8(知)-1主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解すること。 日常よく使われる歌謡を理解し使うこと。 -2文と文との接続の関係、文章の構成を理解すること。 日常よく使われる歌謡を理解し使い慣れること。	8 歌謡の語彙や表現を知る。「クッション言葉」の役割を知る。 -身近な文章から、使い方を学ぶ。 -短文を作り、実践的な力を養う。	7・8月	4「11 俳句を作ろう②」4 「12 詩に親しもう②」 ～詩・短歌・俳句を作る～	4(読)-1簡単な文を読み、情景や場面の様子、心情などを想像すること。 -2様々な作品に触れ、情景や場面の様子、心情などを想像すること。 (知)-1自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむこと。 -2易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。	4 様々な作品にふれ、その作品が生まれた背景や作者について調べ、発表する。 発表して、自分の考えや感じたことなどを伝える。	7・8月	5「6 読書を書く②」 ★職業基礎 ～読書作成～4	5(読)-1文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこと。 -2用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めて書くこと。 (表・書)-1「1・2共通」自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	5 履修の形式や役割を知る。 -自分の長所や短所を考える。自己評価だけでなく他者から見た自分を知ることができよう。お互いの良いところを伝え合う。 -勉強目標、目標や「なぜその会社で働きたいのか」等の観点で考える。
9月	9「6 小説に親しもう①」4 10「文章力をupしよう③」4 慣用語・故事成語など	9(知)-1幅広く読書に親しみ、読書に必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくこと。 -2日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づくこと。 10(知)-1「1・2共通」生活の中で使われる慣用語、故事成語などの意味を知り、使うこと。	9 様々な作品にふれる。 -作品から得たことや感じたことを発表すること。 10 慣用語や故事成語について調べ、慣用語や故事成語を使った文を作る。 -かるたの読み札・取り札を作製し、かるた大会を開催する。	9月	5「13 劇発表をしよう①」8	5(表・話)-1相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 -2資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。	5 提示されたテーマや環境の中で、個人やグループで発表する内容を考える。相手により「伝える」ための方法を工夫する。→学習発表会や舞台発表する。	6「13 劇発表をしよう②」8	6(表・話)-1相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 -2資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。	6 提示されたテーマや環境の中で、個人やグループで発表する内容を考える。相手により「伝える」ための方法を工夫する。 →学習発表会や舞台発表する。	
10月	11「伝えよう～POP作り①～」6 12「4 インターネットを検索しよう」4 ★情報文化	11(思・表)-1「1・2共通」書く内容を決める。相手に伝わるように書き表し方を工夫すること。 12(知)-1「1・2共通」情報と情報との関係について理解すること。目的や意図に応じて集めた情報の内容を捉えること。	11 本の「好きなシーン」どこが面白いのか、どんな人にオススメ?等、対話で探っていく。自分だけの効果的な表示の仕方や役割を調べる。自分を作る。 12 検索エンジンにキーワードを入力する。求めている情報を得るために、キーワードを工夫する。注意点やルールを学ぶ。	10月	6「14 書き初めをしよう③」3	6(書・表)-1「1・2共通」目的や意図に応じて書くことを決め、書き表し方を工夫すること。	6 提示されたフォーマットやテーマに応じた書き方を決める。作品を作り、展示する。	10月	7「14 書き初めをしよう③」3	7(書・表)-1「1・2共通」目的や意図に応じて書くことを決め、書き表し方を工夫すること。	7 提示されたフォーマットやテーマに応じた書き方を決める。作品を作り、展示する。
11月	13「11 俳句を作ろう①」6 「12 詩に親しもう①」 ～詩・短歌・俳句にふれる～	13(読)-1簡単な文を読み、情景や場面の様子、心情などを想像すること。 -2様々な作品に触れ、情景や場面の様子、心情などを想像すること。 (知)-1自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむこと。 -2易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。	13 様々な作品にふれ、その作品が生まれた背景や作者について調べる。→発表	11月	7「9 メールやメッセージアプリの使い方」3	7(知判表・書)-1「1・2共通」メールやメッセージアプリのルールやマナーを知る。 情報やSNSの安全な使い方を学ぶ。	7 アプリやソフトで使える身近な伝達ツールを知る。 -自分よく使うツールの使用例や使用時の注意点等を調べて発表し、一般的なルールやマナーを学ぶ。(何回送るといい?)	11月	8「15 思い出を文章にして残そう②」 ～学校生活を振り返る～2	8(書)-1書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくらせたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。 -2筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えること。	8 3年間や学校生活でどのような経験をしたか振り返る。 -経験したこと、学んだことや感じた思いを文章にする。 -読み手に伝わりやすい表現を考える。→発表
12月	14「6 履歴書を書こう①」 ★職業基礎 ～自己紹介作成に向けて～4 15「14 書き初めをしよう①」3	14(書)-1文字の形に注意しながら、丁寧に書くこと。 自分が書いたものを読み返し、間違いを正すこと。 -2漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。 自分が書いたものを読み返す習慣を身に付け、間違いを正したり、語と語との続き方を確かめたりすること。 15(書・表)-1「1・2共通」目的や意図に応じて書くことを決め、書き表し方を工夫すること。	14 履歴書や履歴書を作成する。履歴書に書くことの意味を知ること。 15 履歴書や履歴書を作成する。履歴書に書くことの意味を知ること。 ①実際に文章を組み立ててお礼状を書く。 ②実際に文章を組み立ててお礼状を書く。	12月	8「文章力をupしよう④」4 言葉の意味・句読点の役割	8(知判)-1句読点の使い方を意識して打つこと。表現したり理解したりするために必要な語句の量を増す。 -2表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすること。	8 身近な言葉の意味や使い方をまとめ、発表し、お互いの感覚や使い方を共有する。 -句読点の役割を知り、伝えたいことが正確に伝わるための使い方を考える。	12月			
1月	16「7 修学旅行を計画しよう①」 ～修学旅行・校外学習のグループ別行動の計画立案に向けて～8 ★特活・総合	16(関・話)-1目的や進め方を確認し、司会などの役割を兼任しながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。 -2互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめること。	16 1自分の考えをまとめる。 話し合いをし、合意形成を目指す。 -ガイドマップ等、資料を作成する。	1月				1月			
2月	17「10 お世話になった人にお礼の手紙を書こう～お礼状作成に向けて～」7	17(書)-1「1・2共通」お世話になった方への感謝の気持ちを書き言葉で表現すること。 -1挨拶などに書かれた語句や文を隠し書きしたり、季節に応じた表現があることを知る。 見聞したことや経験したことの中から、伝えたい事情を選び、書く内容を大まかにまとめること。 -2日常よく使われる歌謡を理解し、使い慣れること。 見聞したことや経験したこと、事象と自分の考えとの違い等が相手に伝わるように書き表し方を工夫すること。	17 ①時候の挨拶や季節・結語の役割や意味を調べながら共有する。 ②実際に文章を組み立ててお礼状を書く。	2月				2月			
3月	18「15 思い出を文章にして残そう①」 ～1年の振り返り～」6	18(思・表)(書)-1書くこととして明確になっているか、文章に対する感想や意見を書き表し、自分の文章のよさや悪いところを見つけて、文や文章を整えること。	18 4月に書いた手紙を読む。 -入学後の1年間を振り返り、楽しかったことや経験したこと、次年度への課題等を文章に表現する。→発表	3月				3月			

令和 7年度 年間指導計画 教科等名 「社会科」

【二つ橋高等特別支援学校の3年間でめざす資質・能力】

	「働く」 主体的に社会貢献できる職業人をめざします。 ◎働くことを目指した学びを通して、働く意味や喜びを知り、主体的に社会とつながり、もてる力を発揮し貢献する力を育てます。	「自立」 社会や他者とつながりがもてる自立した社会人をめざします。 ◎社会とつながり、多様な人々との交わりを通して、自己の理解を深め、他者と行動しながら自分らしく社会生活を送ることができるよう育てます。	「自己実現」 自分の幸せを思い描き、実現していく人をめざします。 ◎社会や他者を尊重し、自己の夢や希望に向かって、自分らしく幸せに生活するために自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力を育てます。
知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	社会状況の変化に応じた働くことを目指した活動を通して、働くうえで 生きた知識や般化できる技能 を身に付けることができる。	社会とつながり多様な人々と交わったり、自立生活につながったりする知識や技能 を理解し、活用することができる。	自分の幸せや豊かな生活の実現のために 多様な見方・考え方を働かせて、生きた知識や技能 を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、できることをどう使うか)	多様化している ニーズや状況の変化、場に応じて対応 できるように、 見方・考え方や判断、相談力 を身に付けることができる。	課題解決に向けて、 自己を知り、自ら目標を立て他者に協力を 求めたり、相談したりすることができる。	幸せな人生について考えたり、 夢や希望 を思い描いたりして、実現のために 何が必要かを考え、判断し、表す ことができる。
学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)	働く意味や喜び を見出し、 他者と協働 しながらもてる力を発揮し、 社会に貢献 することができる。	社会の 課題について自分ごととして考え、自己理解 を深め、 他者と協働 しながら自分らしく 社会生活を送る ことができる。	生涯を通して働くことに意味を見出し、豊かな生活のために芸術やスポーツと関わり、 幸せな生活するための素地 を作ることができる。

目標 第1段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等	目標 第2段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等
・我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、農業や水産業の現状、産業と経済との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを選択・判断したことを表現する力を養う。 ・社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。	・我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、工業の現状、産業と情報との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 ・社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う、国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

学習計画		1年生 【35時間】		2年生 【35時間】		3年生 【30時間】	
月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示 【時間】	目標(何ができるようになるか)「働くための心構え」/「O作業」	方法(どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標(何ができるようになるか)「働くための心構え」/「O作業」	方法(どのように学ぶか)
前期	4月	●ガイダンス① ●学校生活のきまり⑤ ●社会人が意識している約束事 ●本校「生徒心得」を考える ※(ア 社会参加ときまり)	●1年間の学習内容を知ることで見通しをもつ。 ●本校が将来「働き・自立・自己実現」することを目指す学校であることを踏まえて、身近な社会人が意識的に守っているきまりやマナーを知ったり、本校が大切にしているきまりやマナーを理解することで、自分との関わりについて考え、自ら進んで実践する気持ちになる。	4月	●ガイダンス① ●修学旅行訪問先研究⑤ ●修学旅行訪問先の地形と産業 ●修学旅行訪問先の歴史 ●修学旅行訪問先のくらし ●私の修学旅行訪問先研究★特別活動(学校行事) ※(オ 我が国の国土の様子と国民生活、歴史)	●1年間の学習内容を知ることで見通しをもつ。 ●修学旅行訪問先の特色を多面的・多角的に理解し、それを基に自ら研究・探究したいテーマを決め、様々な資料から適切な情報を選んだり、実際に訪問したり、他の生徒の学習の様子を手掛かりにしたりすることでまとめ、発表できるようにする。	●「訪問先の位置や地形は横浜市とどう違うのか」「訪問先と横浜での生活はどう違うのか」などの「問い」について考え、他の生徒と意見交換をする。 ・自分で訪問先に関して研究したいテーマを決め、事前調査をした上で遠足で調査をし、その結果をまとめ、発表できるようにする。
	5月	※(イ 公共施設の役割と制度)	●日本の税金③ ●日本の福祉制度④ ※(イ 公共施設の役割と制度)	5月	●私たちの生活と仕事⑥ ★職業基礎 ※(エ 産業と生活)	●具体的な仕事の種類とつながりながら、日本の農業・漁業・工業の特色とその生産場所や流通過程、変化を知ることで多面的・多角的に理解し、私たちの生活とどうつながっているかを考える。また、身近な地域の特色を踏まえた「ヨコハマブランド」を考え、まとめ、発表できるようにする。	●「野菜の値段が季節や年、場所によって違うのはなぜか」「スーパーに様々な産地の特産品があるのはなぜか」「令和時代になくならない製品はなに」などの「問い」について考え、他の生徒と意見交換をする。 ・私が考える地域の特色を生かした「ヨコハマブランド」を考え、まとめ、発表する。 ＜主な教材＞ ・修学旅行訪問先動画ホームページ・動画・地図
	6月	●遠足訪問先研究⑩ ●遠足訪問先の地形 ●遠足訪問先の歴史 ●遠足訪問先のくらし ●私の遠足訪問先研究 ★特別活動(学校行事) ※(オ 我が国の国土の様子と国民生活、歴史)	●9月の遠足訪問先の特色を多面的・多角的に理解し、それを基に自ら研究・探究したいテーマを決め、様々な資料から適切な情報を選んだり、実際に訪問したり、他の生徒の学習の様子を手掛かりにしたりすることでまとめ、発表できるようにする。	6月	●生徒会選挙と選挙制度③ ★特別活動(生徒会活動) ※(ア 社会参加ときまり イ 公共施設の役割と制度)	●次年度中には自分たちに選挙権が与えられることを踏まえて、生徒会選挙と関連させながら選挙制度の概要や意義について理解し、参加する際に大切なことを考えまとめ、様々な様式での正しい投票方法を身に付ける。	●「国や市の代表を選ぶにはどのような方法があるか」の「問い」について考え、意見交換をする。 ・様々な選挙用紙の様式を使って模擬投票をする。
後期	7・8月	●日本の歴史⑧ ※(オ 我が国の国土の様子と国民生活、歴史)	●日本の歴史⑧ ●自分が調べたい歴史的な人物について、様々な資料を活用しながらまとめ、発表できるようにする。	7・8月	●日本の自然・災害・公害⑥ ※(ウ 我が国の国土の自然環境と国民生活)	●過去の日本の自然災害や公害に着目することで、自然災害や公害と自分の生活とのかかわり、やそれに対する国や自治体の対策を理解し、自分にできることを考え、表現する。	●「同じ日本なのに北海道・神奈川県・沖縄県の気候はどうして違うのか」「ハザードマップって何」「公害」とはなにか」などの「問い」について、考え、具体的な利用方法を練習する。 ＜主な教材＞ 教科書 第3章「我が国の国土と自然環境」1、2、3、4
	9月	●世界の人のくらし⑦ ※(カ 外国の様子)	●横浜市の姉妹・友好都市、パートナー都市、共同声明都市に着目しながら、日本の文化や習慣と外国の文化や習慣と比較することで共通点や違いを理解し、SDGsなどの地球規模の課題に対して横浜市が果たしている役割を考えながら自分ができることを考え、表現できるようにする。	9月	●身近な公共施設⑥ ※(イ 公共施設の役割と制度)	●区役所や警察署、病院、郵便局、銀行などの身近な公共施設の役割を理解し、適切な活用方法を調べ、まとめ、自分の生活とのかかわりについて考える。	・「爪が割れたときに何科を受診する」「区役所は何をする場所なのか」「給料はどこで、どのように受け取るのか」などの「問い」について、考え、具体的な利用方法を練習する。 ＜主な教材＞ 教科書 第1章2「公共施設の役割と利用の仕方」
	10月	●私たちが住む横浜市の特色を多面的・多角的に理解し、それを基に自ら研究・探究したいテーマを決め、様々な資料から適切な情報を選んだり、他の生徒の学習の様子を手掛かりにしたりすることでまとめ、発表できるようにする。	●「歴史をどうして学ぶのか」「聖徳太子は日本ではじめての何を制定したのか」「広島県産物産列強はどのようにして原爆ドームになったのか」などの「問い」について考え、他の生徒と意見交換をする。 ・自分で詳しく調べてみたい日本の歴史上の人物を選び、調べ、まとめ、他の生徒に発表する。 ＜主な教材＞ 教科書 第6章「人物で学ぶ我が国の歴史」	10月	●日本の政治の仕組み④ ※(イ 公共施設の役割と制度)	●立法・行政・司法の三権に着目することを通して日本の政治の仕組みや働きについて理解し、国民の生活と政治のかかわりについて考える。	・「日本のルールは誰が、どのように決めているのか」「日本は競争できるのか」「日本の代表者を決めるのか誰か」などの「問い」について考え、他の生徒と意見交換をする。 ＜主な教材＞ 教科書 第2章2
11月	●修学旅行で利用する公共施設③ ★特別活動(学校行事) ※(イ 公共施設の役割と制度)	●空港・ホテル・博物館・電車などの修学旅行で利用する公共施設の役割を理解し、適切な利用方法について考えたり、表現したりすることを通して自ら進んで実践する気持ちになる。	●「博物館や美術館は必要なのか」「もし飛行機・電車・バスがなかったらどうなる」「みんなの公共物をご利用する」などの「問い」について考え、他の生徒と意見交換をする。	11月	●日本の政治の仕組み④ ※(イ 公共施設の役割と制度)	●「自分の人権はどこまで保障されているのか」「日本は競争できるのか」「日本の代表者を決めるのか誰か」などの「問い」について考え、他の生徒と意見交換をする。 ＜主な教材＞ 教科書 第2章2	●「横浜市の共同声明都市『コトヌー』はどこにあるのか」「SDGsとはなにか、本当に達成することはできるのか」などの「問い」について考え、他の生徒と意見交換をする。 ・横浜市と交流がある都市を選び、文化や習慣の共通点や異なる点を調べ、まとめ、発表する。 ＜主な教材＞ 教科書 第5章
12月	●修学旅行訪問先研究⑦ ●修学旅行訪問先の地形と産業 ●修学旅行訪問先の歴史 ●修学旅行訪問先のくらし ●私の修学旅行訪問先研究★特別活動(学校行事) ※(オ 我が国の国土の様子と国民生活、歴史)	●修学旅行訪問先の特色を多面的・多角的に理解し、それを基に自ら研究・探究したいテーマを決め、様々な資料から適切な情報を選んだり、実際に訪問したり、他の生徒の学習の様子を手掛かりにしたりすることでまとめ、発表できるようにする。	●「訪問先の位置や地形は横浜市とどう違うのか」「訪問先と横浜での生活はどう違うのか」などの「問い」について考え、他の生徒と意見交換をする。 ・自分で訪問先に関して研究したいテーマを決め、事前調査をした上で遠足で調査をし、その結果をまとめ、他の生徒に発表する。 ＜主な教材＞ ・修学旅行訪問先動画ホームページ・動画・地図	12月	●私たちと社会参加③ ※(ア 社会参加ときまり)	●学校目標と関連させ「私はこれかどどのように働き、自立・自己実現するか」を「公共の福祉」の視点を加えながら考え、表現できるようにする。	●卒業後、私たちはどのように生きるのかの「問い」について学習してきたことを踏まえて考え、まとめ、他の生徒と意見交換をする。 ＜主な教材＞ 教科書 第1章1
1月	●空港・ホテル・博物館・電車などの修学旅行で利用する公共施設の役割を理解し、適切な利用方法について考えたり、表現したりすることを通して自ら進んで実践する気持ちになる。	●「博物館や美術館は必要なのか」「もし飛行機・電車・バスがなかったらどうなる」「みんなの公共物をご利用する」などの「問い」について考え、他の生徒と意見交換をする。	1月	●日本の政治の仕組み④ ※(イ 公共施設の役割と制度)	●立法・行政・司法の三権に着目することを通して日本の政治の仕組みや働きについて理解し、国民の生活と政治のかかわりについて考える。	●「自分の人権はどこまで保障されているのか」「日本は競争できるのか」「日本の代表者を決めるのか誰か」などの「問い」について考え、他の生徒と意見交換をする。 ＜主な教材＞ 教科書 第2章2	●「横浜市の共同声明都市『コトヌー』はどこにあるのか」「SDGsとはなにか、本当に達成することはできるのか」などの「問い」について考え、他の生徒と意見交換をする。 ・横浜市と交流がある都市を選び、文化や習慣の共通点や異なる点を調べ、まとめ、発表する。 ＜主な教材＞ 教科書 第5章
2月	●修学旅行で利用する公共施設③ ★特別活動(学校行事) ※(イ 公共施設の役割と制度)	●空港・ホテル・博物館・電車などの修学旅行で利用する公共施設の役割を理解し、適切な利用方法について考えたり、表現したりすることを通して自ら進んで実践する気持ちになる。	●「博物館や美術館は必要なのか」「もし飛行機・電車・バスがなかったらどうなる」「みんなの公共物をご利用する」などの「問い」について考え、他の生徒と意見交換をする。	2月	●日本の政治の仕組み④ ※(イ 公共施設の役割と制度)	●立法・行政・司法の三権に着目することを通して日本の政治の仕組みや働きについて理解し、国民の生活と政治のかかわりについて考える。	●「自分の人権はどこまで保障されているのか」「日本は競争できるのか」「日本の代表者を決めるのか誰か」などの「問い」について考え、他の生徒と意見交換をする。 ＜主な教材＞ 教科書 第2章2
3月	●修学旅行で利用する公共施設③ ★特別活動(学校行事) ※(イ 公共施設の役割と制度)	●空港・ホテル・博物館・電車などの修学旅行で利用する公共施設の役割を理解し、適切な利用方法について考えたり、表現したりすることを通して自ら進んで実践する気持ちになる。	●「博物館や美術館は必要なのか」「もし飛行機・電車・バスがなかったらどうなる」「みんなの公共物をご利用する」などの「問い」について考え、他の生徒と意見交換をする。	3月	●日本の政治の仕組み④ ※(イ 公共施設の役割と制度)	●立法・行政・司法の三権に着目することを通して日本の政治の仕組みや働きについて理解し、国民の生活と政治のかかわりについて考える。	●「自分の人権はどこまで保障されているのか」「日本は競争できるのか」「日本の代表者を決めるのか誰か」などの「問い」について考え、他の生徒と意見交換をする。 ＜主な教材＞ 教科書 第2章2

※ 括弧内は特別支援学校学習指導要領上の内容

特別時間割期間
(社会科の授業の有無や時数は学年判断)

令和 年度 年間指導計画 教科・領域名「理科」科

【二つ橋高等特別支援学校の3年間でめざす資質・能力】

	<p>「働く」</p> <p>主体的に社会貢献できる職業人をめざします。 ◎働くことを目指した学びを通して、働く意味や喜びを知り、主体的に社会とつながり、もてる力を発揮し貢献する力を育てます。</p>	<p>「自立」</p> <p>社会や他者とつながりがもてる自立した社会人をめざします。 ◎社会とつながり、多様な人々との交わりを通して、自己の理解を深め、他者と行動しながら自分らしく社会生活を送ることができる力を育てます。</p>	<p>「自己実現」</p> <p>自分の幸せを思い描き、実現していく人をめざします。 ◎社会や他者を尊重し、自己の夢や希望に向かって、自分らしく幸せに生活するために自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力を育てます。</p>
知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	社会状況の変化に応じた働くことを目指した活動を通して、働くうえでの 生きた知識や般化できる技能 を身に付けることができる。	社会とつながり多様な人々と交わったり、自立生活につながったりする知識や技能 を理解し、活用することができる。	自分の幸せや豊かな生活の実現のために 多様な見方・考え方を働かせて、生きた知識や技能 を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、できることをどう使うか)	多様化している ニーズや状況の変化、場に応じて対応 できるように、 見方・考え方や判断、相談力 を身に付けることができる。	課題解決に向けて、 自己を知り、自ら目標 を立て 他者に協力を 求めたり、相談したりすることができる。	幸せな人生について考えたり、 夢や希望 を思い描いたりして、実現のために 何が必要かを考え、判断し、表す ことができる。
学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)	働く意味や喜び を見出し、 他者と協働 しながらもてる力を発揮し、社会に貢献することができる。	社会の 課題について自分ごと として考え、 自己理解 を深め、 他者と協働 しながら 自分らしく社会生活 を送ることができる。	生涯を通して働くことに意味を見出し、豊かな生活のために芸術やスポーツと関わり、 幸せな生活するための素地 を作ることができる。

<p>目標 1年生 第1段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等</p> <p>①自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせて観察、実験を行う【知識及び技能】 ②観察や実験結果から自分の考えをもつ【思考力、判断力、表現力等】 ③学んだことを日常生活の中で生かす【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>目標 2・3年生 第2段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等</p> <p>①身近な自然の事物・現象について理解を図り、観察・実験に関する技能を身に付ける【知識及び技能】 ②安全に実験を行い、自分の考えを表現し周りと共有しながら考えを深める【思考力、判断力、表現力等】 ③日常生活との関係を知り、学んだことを主体的に生活に生かそうとする【学びに向かう力、人間性等】</p>
---	--

学習計画												
1年生				2年生				3年生				
月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)	
4月	●オリエンテーション ・理科室の使い方とルール ・野草探し ・生き物の仲間分け	①理科室の使い方、実験観察を安全に行うための心がけや服装について理解する。 ②学習したことや自分の考えを表現することができる。 ③様々な生き物について興味を持ち、安全に授業に取り組もうとする。	クイズ形式で安全な実験方法を考える。実験室の物品を実際に見てみる。本校構内にある野草探しなどをして、植物への興味関心を高める。	4月	●自然と災害 火山 地震 地震 川	①火山や地層の仕組みについて知り、地震などに関連させて理解を深める。 ②災害時における対処の仕方について考え、自分の意見を周りと共有することができる。 ③安全な生活の実現のために災害への対処方法について意識を高め、学んだことを主体的に判断して日常生活に生かそうとすることができる。	火山や地層について知り、地震などに関連付けて考える。 顕微鏡を用いて岩石や化石の観察をする。 Ipadを使用し、地震などの自然災害についての調べ学習をする。	4月	●物質 いろいろな物質 気体、状態変化	①身の回りの物質について観察し、特徴や性質について理解を深める。 ②実験や観察から考察し、自分の考えたことを表現することができる。 ③身近なものの原材料や材質に関心を高め、学んだことを主体的に判断して日常生活に生かそうとすることができる。	物質の密度や比重の違いについて実験を通して理解を深める。	
5月	●動物の誕生 (メダカ、ヒト) ★保健	①魚には雌雄があり、メスが産んだ卵が変化して孵ること、人は母体内で成長して生まれることを理解する。 ②メダカの雌雄の違いを見つけ、具体的に表現することができる。 ③ヒトの妊娠の仕組みを知り、妊婦や自分自身に対する行動についてふり返ろうとしている。	メダカの動画や写真をみて雌雄の違いや卵の変化を気づかせる。赤ちゃん模型を抱っこして妊婦の状況を想像させる。「人の誕生」では、保健と連携して学習内容を検討する。	5月		●自然と災害 火山 地震 地震 川	①火山や地層の仕組みについて知り、地震などに関連させて理解を深める。 ②災害時における対処の仕方について考え、自分の意見を周りと共有することができる。 ③安全な生活の実現のために災害への対処方法について意識を高め、学んだことを主体的に判断して日常生活に生かそうとすることができる。	顕微鏡を用いて岩石や化石の観察をする。 Ipadを使用し、地震などの自然災害についての調べ学習をする。		●物質 いろいろな物質 気体、状態変化	①身の回りの物質について観察し、特徴や性質について理解を深める。 ②実験や観察から考察し、自分の考えたことを表現することができる。 ③身近なものの原材料や材質に関心を高め、学んだことを主体的に判断して日常生活に生かそうとすることができる。	物質の密度や比重の違いについて実験を通して理解を深める。
6月	●人の体のつくりとはたらき ★保健 ・各部の名称と臓器 ・体を動かすしくみ(骨格、筋肉、神経等) ・呼吸と循環(肺、心臓、血液) ・消化排出(消化器)	①各部の名称とはたらきについて理解している。 ②実験の結果から、自分が考えたことを表現することができる。 ③自分の健康と体の各部のはたらきの結びつきを知り、生活に生かそうとしている。	人体模型や骨格模型を使って、臓器の位置や骨の位置を確認し、それが自分自身の体のどの位置にあるかを自分で触って確かめる。呼吸では、吐いた空気の二酸化炭素濃度をCO ₂ モニターを使って測定し、吸う空気と吐いた空気との違いを考える。循環や心臓では、運動する前後の心拍数の違いを測ってみる。消化では、炊いた白米などを使い、唾液の働きででんぷんが分解されることを実験で確かめる。	6月		●自然と災害 火山 地震 地震 川	①火山や地層の仕組みについて知り、地震などに関連させて理解を深める。 ②災害時における対処の仕方について考え、自分の意見を周りと共有することができる。 ③安全な生活の実現のために災害への対処方法について意識を高め、学んだことを主体的に判断して日常生活に生かそうとすることができる。	顕微鏡を用いて岩石や化石の観察をする。 Ipadを使用し、地震などの自然災害についての調べ学習をする。		●物質 いろいろな物質 気体、状態変化	①身の回りの物質について観察し、特徴や性質について理解を深める。 ②実験や観察から考察し、自分の考えたことを表現することができる。 ③身近なものの原材料や材質に関心を高め、学んだことを主体的に判断して日常生活に生かそうとすることができる。	物質の密度や比重の違いについて実験を通して理解を深める。
7・8月	●植物の発芽と成長 ・植物の発芽に必要なもの ・条件制御の実験の仕方 ・植物の成長に必要なもの	①植物の発芽や成長に必要なものを知る。植物が成長していく様子を観察し、記録することができる。 ②植物の成長の様子を具体的に表現することができる。 ③学習したことを日常生活やほかの授業で生かそうとする。	インゲンマメの発芽の実験を、条件を変えて実施する。実験の結果から、発芽に必要な条件は何かを考えさせる。	7・8月		●自然と災害 火山 地震 地震 川	①火山や地層の仕組みについて知り、地震などに関連させて理解を深める。 ②災害時における対処の仕方について考え、自分の意見を周りと共有することができる。 ③安全な生活の実現のために災害への対処方法について意識を高め、学んだことを主体的に判断して日常生活に生かそうとすることができる。	顕微鏡を用いて岩石や化石の観察をする。 Ipadを使用し、地震などの自然災害についての調べ学習をする。		●物質 いろいろな物質 気体、状態変化	①身の回りの物質について観察し、特徴や性質について理解を深める。 ②実験や観察から考察し、自分の考えたことを表現することができる。 ③身近なものの原材料や材質に関心を高め、学んだことを主体的に判断して日常生活に生かそうとすることができる。	物質の密度や比重の違いについて実験を通して理解を深める。
9月	●植物の養分と水の通り道 ・でんぷんをつくるはたらき(光合成) ・花のつくり ・結実 ・水の通り道	①光が葉にあたることででんぷんがつけられることを理解する。 ②実験や観察から、自分が考えたことを表現することができる。 ③学習したことを日常生活や他の授業に生かそうとする。	葉に含まれるでんぷんを調べ、日光が植物にとってなぜ必要なかを考えさせる。植物の花の様子を観察する。茎の断面を顕微鏡で観察する。	9月		●天気の変化	①天気の違いの仕方について確認し、天気予報の見方について理解する。 ②学習したことを用いて、自分の考えたことを表現することができる。	テレビや新聞の天気予報から、傘を用意したり気温に合わせた服装を選んだりする等、天気予報から様々なことを予想し、どのような行動をしたらよいか考える。 Ipadを使用し、台風や天気について調べ学習をする。		●電気 静電気 回路 電気製品の使い方	①身の回りの電気器具の安全な取り扱い方について実験を通して理解を深める。 ②友達と協力しながら安全に実験に取り組み、自分の考えを周りと共有することができる。 ③電気機器の安全な取り扱い方の意識を高め、電気の節電の仕方など主体的に判断して日常生活に生かそうとすることができる。	電気器具の安全な取り扱いについて実験を通して考え仲間と共有する。 静電気の発生や回路を作り電気エネルギーについての考えを深める。
10月	●生物と環境 ・食物連鎖 ・環境問題 ・地球をめぐる水	①人にとって必要な水や空気が他の生物や環境をめぐっていることを知る。 ②学習したことから、自分が考えたことを表現することができる。 ③自分の身近な環境と、ほかの生物や広い範囲の環境とのつながりを考え、知ろうとする。	iPadを使って環境問題や食物連鎖について調べる。	10月		●月と太陽	①地球を取り巻く天体に関心をもつ。 ②太陽、地球、月の位置関係によって月の形や見え方に変化が起きることを知る。	太陽、地球、月の位置関係を調べ、どのような変化が起こるのか考えを持つ。		●身の回りの水溶液、医薬品	①身の回りの水溶液や医薬品を実際に見たり触れたりすることでその特徴を理解する。 ②安全に実験に取り組み、自分の考えを周りを共有することができる。	身の周りの水溶液や医薬品についての知識や考えを深める。
11月	●修学旅行事前学習 ・北海道の自然 ・大気圧と飛行機	①修学旅行に行く土地と横浜との違いを知る。 ②学習したことから、自分が考えたことを表現することができる。 ③自分の修学旅行の行動に生かそうとする。	修学旅行の行先に応じて、その土地の興味関心を持つよう題材を設定する。	11月	●月と太陽	①地球を取り巻く天体に関心をもつ。 ②太陽、地球、月の位置関係によって月の形や見え方に変化が起きることを知る。	太陽、地球、月の位置関係を調べ、どのような変化が起こるのか考えを持つ。	●身の回りの水溶液、医薬品	①身の回りの水溶液や医薬品を実際に見たり触れたりすることでその特徴を理解する。 ②安全に実験に取り組み、自分の考えを周りを共有することができる。	身の周りの水溶液や医薬品についての知識や考えを深める。		
12月				12月								
1月				1月								
2月				2月								
3月				3月								

令和 年度 年間指導計画 教科・領域名「 数学 」科

【二つ橋高等特別支援学校の3年間でめざす資質・能力】

	「働く」 主体的に社会貢献できる職業人をめざします。 ◎働くことを目指した学びを通して、働く意味や喜びを知り、主体的に社会とつながり、もてる力を発揮し貢献する力を育てます。	「自立」 社会や他者とつながりがもてる自立した社会人をめざします。 ◎社会とつながり、多様な人々との交わりを通して、自己の理解を深め、他者と行動しながら自分らしく社会生活を送ることができる力を育てます。	「自己実現」 自分の幸せを思い描き、実現していく人をめざします。 ◎社会や他者を尊重し、自己の夢や希望に向かって、自分らしく幸せに生活するために自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力を育てます。
知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	社会状況の変化に応じた働くことを目指した活動を通して、働くうえで 生きた知識や般化できる技能 を身に付けることができる。	社会とつながり多様な人々と交わったり、自立生活につながったりする知識や技能 を理解し、活用することができる。	自分の幸せや豊かな生活の実現のために 多様な見方・考え方を働かせて、生きた知識や技能 を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、できることをどう使うか)	多様化している ニーズや状況の変化、場に応じて対応 できるように、 見方・考え方や判断、相談力 を身に付けることができる。	課題解決に向けて、 自己を知り、自ら目標 を立て 他者に協力を 求めたり、相談したりすることができる。	幸せな人生について考えたり、 夢や希望 を思い描いたりして、実現のために 何が必要かを考え、判断し、表す ことができる。
学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)	働く意味や喜び を見出し、 他者と協働 しながらもてる力を発揮し、社会に貢献することができる。	社会の 課題について自分ごと として考え、 自己理解 を深め、 他者と協働 しながら 自分らしく社会生活 を送ることができる。	生涯を通して働くことに意味を見出し、豊かな生活のために芸術やスポーツと関わり、 幸せな生活するための素地 を作ることができる。

目標 1・2・3年生 第1・2段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等

- ①生活に必要な数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
- ②日常の事象を数理的に捉え道筋を立てて考察し、数学的に表現する力を身に付ける。
- ③数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、多面的に捉え、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。

学習計画											
1年生				2年生				3年生			
月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標(何ができるようになるか)	方法(どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標(何ができるようになるか)	方法(どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標(何ができるようになるか)	方法(どのように学ぶか)
4月	◎オリエンテーション ◎四則計算 ※年間を通して実施 ◎大きな数	①単純なルールに従って、加減および乗除(九九の範囲内)の計算ができる。 また、億や兆の単位について理解し、日常生活の中で大きな数についてイメージすることができる。 ②数の表し方や数量の関係を構成する単位に着目し、表現することができる。 ③大きな数の学習を振り返り、学んだことを生活や学習に活用しようとする事ができる。	・ICT機器を使用し、適宜展開する。(通年) ・単純なルールのある計算パズルやゲームを通して、考察し正解にたどり着く経験を繰り返しながら学ぶ。 ・材料の数や家賃など日常生活の中で出てくる数を用いて大きな数を学ぶ。	4月	◎オリエンテーション ◎四則計算 ◎数学の力、アセスメント	①単純なルールに従って、加減および乗除(九九の範囲内)の計算ができる。 ②パズルに当てはまる数やゲームに適切な数を予想したり、計算と確認を繰り返しながら数学的に考察することができる。 ③正解にたどり着けるように試行錯誤し、数学的活動の楽しさを実感しながら考えることができる。	・ICT機器を使用し、適宜展開する。(通年) ・単純なルールのある計算パズルやゲームを通して、数学的活動の楽しさを実感したりしながら学ぶ。	4月	◎オリエンテーション ◎四則計算 ※年間を通して実施 ◎時刻と時間	①適切な単位を用いて時刻や時間を求めることができる。 ②時間の単位に着目し、時刻や時間の求め方を考察することができる。 ③日常生活において時間の目安を考えて計画を立てるなど学んだことを生活や学習に活用することができる。	・ICT機器を使用し、適宜展開する。(通年) ・実習における時間の使い方について円グラフやタイムテーブルを作成する活動を通して、効率的な時間の使い方を考えるなど日常生活と関連付けて学ぶ。
5月	◎時刻と時間 ○時間の計算	①時刻の単位について知り、それらの関係を理解することで、日常生活の中で時刻を読んで活動できる。 ②時刻と時間を用いて、日常生活における時間の経過を捉えて一日の様子などを表現することができる。 ③時刻と時間の学習を振り返り、日常生活における時間の使い方について計画を立てるなど学んだことを生活や学習に活用しようとする事ができる。	・日常生活における時間の使い方について円グラフやタイムテーブルを作成する活動を通して、時間の長さの感覚を学ぶ。 ・実習概要や経路検索の結果を用いて、必要な時間や時刻を捉え、時刻の進捗から時刻を考えたことなど日常生活と関連付けて学ぶ。	5月	◎およその数	①概数の意味を理解し、四捨五入や切り捨て、切り上げができる。 ②日常の場面に着目し、ねらいに応じた概数にしたり、見積ったりするなど目的にあった数の処理の仕方を考察することができる。 ③概数を用いることで、数の大きさが捉えやすくなり、判断や処理がしやすくなることに気付く、目的に応じて自ら概数を把握しようとする事ができる。	・宿泊学習と関連付けて計画を立てるなどの活動を通して学ぶ。 ・買い物をする場面や値段を概数にして計算するなど日常生活と関連付けて学ぶ。	5月	◎変化と関係 ○比例 ○割合	①比の関係や異なる二つの量の割合、百分率や歩合について理解し、目的に応じて比べたり、求めたりすることができる。 ②日常の事象における数量の割合に着目し、表や式などを用いて変化や比べ方を考察することができる。 ③変化と関係の学習を振り返り、学んだことを生活や学習に活用しようとする事ができる。	・調理材料などの身近な量の比の値を求め、日常生活と関連付けて問題解決しながら学ぶ。 ・黄金比など自然界にある数学的な事象を通して学ぶ。 ・割合など日常生活と関連付けて問題解決しながら学ぶ。
6月	◎長さの単位と測定	①身の回りがある長さの単位と測定について理解し、およその見当を付けるなど量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、用いる単位や計器を適切に選択して測定することができる。 ②身の回りがある長さに着目し、単位を用いて表現したり、比べたりすることができる。 ③長さの単位と測定の学習を振り返り、学んだことを生活や学習に活用しようとする事ができる。	・身の回りがあるものの長さを調べる活動を通して、その量を手掛かりにおよその見当を付けたり、適切な計器を選択したりするなど、実際に測定する経験から学ぶ。	6月	◎図形 ○図形の性質 ○面積 ○体積	①基本的な図形や面積、体積の単位について理解し、およその見当を付けるなど量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、面積や体積を求めることができる。 ②身の回りがある面積や体積に着目し、単位を用いて表現したり、比べたりすることができる。 ③図形の学習を振り返り、学んだことを生活や学習に活用しようとする事ができる。	・身近な物の中に関連する図形を探したり、面積や体積を求めたりするなど、日常生活と関連付けて問題解決しながら学ぶ。 ・物件などの間取りを見たり、家具などの大きさを考えたりして生活空間をイメージするなど日常生活と関連付けて学ぶ。	6月	◎データの活用	①データを表や円グラフ、帯グラフで表す表し方や読み取り方を理解し、問題解決における適切な使い方ができる。 ②目的に応じてデータを収集し、表やグラフに的確に表現することができる。 ③データの活用についての学習を振り返り、多面的に捉えて検討し、学んだことを生活や学習に活用しようとする事ができる。	・生徒の興味のある物でアンケートを実施し、問題解決における適切な使い方を話し合い活動を通して検討しながら学ぶ。 ・データの変化や違いを読み取り、見比べ考察する活動を通して学ぶ。
7・8月	◎金銭の価値や処理 (家計簿①)	①1万円以下の家計簿の書き方(収支・支出・残金)を理解し、レシートや半券などから必要な情報を読み取り、金銭の計算ができる。 ②1万円以下の金銭の価値感覚を豊かにするとともに、家計簿を作成するために必要な情報を選択し、表にまとめることができる。 ③家計簿をつける学習を振り返り、支出の見直しを検討するなど学んだことを生活や学習に活用しようとする事ができる。	・校外学習と関連付けて学ぶ。 ・大きな数など学んだことを活用し、考察した過程や結果などを表を用いて伝え合う活動を通して、互いの考えをより良いものにし、新たな発見が生まれたりするように対話的に学ぶ。	7・8月				7・8月			
9月				9月				9月			
10月	◎重さの単位と測定	①身の回りがある重さの単位と測定について理解し、およその見当を付けるなど量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、用いる単位や計器を適切に選択して測定することができる。 ②身の回りがある重さに着目し、単位を用いて表現したり、比べたりすることができる。 ③重さの単位と測定の学習を振り返り、学んだことを生活や学習に活用しようとする事ができる。	・身の回りがあるものの重さを調べる活動を通して、その量を手掛かりにおよその見当を付けたり、適切な計器を選択したりするなど、実際に測定する経験から学ぶ。	10月	◎データの活用 ○平均 ○折れ線グラフ ○棒グラフ	①データを表や棒グラフ、折れ線グラフで表す表し方や読み取り方を理解し、問題解決における適切な使い方ができる。 ②目的に応じてデータを収集し、表やグラフに的確に表現することができる。 ③データの活用についての学習を振り返り、多面的に捉えて検討し、学んだことを生活や学習に活用しようとする事ができる。	・身長や体重、気温等の身近なデータを平均化してまとめる活動を通して学ぶ。 ・データの変化や違いを読み取り、見比べ考察する活動を通して学ぶ。	10月			
11月	◎かさの単位と測定	①身の回りがあるかさの単位と測定について理解し、およその見当を付けるなどかさの大きさについての感覚を豊かにするとともに、用いる単位や計器を適切に選択して測定することができる。 ②身の回りがあるかさに着目し、単位を用いて表現したり、比べたりすることができる。 ③かさの単位と測定の学習を振り返り、学んだことを生活や学習に活用しようとする事ができる。	・身の回りがあるもののかさを調べる活動を通して、その量を手掛かりにおよその見当を付けたり、適切な計器を選択したりするなど、実際に測定する経験から学ぶ。	11月				11月	◎金銭の価値や処理 (家計簿③)	①10万円以上の家計簿の書き方(収支・支出・残金)を理解し、レシートや半券などから必要な情報を読み取り、金銭の計算ができる。 ②10万円以上の金銭の価値感覚を豊かにするとともに、家計簿を作成するために必要な情報を選択し、表にまとめることができる。 ③家計簿をつける学習を振り返り、支出の見直しを検討するなど学んだことを生活や学習に活用しようとする事ができる。	・身近なものの価値から10万円以上のものの価値を比較する活動を通して学ぶ。 ・給料から生活に間わる費用と節約できる費用を考察し、計画を立てる活動を通して学ぶ。 ・立てた計画を見直し、検討する活動を行う。
12月	◎小数 ◎分数 ◎正の数・負の数	①小数や分数、正の数、負の数の意味や表し方、性質について知り、数量とその関係を表したり読み取ったりすることができる。 ②数の表し方や数量の割合に着目し、数の比べ方や表し方を考察したり、簡潔に表現したりすることができる。 ③分数や小数、正の数、負の数で学んだことを振り返り、多面的に捉えて検討し、より良いものを求めるなど生活や学習に活用しようとする事ができる。	・身長や体重、視力など、身の回りがあるものと関連付けて、測定する活動を通して、1より小さい数について学ぶ。 ・ピザやケーキの模型や図、水の入った容器など、生徒が興味関心をもてる題材をつかって学ぶ。 ・数直線や温度計、標高や海拔など生活に関連付けて学ぶ。 ・赤字や黒字といった、収支と関連付け、ゲーム的な活動を通して正負の数について学ぶ。	12月				12月			
1月				1月	◎変化と関係 ○速さ	①速さについて理解し、目的に応じて比べたり、求めたりすることができる。 ②日常の事象における数量の割合に着目し、表や式などを用いて変化や比べ方を考察することができる。 ③変化と関係の学習を振り返り、学んだことを生活や学習に活用しようとする事ができる。	・人が歩く速さや乗り物の速さなどについて学んだり、自分の歩く速さを測定するなどを通して学ぶ。	1月			
2月	◎3桁以上の計算	①3桁以上の整数の概念や加法、減法の意味・性質を理解し、計算することができる。 ②目的にあった表現方法を用いて計算の仕方を考察することができる。 ③3桁以上の計算で学んだことを振り返り、学んだことを生活や学習に活用しようとする事ができる。	・交通費の計算や、買い物学習を通して学ぶ。 ・電卓などの計算機器を用いて学ぶ。	2月	◎金銭の価値や処理 (家計簿②) ◎2年生のまとめ	①10万円以下の家計簿の書き方(収支・支出・残金)を理解し、レシートや半券などから必要な情報を読み取り、金銭の計算ができる。 ②10万円以下の金銭の価値感覚を豊かにするとともに、家計簿を作成するために必要な情報を選択し、表にまとめることができる。 ③家計簿をつける学習を振り返り、支出の見直しを検討するなど学んだことを生活や学習に活用しようとする事ができる。	・旅行などの余暇活動において、予算内で計画を立てる活動を通して学ぶ。 ・およその数で学んだ計画の立て方をもとに考え、話し合い活動を通して学ぶ。	2月	3年間のまとめ	2	
3月	◎かけ算・わり算 ◎1年生のまとめ	①乗法や除法の意味や性質について理解し、計算することができる。 ②計算の仕方を見出し、道筋を立てて考えることができる。 ③乗法や除法で学んだことを振り返り、多面的に捉えて検討しより良いものを求めて考え、学んだことを生活や学習に活用しようとする事ができる。	・電卓などの計算機器を用いて学ぶ。 ・一つの箱にいくつ入っているお菓子を何箱買うか、また、何人に分けるかなど、日常生活に関連付けて問題解決しながら学ぶ。	3月				3月			

令和 7 年度 年間指導計画 教科等名 職業科 「 英語 」

【二つ橋高等特別支援学校の3年間でめざす資質・能力】

	「働く」 主体的に社会貢献できる職業人をめざします。 ◎働くことを目指した学びを通して、働く意味や喜びを知り、主体的に社会とつながり、もてる力を発揮し貢献する力を育てます。	「自立」 社会や他者とつながりがもてる自立した社会人をめざします。 ◎社会とつながり、多様な人々と交わったり、自立生活につながったりする知識や技能を理解し、活用することができる力を育てます。	「自己実現」 自分の幸せを思い描き、実現していく人をめざします。 ◎社会や他者を尊重し、自己の夢や希望に向かって、自分らしく幸せに生活するために自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力を育てます。
知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	社会状況の変化に応じた働くことを目指した活動を通して、働くうえでの 生きた知識や一般化できる技能 を身に付けることができる。	社会とつながり多様な人々と交わったり、自立生活につながったりする知識や技能 を理解し、活用することができる。	自分の幸せや豊かな生活の実現のために 多様な見方・考え方を働かせて、生きた知識や技能 を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、できることをどう使うか)	多様化している ニーズや状況の変化、場に応じて対応 できるように、 見方・考え方や判断、相談力 を身に付けることができる。	課題解決に向けて、 自己を知り、自ら目標 を立て 他者に協力 を求めたり、相談したりすることができる。	幸せな人生について考えたり、 夢や希望 を思い描いたりして、実現のために 何が必要かを考え、判断し、表す ことができる。
学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)	働く意味や喜び を見出し、 他者と協働 しながらもてる力を発揮し、社会に貢献することができる。	社会の 課題について自分ごととして考え、自己理解 を深め、 他者と協働 しながら 自分らしく 社会生活を送ることができる。	生涯を通して働くことに意味を見出し、豊かな生活のために芸術やスポーツと関わり、 幸せな生活するための素地 を作ることができる。

目標 1・2年生 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等

- ①日本語との違いに気付くとともに、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことを繰り返し、基礎的な力を身につける。
- ②身近な事柄について、簡単な表現や会話文を参考にして、自分の考えや気持ちを伝え合う力を養う。
- ③外国語の背景にある文化や他者との違いを尊重し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする。

学習計画	1年生			2年生			3年生					
	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標(何ができるようになるか) 「◎働くための心構え」/ 「○作業」	方法(どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標(何ができるようになるか) 「◎働くための心構え」/ 「○作業」	方法(どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標(何ができるようになるか) 「◎働くための心構え」/ 「○作業」 (A・Bそれぞれ)	方法(どのように学ぶか)
前期	4月	○自己紹介(2h) ○授業のRule and Manner(1h) ○挨拶(2h) (今日の体調、天気、日付、曜日) (教科書 UNIT1, 3, 18, 22)	①自分に関する簡単な事柄について、書いたり、話したりする。 ②定型的な答えを返したり、自分の気持ちを伝え合うことができる。 ③積極的な姿勢で間違いを恐れずに、自分のことを伝える。	・仲間や教員、AETと英語でやり取りをする。(通年) ・プリントを使い、書くこと、読むことを繰り返し練習する。 ・英会話の授業のルールやマナーをワークシートを用いて確認する。 ・場面を設定し、相手とやり取りする練習を繰り返す。 My name is/ I like/ I don't like How are you?/How's the weather?/What day is it today? What is the date today?	4月	○自己紹介(2h) ○挨拶(2h) (今日の体調、天気、日付、曜日の確認) (教科書 UNIT18)	①自分に関する簡単な事柄について、書いたり、話したりする。(通年) ②定型的な答えを返したり、自分の気持ちを伝えたりと、その場面や目的に応じることができる。 ③積極的な姿勢をもち、自信をもって自分のことを伝える。	・仲間や教員、AETに英語でやり取りをする。 ・プリントを使い、書くこと、読むことを繰り返し練習する。 ・場面を設定し、相手とやり取りする練習を繰り返す。 My name is/ I like/ I don't like How are you?/How's the weather?/What day is it today?	4月			
	5月	○好きな事、物(2h)	①LikeやI don't likeを使った文に親しむ。 ②習った単語や文法を使って、自分の好きな物や苦手な物を伝えることができる。 ③相手に質問したり、答えたりして会話を楽しむことができる。	・プリントを使い、書くこと、読むことを練習する。 ・相手の好きな物や嫌いな物をインタビューする。 I like/ I don't like	5月	○将来のゆめ(3h) (教科書UNIT10) ○修学旅行(3h)	①wantを使った文型や一般動詞の過去形を使った文に親しむ。 ②習った単語や文法を使って、活動内容を発表する。 ③声量、目線、姿勢など相手に伝える意識をもって発表したり、相手の発表を聞いたりする。	・宿泊学習に関連付け、やりたいこと、なりたい職業についてワークシートを用いて会話をすすめる。 ・宿泊学習後、過去形を使った文を作り、ICT機器で発表する。 I want to do/I want to be/ I went to/I ate/I saw/It was	5月			
	6月	○夏休みの予定・やったこと(2h) ○会話筆記テスト(2h)	①未来や過去のことを伝える文型の違いを知る。 ②夏休みの予定について、活動内容を伝えるために必要な情報を収集することができる。 ③今までやった授業内容を振り返り、失敗を恐れずに話すことができる。	・未来形、過去形を用いて、夏休みの予定を考えたり、思い出を発表したりする。 ・AETの先生と面接形式で会話テストを行う。集団で一斉に筆記のテストを行う。 I will / I went to	6月	○夏休みの予定(2h) ○会話筆記テスト(2h)	①未来や過去のことを伝える文型の違いを知る。 ②夏休みの予定について伝えるために、必要な情報を収集することができる。 ③自分の気持ちを他者と共有することができる。	・未来形、過去形を用いて、夏休みの予定を考えたり、思い出を発表したりする。 ・AETと面接形式で会話テスト、集団で一斉に筆記のテストを行う。 I will/I went to	6月			
	7月	○位置の英語(4h) (教科書 UNIT6)	①位置を表す単語を知る。 ②位置を表す文章を見て、そのモノの場所を探ることができる。 ③位置を表す英語を聞いて、仲間とコミュニケーションを取りながら、探す活動を楽しむ。	・プリントを用いて、位置を表す言葉を知る。 ・ボールをいろいろな場所に実際に置いてみて、体験する。 Where is the ball? /on, in, at, など	7月	○電話(4h) (教科書 UNIT 2) →時間	①身近な事柄について、相手に音声で正しく伝えることができる。 ②英語で時間の言い方を知る。 ③音声だけで伝わりやすい話の流れを考える。 ④電話でコミュニケーションをとる方法を知り、相手との会話を楽しむ。	・電話での表現方法を知る。 ・ロールプレイで体験する。 Hello, this is / what time is it now? /12o'clock	7月			
	8月	○ハロウィン(1h) ○レストラン(7h) →お金(数字) (教科書 UNIT16)	①ハロウィンの歴史や行事にまつわる出来事を知る。 ①店員、客それぞれの特有な言い回しや必要な語彙を知る。 ②お金の数字の言い方を知る。 ②挨拶を交わしたり、簡単な指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりする。 ③その役割になりきり、コミュニケーションを楽しむ。	・行事にちなんだゲームなどに取り組む。 ・食事の場面の表現や店員とのやり取りを知り、ロールプレイで体験する。 May I take your order? Would you like anything to drink?/I'd like/yes	8月	○ハロウィン(1h) ○レストラン(7h) →お金(数字) (教科書 UNIT16)	①ハロウィンの歴史や行事にまつわる出来事を知り、体験する。 ①店員、客それぞれの特有な言い回しや必要な語彙を知る。 ②挨拶を交わしたり、簡単な指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりする。 ③その役割になりきり、コミュニケーションを楽しむ。	・行事にちなんだゲームなどに取り組む。 ・食事の場面の表現や店員とのやり取りを知り、ロールプレイで体験する。 May I take your order? Would you like anything to drink?/I'd like/yes	8月			
	9月	○クリスマス(2h) (教科書 UNIT23)	①クリスマスの歴史や行事にまつわる出来事を知る。 ②その季節の過ごし方について、英語で表現したり、伝え合ったりする。 ③自分の欲しいモノを、他者に伝え、会話を楽しむことができる。	・季節の歌やゲームを通してクリスマスの日に使える表現をAETとのやり取りを通して知る。 ・ワークシートを使って、自分の欲しいものを書く。 Happy holidays/merry Christmas What do you want for Christmas?	9月	○クリスマス(2h) (教科書 UNIT23)	①クリスマスの歴史や行事にまつわる出来事を知り、体験する。 ②その季節の過ごし方について、英語で表現したり、伝え合ったりする。 ③その季節の雰囲気を楽しみながら、他者と関わろうと自分から話しかける。	・季節の歌やクリスマスの日に使える表現をAETとのやり取りを通して知る。 ・ワークシートを使って、どんな過ごし方をするか書く。 Happy holidays/merry christmas How do you spend your Christmas?	9月			
後期	10月	○お正月(1h)(教科書 UNIT4, 5, 6, 11) ○抱負や夢(2h)(UNIT10)	①英語での表現方法や簡単な語句を知り、日本語との違いに気付く。 ②その季節の過ごし方について、英語で表現したり、伝え合ったりする。 ③場面に合った適切な挨拶を交わしたり、自分の夢を語ったりしながら、コミュニケーションを楽しむ。	・写真や絵カードなどを使い、問いかけをしながら、日本の文化を知る。 ・ワークシートを使って、自分の夢ややりたいことを書く。 Happy new year/I want to be .	10月	○お正月(2h) (教科書 UNIT11)	①英語での表現方法や簡単な語句を知り、日本語との違いに気付く。 ②その季節の過ごし方について、英語で表現したり、伝え合ったりする。 ③場面に合った適切な挨拶を交わしながら、コミュニケーションを楽しむ。	・写真や絵カードなどを使い、問いかけをしながら、日本の文化を知る。 ・季節を味わうゲームをする。 Happy new year/	10月			
	11月	○日本を紹介する(6h) (教科書 UNIT4, 5, 9, 11, 15)	①自分の紹介したい物や場所を調べ、簡単な表現を使って話することができる。 ②場面にあった適切な表現を知り、伝えあうことができる。 ③相手の気持ちを考え、わかりやすく説明して、コミュニケーションを楽しむ。	・ICT機器を用いて、自分が紹介したい日本の場所や食べ物などを調べ、プレゼンテーションの資料を作り、実際にプレゼンテーションをする。 You can ~ in Japan.	11月	○手紙、メールの書き方(6h) (教科書 UNIT25)	①身近な事柄について、ツールを用いて相手に伝えることができる。 ②習った定型文や調べた単語を使い、自分のことを表現することができる。 ③手紙を用いてコミュニケーションをとり、相手に正しく伝える。	・ICT機器を用いて、実際に英語で書いたメールを送る。 ・手作りのカードを作成し、相手に渡す。 Dear./from thank you for/	11月			
	12月				12月				12月			

令和7年度年間指導計画 教科等名 教科「家庭」

【二つ橋高等特別支援学校の3年間でめざす資質・能力】

	<p>「働く」 主体的に社会貢献できる職業人をめざします。 ◎働くことを目指した学びを通して、働く意味や喜びを知り、主体的に社会とつながり、もてる力を発揮し貢献する力を育てます。</p>	<p>「自立」 社会や他者とつながりがもてる自立した社会人をめざします。 ◎社会とつながり、多様な人々との交わりを通して、自己の理解を深め、他者と行動しながら自分らしく社会生活を送ることができる力を育てます。</p>	<p>「自己実現」 自分の幸せを思い描き、実現していく人をめざします。 ◎社会や他者を尊重し、自己の夢や希望に向かって、自分らしく幸せに生活するために自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力を育てます。</p>
知識・技能 (何を理解しているか、何が できるか)	社会状況の変化に応じた働くことを目指した活動を通して、働くうえで 生きた知識や般化できる技能 を身に付けることができる。	社会とつながり多様な人々と交わったり、自立生活につながったりする知識や技能 を理解し、活用することができる。	自分の幸せや豊かな生活の実現のために 多様な見方・考え方 を働かせて、 生きた知識や技能 を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、できる ことをどう使うか)	多様化している ニーズや状況の変化、場に応じて対応 できるように、 見方・考え方や判断、相談力 を身に付けることができる。	課題解決に向けて、 自己を知り、自ら目標を立て他者に協力を求めたり、相談したり することができる。	幸せな人生について考えたり、 夢や希望 を思い描いたりして、実現のために 何が必要かを考え、判断し、表す ことができる。
学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わり、 よりよい人生を送るか)	働く意味や喜び を見出し、 他者と協働 しながらもてる力を発揮し、 社会に貢献 することができる。	社会の 課題について自分ごととして考え、自己理解 を深め、 他者と協働 しながら 自分らしく社会生活 を送ることができる。	生涯を通して働くことに意味を見出し、豊かな生活のために 芸術やスポーツと関わり、幸せな生活するための素地 を作ることができる。

<p>目標 1年生 第1段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等</p> <p>①家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等について基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 ②家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 ③家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。</p>	<p>目標 2・3年生 第2段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等</p> <p>①家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等について基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 ②家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 ③家族や地域の人々との関わりを通して、卒業後のよりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。</p>
--	---

学習計画		1年生			2年生			3年生					
月	題材：学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)	月	題材：学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)	月	題材：学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)		
前期	4月	・年間ガイダンス 【家族・家庭生活】 ・家庭の仕事の種類 【衣生活】 ・被服製作に必要な道具について ・手縫いの基礎縫い ・安全な道具の取扱いについて	①家庭科の1年間学ぶ学習内容が分かる。 ②家庭生活を営む上で必要な仕事を考える。 ③自分の生活を見直し、課題を見つけ改善しようとする。 ①被服室の利用と使い方がわかる。 ②作業で使用する道具の使い方と安全な使用方法が分かって気を付ける。 ③手縫いの基礎縫い ④衣服の修繕や縫製の方法が分かり、基本的な縫い方できる。 ⑤共通で利用する用具を安全に取り扱いを考え、生活の中で生かそうとする。	・ガイダンス及び観察活動 ・ワークシートの活用 ・課題提起による話し合い・発表 ・ワークシートによる学習活動 ・被服実習①	4月	・年間ガイダンス 【家族・家庭生活】 ・生活力チェック 【衣生活】 (布の製作品の選択) 【食生活】 ・食事の役割と栄養(1)	①家庭科の1年間学ぶ学習内容が分かる。 ②家庭生活を営む上で必要な仕事を考える。 ③自分の生活を見直し、課題を見つけ改善しようとする。 ①自分に必要な栄養がわかる。 ②食生活を振り返って、栄養について考える。 ③自己の食生活を栄養バランスの良い食生活に変えようとする。	・ガイダンス及び観察活動 ・ワークシートの活用 ・課題提起による話し合い・発表 ・IT機器による検索を基に考えさせる。 ・ワークシートによる学習活動 ・1日に必要な栄養素やそれを満たす食材を調べる。	4月	・年間ガイダンス 【衣生活】 ・衣服の選択 【食生活】 ・食品の選択と日常食の調理	①家庭科の1年間学ぶ学習内容が分かる。 ②衣服を選ぶポイントを知る。 ③自分の体形にあった衣服のサイズを選ぶようにする。 ④自分がどのように服を来たか考え、選択、購入への意欲を高める。 ①食品の種類や栄養素の働きを理解する。 ②1食分の健康的な献立を考える。 ③自分の生活の中で食材を吟味し献立や栄養バランスを工夫しようとする。	・ガイダンス及び観察活動 ・ワークシートによる学習活動 ・採寸の実践活動 ・教科書・IT機器で様々な食材について調べる。 ・ワークシートによる学習活動	
	5月	・被服製作に必要な道具について ・手縫いの基礎縫い ・作業着の名札付け ・安全な道具の取扱いについて	①縫う道具の名前や使い方、基本的な縫い方を知る。 ②目的に合った縫い方をえらぶことができる。 ③身の回りの衣服や布製品がどのように縫われているか知ろうとする。 ①自分が使用する作業着の名札を縫い付けることができる。 ②効率よく作業できるように考える。 ③針やハサミを安全に注意して取り扱おうとする。	・ワークシートによる学習活動 ・針やハサミの管理を通して安全に気を付けるように支援する。 ・IT機器を使用し、作業効率について確認できるようにする。	5月	【衣生活】 ・布を用いた実用的な物の製作 【食生活】 ・食事の役割と栄養(2) ・調理の手順	①ミシンの基本の使い方を知る。 ②ミシン縫いのよさを見つける ③ミシン縫いで製品を作り生活に生かす。 ①食事の役割を知る。 ②豊かな食生活のためにできることを考える。 ③食生活の課題について考え、改善しようとする。 ④食品や調理道具等の安全と衛生に留意した加熱調理について理解する。	・ワークシートの活用 ・課題提起による話し合い・発表 ・ワークシートによる学習活動 ・加工食品の選択について ・IT機器による検索を基に考えさせる。 ・調べて考えたことを発表しあう。 ・調理実習①	5月	【衣生活】 ・布を用いた実用的な製品製作 【食生活】 ・食品の選択と日常食の調理	①製作に必要な材料が分かり製作計画について理解する。 ②手順にしたがって、製作過程に応じた縫い方について考える。 ③製作効率を考え、作業の工夫をする。 ①食品の種類や栄養素の働きを理解する。 ②1食分の健康的な献立を考える。 ③自分の生活の中で食材を吟味し献立や栄養バランスを工夫しようとする。	・ワークシートによる学習活動 ・布製品製作教材 ・教科書・IT機器で様々な食材について調べる。 ・ワークシートによる学習活動 調理実習①②	
	6月	・アイロンの基礎知識と使い方 ・作業着の名札付け ・安全な道具の取扱いについて	①アイロンの使用目的が分かり、安全に取り扱いができる。 ②自分が使用する作業着の名札を縫い付けることができる。 ③効率よく作業できるように考える。 ④針やハサミを安全に注意して取り扱おうとする。	・実習形式 ・ワークシートによる学習活動 ・針やハサミの管理を通して安全に気を付けるように支援する。 ・IT機器を使用し、作業効率について確認できるようにする。	6月	【衣生活】 ・布を用いた実用的な物の製作 【食生活】 ・基本的な日常食	①縫製道具の安全な使用と保管ができる。 ②布製品の製作を通して、作る楽しさや出来上がる喜びが分かり今後の生活を工夫しようとする。 ①③調理の基礎が分かり、日常食を適切に作るようとする。	・示範、作り方プリントの活用説明 ・調理実習②	6月	【衣生活】 ・布を用いた実用的な製品製作 【食生活】 ・食品の選択と日常食の調理	①食品の種類や栄養素の働きを理解する。 ②1食分の健康的な献立を考える。 ③自分の生活の中で食材を吟味し献立や栄養バランスを工夫しようとする。	・ワークシートによる学習活動 ・布製品製作教材 ・ワークシート学習と調理実習③	
	7・8月	・生活に役立つ小物の製作 ・布製品製作に必要な基本知識	①布製品製作に必要な材料について理解する。 ②効率よく作業できるように考える。 ③針やハサミを安全に注意して取り扱おうとする。	・針やハサミの管理を通して安全に気を付けるように支援する。 ・IT機器を使用し、作業効率について確認できるようにする。	7・8月	【衣生活】 ・布を用いた実用的な物の製作 【食生活】 ・基本的な日常食①	①②バック製作に必要な材料手順が分かり、学習の目的と使用用途を考える。 ③④調理の基礎が分かり、日常食を適切に作るようとする。	・示範、作り方プリントの活用説明 ・調理実習③、振り返り調理効率について考えさせる。	7・8月	【衣生活】 ・日本の伝統的な和服の文化 【消費生活と環境】 ・購入の仕方や支払方法	①和服は日本の生活や伝統を知る。 ②浴衣などの和装食を調べる。 ③生活に必要な物を購入する方法が分かる。	・ワークシートによる学習活動 ・IT機器による調べ学習 ・話し合いと意見交換	
	9月	【家族・家庭生活】 ・自分ができる家庭の仕事 【衣生活】 ・生活に役立つ布製品の製作 ・衣服の役割	①家庭の機能や家庭生活が家族の協力によって営まれていることを知る。 ②家庭生活を営む上で必要な仕事を考える。 ③自分の生活を見直し、課題を見つけ改善しようとする。 ④布製品の製作について考えようとする。	・夏季休業中に行った家庭の仕事を発表しあい、お互いに家庭生活で貢献できることを話し合う。 ・製品づくりの教材	9月	【衣生活】 ・布を用いた実用的な物の製作 【食生活】 ・基本的な日常食②	①②バック製作に必要な材料手順が分かり、学習の目的と使用用途を考える。 ③④調理の基礎が分かり、日常食を適切に作るようとする。	・示範、作り方プリントの活用説明 ・調理実習③、振り返り調理効率について考えさせる。 ・ごみの始末方法を支援する。	9月	【衣生活】 ・布を用いた実用的な製品製作 【食生活】 ・食品の選択と日常食の調理	②手順にしたがって、製作過程に応じた縫い方について考える。 ③製作効率を考え、作業の工夫をする。 ④1食分の健康的な献立を考える。 ⑤自分の生活の中で食材を吟味し献立や栄養バランスを工夫する。	・ワークシートによる学習活動 ・布製品製作教材 ・ワークシートによる学習活動 調理実習④	
	10月	・衣服の手入れ	①衣服の材料や状態に応じた手入れについて理解する。 ②衣服の材料や状態に応じた手入れについて考え工夫しようとする。 ③自分の生活に衣服管理や洗濯に取り組もうとする。	・職場実習に向けて、自分の制服やTシャツのアイロンがけを行う。 ・アイロンがけのワークシート ・洗濯のワークシート	10月	【衣生活】 ・布を用いた実用的な物の製作 【消費生活と環境】 ・購入と支払い	①②今まで習得した縫製技術を活用し布製品を製作しようとする。 ③商品の購入方法や支払方法について理解する。 ④購入・支払方法の特徴、ふま、どの方法がよいか考える。	・示範、作り方プリントの活用説明 ・ワークシートによる学習活動	10月	【衣生活】 ・布を用いた実用的な製品製作 【食生活】 ・食品の選択と日常食の調理	②手順にしたがって、製作過程に応じた縫い方について考える。 ③製作効率を考え、作業の工夫をする。	・ワークシートによる学習活動 ・布製品製作教材 ・食品購入学習と調理実習⑤	
	11月	・生活に役立つ布製品の製作 ・製作に必要な基本知識	①縫製道具の安全な使用と保管ができる。 ②製作の見直しを考え、取り組もうとする。 ③生活の中で布製品を有効に活用しようとする。	・縫製に必要な道具の準備や片付けの方法を学習させる。	11月	【衣生活】 ・布を用いた実用的な物の製作 【消費生活と環境】 ・購入と支払い	①②今まで習得した縫製技術を活用し布製品を製作しようとする。 ③自分で購入したいものに合わせて計画して購入しようとする。	・示範、作り方プリントの活用説明 ・食品購入を行い、調理実習④	11月	【衣生活】 ・布を用いた実用的な製品製作 【食生活】 ・食品の選択と日常食の調理	②手順にしたがって、製作過程に応じた縫い方について考える。 ③製作効率を考え、作業の工夫をする。	・ワークシートによる学習活動 ・布製品製作教材 ・食品購入学習と調理実習⑥	
	後期	12月	【家族・家庭生活】 ・年末の衣食住の仕事について 【食生活】 ・調理室の使い方 ・調理に必要な道具	①年末年始に行う仕事を考えて、自分ができることが分かる。 ②家族や地域の人々と協力し、いつ、どのように行うか考える。 ③調理実習に用いる用具の正しい使い方や安全な取扱いを知る。 ④日常食の調理について食品の選択や調理方法を考え表現する。	・ワークシートによる学習活動 ・調理室探究と調理実習①	12月	【衣生活】 ・布を用いた実用的な物の製作 【家族と家庭生活】 ・子どもとともに	①②今まで習得した縫製技術を活用し布製品を製作しようとする。 ③乳幼児の特徴が分かる。 ④乳幼児のかかわり方を考える。 ⑤乳幼児の安心安全に過ごす工夫をする。	・示範、作り方プリントの活用説明 ・ワークシートによる学習 ・幼児向けのおやつ調理実習⑤	12月	【衣生活】 ・布を用いた実用的な製品製作 【消費生活と環境】 ・さまざまな購入方法と支払い	②手順にしたがって、製作過程に応じた縫い方について考える。 ③製作効率を考え、作業の工夫をする。 ④⑤必要な物の購入と支払い方法が分かり、自分の生活スタイルに合った方法を選ぶ。	・ワークシートによる学習と話し合い ・食品購入学習と調理実習⑦
		1月	【食生活】 ・調理室の使い方 ・調理に必要な道具	①調理実習に用いる用具の正しい使い方や安全な取扱いを知る。 ②日常食の調理について食品の選択や調理方法を考え表現する。	・調理室探究と調理実習①	1月	【衣生活】 ・布を用いた実用的な物の製作 【家族と家庭生活】 12月の続き	③製品を生活の場面で活かそうとする。 ④乳幼児の特徴が分かる。 ⑤乳幼児のかかわり方を考える。 ⑥乳幼児の安心安全に過ごす工夫をする。	・製作した品をお互いに評価し合い、用途を考えさせる。 ・ワークシートによる学習と話し合い ・調理実習	1月	【住生活】 ・みんなと住む、一人で住む 【消費生活と環境】 ・契約	①家族と暮らす場合と一人で暮らす場合に必要な空間が分かる。 ②みんなと住む、一人で住む ③生活の中での契約を知る。 ④契約でのトラブルを防ぐ工夫を考える。	・ワークシートによる学習活動 ・動画を視聴したり、生活の中にある契約を調べて発表する。
2月		【衣生活】 ・生活に役立つ布製品の製作	①縫製道具の安全な使用と保管ができる。 ②製作の見直しを考え、取り組もうとする。 ③生活の中で布製品を有効に活用しようとする。	・縫製に必要な道具の準備や片付けの方法を学習させる。	2月	【住生活】 ・快適に住む 【家族と家庭生活】 ・高齢者とともに	①住まいの機能や住環境に必要な要素が分かる。 ②住環境を整えるために必要な工夫を考える。 ③高齢者の特徴が分かる。	・ワークシートによる学習と課題解決を考えた学び合い ・ワークシートによる学習	2月	【住生活】 ・みんなと住む、一人で住む 【これからの生活】 ・将来に向けた金銭管理	③環境や資源を大切にするための方法について考えて実践する。 ④⑤⑥お金の管理方法が分かり、自分に合った方法を選択し、よりよい生活を送ろうとする。	・ワークシートによる学習活動 ・IT機器で検索し発表し、将来に生かすように促す。	
3月	【消費生活と環境】 ・より良い商品の選択	①商品を選ぶときに気を付けるポイントが分かる。 ②商品購入のポイントに沿って必要な物かどうかを考える。 ③商品を選んで購入するときトラブルに合わない工夫をする。	・ワークシートによる学習 ・消費者庁HPより発信されている動画を視聴し、自分にできることを考えさせて発表する。	3月	【住生活】 ・快適に住む 【家族と家庭生活】 ・高齢者とともに	②住まいの機能や住環境に必要な要素が分かる。 ③住環境を整えるために必要な工夫を考える。 ④高齢者のかかわり方を考える。 ⑤高齢者の安心安全に過ごす工夫をする。	・ワークシートによる学習と課題解決を考えた学び合い ・ワークシートによる学習	3月					

令和 7 年度 年間指導計画 教科・領域名 「 美術 」 科

【二つ橋高等特別支援学校の3年間でめざす資質・能力】

	「働 く」 主体的に社会貢献できる職業人をめざします。 ◎働くことを目指した学びを通して、働く意味や喜びを知り、主体的に社会とつながり、もてる力を発揮し貢献する力を育てます。	「自 立」 社会や他者をつながりがもてる自立した社会人をめざします。 ◎社会とつながり、多様な人々との交わりを通して、自己の理解を深め、他者と行動しながら自分らしく社会生活を送ることが育てます。	「自己実現」 自分の幸せを思い描き、実現していく人をめざします。 ◎社会や他者を尊重し、自己の夢や希望に向かって、自分らしく幸せに生活するために自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力を育てます。
知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	社会状況の変化に応じた働くことを目指した活動を通して、働くうえで の生きた知識や般化できる技能 を身に付けることができる。	社会とつながり多様な人々と交わったり、自立生活につながったりする知識や技能 を理解し、活用することができる。	自分の幸せや豊かな生活の実現のために 多様な見方・考え方を働かせて、生きた知識や技能 を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、できることをどう使うか)	多様化している ニーズや状況の変化、場に応じて対応 できるように、 見方・考え方や判断、相談力 を身に付けることができる。	課題解決に向けて、 自己を知り、自ら目標 を立て 他者に協力 を求めたり、相談したりすることができる。	幸せな人生について考えたり、 夢や希望 を思い描いたりして、実現のために 何が必要かを考え、判断し、表す ことができる。
学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)	働く意味や喜び を見出し、 他者と協働 しながらもてる力を発揮し、社会に貢献することができる。	社会の 課題について自分ごと として考え、 自己理解 を深め、 他者と協働 しながら 自分らしく社会生活 を送ることができる。	生涯を通して働くことに 意味 を見出し、豊かな生活のために 芸術やスポーツと関わり、幸せな生活するための素地 を作ることができる。

<p>目標 1年生 第1段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等</p> <p>①造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 ②造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などを考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 ③楽しく美術の活動に取り組み創造活動に喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を培う</p>	<p>目標 2・3年生 第2段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等</p> <p>①造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができるようにする。 ②造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ③主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う</p>
--	---

学習計画											
1年生			2年生			3年生					
月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)
4月	オリエンテーション	様々な創造活動へ向けて見通しをもつことができる	【通年】 ・ICT機器の利用 ・対話的な授業 ・学習内容に応じた作品の一例を提示する	4月	クロッキー(通年)	一年間の様々な創造活動へ向けて見通しをもつことができる 限られた時間の中で、モチーフの特徴を捉えることができる	【通年】 ・ICT機器の利用 ・対話的な授業 ・学習内容に応じた作品の一例を提示する	4月	鑑賞(現代美術作品鑑賞)(スライド写真)	一年間の様々な創造活動へ向けて見通しをもつことができる。	【通年】 ・ICT機器の利用 ・対話的な授業 ・学習内容に応じた作品の一例を提示する
5月	デッサン (手)	自分の体の一部を造形的な視点や客観的に捉えることができる	【クロッキー】 ・全体の輪郭線を中心に描き、モチーフの印象的なラインやシルエットを描くようにする	5月	モダンテクニック(ドロッピング、スパタリング)	作品制作を意識しながら、対象物を撮影することができる 対象物を効果的に捉えることができる	【クロッキー】 ・全体の輪郭線を中心に描き、モチーフの印象的なラインやシルエットを描くようにする	5月	工芸(版画)(Tシャツ作り)	時代の美術に求められていることの変遷を通して、現代の中にある美術を捉えることができる。	【鑑賞(現代美術作品鑑賞)】 ・スライドを見ながら、それぞれ感じたことを共有する
6月	平面表現 (□の絵画(鉛筆))	絵画の表現方法や基本を体験し、身につける	【デッサン】 ・対象物をさまざまな角度から観察したり、分析したりする ・対象物の構造やバランスを捉えて描くようにする	6月	平面表現(植物)(水彩絵の具の表現技法)	表現方法を体験し、楽しみながら制作することができる 偶然にできた色や形のバリエーションを楽しみ、そこから創造活動へ向けてイメージを練ることができる 水彩絵の具の特徴を理解し、基本的な表現方法を身につけることができる 自己のイメージを具現化しようと、表現方法を練ることができる	【平面表現(植物)】 ・植物をよく観察し、イメージに合う技法を探りながら制作する ・様々なモダンテクニックを、楽しみながら行う	6月	モダンテクニックの発展(デカルコマニーのお面)	「用の美」としての工芸作品を通して美への意識を身近に感じることが出来る ・ステンシルの基本的な技法を知り、実践することができる ・自分が着用することをイメージし、オリジナリティ溢れるTシャツのデザインを考えることができる ・多版多色刷りについて学び、刷る順番を工夫して制作する	【工芸(版画)(Tシャツ作り)】 ・参考作品や、自分が着用することを考え、イメージを膨らませてデザインを考える ・ステンシルの技法を理解し、効果的に制作する
7月	立体表現(紙)	一枚の紙から、切り込みや折り込みなどでできる表現方法を体験し、工夫して創作することができる	【立体表現(紙)】 ・鉛筆の濃淡を意識しながら表現する ・○と□の配置や色の濃さのバランスを考え、画面を効果的に表現する	7月	陶芸(皿)	陶芸の基本的な知識や手順を理解し、制作することができる 自己のイメージを立体的に表現することができる 道具の使い方を理解し、安全に取り組むことができる	【陶芸(皿)】 ・感触を楽しみながら、粘土の特徴を捉え、制作をする ・道具を正しく使い、安全に気を付けながら制作する	7月	モダンテクニックの発展(デカルコマニーのお面)	「用の美」としての工芸作品を通して美への意識を身近に感じることが出来る ・ステンシルの基本的な技法を知り、実践することができる ・自分が着用することをイメージし、オリジナリティ溢れるTシャツのデザインを考えることができる ・多版多色刷りについて学び、刷る順番を工夫して制作する	【モダンテクニックの発展】 ・モダンテクニックを楽しみながら制作する ・偶然にできた色や形のバリエーションを楽しみ、そこから生かせる表情を選んで、立体作品(お面)へイメージを練ることができる
8月	版画(銅)	銅版画の基本的な技法や、版の制作からプレスまでの流れを体験し、作品ができるまでの制作方法を理解することができる	【版画(銅)】 ・2次元素材から3次元の立体を生み出し、形の美しさを追求し味わう ・安全に気を付けて制作する ・ハサミやデザインカッターを安全に使用する	8月	版画(銅)	銅版画の基本的な知識や手順を理解し、制作することができる 自己のイメージを立体的に表現することができる 道具の使い方を理解し、安全に取り組むことができる	【版画(銅)】 ・2次元素材から3次元の立体を生み出し、形の美しさを追求し味わう ・安全に気を付けて制作する ・ハサミやデザインカッターを安全に使用する	8月	平面構成(カラーージュ・フォトリアル)	制作手順を理解し、意図的に取り組むことができる ・写真の構成や構図を意識しながら効果的に配置をすることができる ・不透明水彩の特徴を理解し、色の濃淡や重ね塗りの有無によって、画面に変化をつけることができる	【平面構成(カラーージュ・フォトリアル)】 ・画面に、写真の配置場所やモチーフのチョイスによってできる効果を楽しむ ・積極的に重ね塗りすることによってできる表現を楽しみながら制作する
9月	自画像	自分の内面を見つめ、自分との心と対話しながら、じっくり時間をかけて作品と向き合おうとすることができる	【自画像】 ・鏡を見ながら、今の自分に合う表現方法を探り、描写を進める ・クロッキーやデッサンで培った表現方法を活かして制作する	9月	デザイン(模様)(ゴム版)	日本にある文様からイメージを膨らませ、一つの形をデザインすることができる 一つの形から、連続してできる模様的美しさに気づき、表現することができる	【デザイン(模様)(ゴム版)】 ・日本の文様について調べたり、参考にしたりして、一つの形を考える ・道具を正しく使い、安全に気を付けながら制作する ・一つの形から連続してなる模様を楽しみながら制作する	9月	陶芸	銅版画の基本的な技法や、版の制作からプレスまでの流れを体験し、作品ができるまでの制作方法を理解することができる	【陶芸】 ・感触を楽しみながら、粘土の特徴を捉え、制作をする ・道具を正しく使い、安全に気を付けながら制作する
10月	彫刻(針金)	一本の針金から、曲げたり折り込むことでできる表現方法を体験し、工夫して創作することができる	【彫刻(針金)】 ・2次元素材から3次元の立体を生み出し、形の美しさや面白さを追求し味わう ・安全に気を付けながら制作する	10月	デザイン(模様)(ゴム版)	日本にある文様からイメージを膨らませ、一つの形をデザインすることができる 一つの形から、連続してできる模様的美しさに気づき、表現することができる	【デザイン(模様)(ゴム版)】 ・日本の文様について調べたり、参考にしたりして、一つの形を考える ・道具を正しく使い、安全に気を付けながら制作する ・一つの形から連続してなる模様を楽しみながら制作する	10月	自画像	自分の内面を見つめ、自分との心と対話しながら、じっくり時間をかけて作品と向き合おうとすることができる	【自画像】 ・鏡を見ながら、今の自分に合う表現方法を探り、描写を進める ・クロッキーやデッサンで培った表現方法を活かして制作する
11月	陶芸(皿)	陶芸の基本的な知識や手順を学び、制作することができる	【陶芸(皿)】 ・感触を楽しみながら、粘土の特徴を捉え、制作をする ・道具を正しく使い、安全に気を付けながら制作する	11月	デザイン(模様)(ゴム版)	日本にある文様からイメージを膨らませ、一つの形をデザインすることができる 一つの形から、連続してできる模様的美しさに気づき、表現することができる	【デザイン(模様)(ゴム版)】 ・日本の文様について調べたり、参考にしたりして、一つの形を考える ・道具を正しく使い、安全に気を付けながら制作する ・一つの形から連続してなる模様を楽しみながら制作する	11月	自画像	自分の内面を見つめ、自分との心と対話しながら、じっくり時間をかけて作品と向き合おうとすることができる	【自画像】 ・鏡を見ながら、今の自分に合う表現方法を探り、描写を進める ・クロッキーやデッサンで培った表現方法を活かして制作する
12月	七宝焼	七宝焼についての基本的な知識や手順を学び、制作することができる	【七宝焼】 ・七宝焼の特性や特徴を理解し、釉薬の色合いを味わいながら制作する ・道具を正しく使い、安全に気を付けながら制作する	12月	デザイン(模様)(ゴム版)	日本にある文様からイメージを膨らませ、一つの形をデザインすることができる 一つの形から、連続してできる模様的美しさに気づき、表現することができる	【デザイン(模様)(ゴム版)】 ・日本の文様について調べたり、参考にしたりして、一つの形を考える ・道具を正しく使い、安全に気を付けながら制作する ・一つの形から連続してなる模様を楽しみながら制作する	12月	自画像	自分の内面を見つめ、自分との心と対話しながら、じっくり時間をかけて作品と向き合おうとすることができる	【自画像】 ・鏡を見ながら、今の自分に合う表現方法を探り、描写を進める ・クロッキーやデッサンで培った表現方法を活かして制作する
1月	七宝焼	七宝焼についての基本的な知識や手順を学び、制作することができる	【七宝焼】 ・七宝焼の特性や特徴を理解し、釉薬の色合いを味わいながら制作する ・道具を正しく使い、安全に気を付けながら制作する	1月	デザイン(模様)(ゴム版)	日本にある文様からイメージを膨らませ、一つの形をデザインすることができる 一つの形から、連続してできる模様的美しさに気づき、表現することができる	【デザイン(模様)(ゴム版)】 ・日本の文様について調べたり、参考にしたりして、一つの形を考える ・道具を正しく使い、安全に気を付けながら制作する ・一つの形から連続してなる模様を楽しみながら制作する	1月	自画像	自分の内面を見つめ、自分との心と対話しながら、じっくり時間をかけて作品と向き合おうとすることができる	【自画像】 ・鏡を見ながら、今の自分に合う表現方法を探り、描写を進める ・クロッキーやデッサンで培った表現方法を活かして制作する
2月	七宝焼	七宝焼についての基本的な知識や手順を学び、制作することができる	【七宝焼】 ・七宝焼の特性や特徴を理解し、釉薬の色合いを味わいながら制作する ・道具を正しく使い、安全に気を付けながら制作する	2月	デザイン(模様)(ゴム版)	日本にある文様からイメージを膨らませ、一つの形をデザインすることができる 一つの形から、連続してできる模様的美しさに気づき、表現することができる	【デザイン(模様)(ゴム版)】 ・日本の文様について調べたり、参考にしたりして、一つの形を考える ・道具を正しく使い、安全に気を付けながら制作する ・一つの形から連続してなる模様を楽しみながら制作する	2月	自画像	自分の内面を見つめ、自分との心と対話しながら、じっくり時間をかけて作品と向き合おうとすることができる	【自画像】 ・鏡を見ながら、今の自分に合う表現方法を探り、描写を進める ・クロッキーやデッサンで培った表現方法を活かして制作する
3月	七宝焼	七宝焼についての基本的な知識や手順を学び、制作することができる	【七宝焼】 ・七宝焼の特性や特徴を理解し、釉薬の色合いを味わいながら制作する ・道具を正しく使い、安全に気を付けながら制作する	3月	デザイン(模様)(ゴム版)	日本にある文様からイメージを膨らませ、一つの形をデザインすることができる 一つの形から、連続してできる模様的美しさに気づき、表現することができる	【デザイン(模様)(ゴム版)】 ・日本の文様について調べたり、参考にしたりして、一つの形を考える ・道具を正しく使い、安全に気を付けながら制作する ・一つの形から連続してなる模様を楽しみながら制作する	3月	自画像	自分の内面を見つめ、自分との心と対話しながら、じっくり時間をかけて作品と向き合おうとすることができる	【自画像】 ・鏡を見ながら、今の自分に合う表現方法を探り、描写を進める ・クロッキーやデッサンで培った表現方法を活かして制作する
4月	一年間の振り返り	自分の作品や他者の作品を鑑賞し、見方や感じ方の違いを受け止め、次の創作活動へ繋げようと思えることができる	【一年間の振り返り(鑑賞)】 ・自分や他者の作品を振り返り、見方や感じ方の幅を広げ、味わう ・自分の作品や他者の作品を発表する場を設定する	4月	一年間の振り返り	自分の作品や他者の作品を鑑賞し、見方や感じ方の違いを受け止め、次の創作活動へ繋げようと思えることができる	【一年間の振り返り(鑑賞)】 ・自分や他者の作品を振り返り、見方や感じ方の幅を広げ、味わう ・自分の作品や他者の作品を発表する場を設定する	4月	一年間の振り返り	自分の作品や他者の作品を鑑賞し、見方や感じ方の違いを受け止め、次の創作活動へ繋げようと思えることができる	【一年間の振り返り(鑑賞)】 ・自分や他者の作品を振り返り、見方や感じ方の幅を広げ、味わう ・自分の作品や他者の作品を発表する場を設定する

令和 7年度 年間指導計画 教科等名 「保健」

【二つ橋高等特別支援学校の3年間をめざす資質・能力】

	「働 く」 主的に社会貢献できる職業人をめざします。 ◎働くことを目指した学びを通して、働く意味や喜びを知り、主体的に社会とつながり、もてる力を発揮し貢献する力を育てます。	「自 立」 社会や他者つながりがもてる自立した社会人をめざします。 ◎社会とつながり、多様な人々との交わりを通して、自己の理解を深め、他者と行動しながら自分らしく社会生活を送ることができ力を育てます。	「自己実現」 自分の幸せを思い描き、実現していく人をめざします。 ◎社会や他者を尊重し、自己の夢や希望に向かって、自分らしく幸せに生活するために自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力を育てます。
知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	社会状況の変化に応じた働くことを目指した活動を通して、働くうえでの 生きた知識や一般化できる技能 を身に付けることができる。	社会とつながり多様な人々と交わったり、自立生活につながったり する知識や技能を理解し、活用することができる。	自分の幸せや豊かな生活の実現のために 多様な見方・考え方 を働かせて、 生きた知識や技能 を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、できることをどう使うか)	多様化している ニーズや状況の変化、場に応じて対応 できるように、 見方・考え方や判断、相談力 を身に付けることができる。	課題解決に向けて、 自己を知り、自ら目標を立て他者に協力を求めたり、相談したり することができる。	幸せな人生について考えたり、 夢や希望 を思い描いたりして、実現のために何が必要かを考え、判断し、表すことができる。
学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)	働く意味や喜び を見出し、 他者と協働 しながらもてる力を発揮し、社会に貢献することができる。	社会の 課題について自分ごととして考え、自己理解を深め、他者と協働 しながら 自分らしく 社会生活を送ることができる。	生涯を通して働くことに意味を見出し、豊かな生活のために 芸術やスポーツと関わり、幸せな生活するための素地 を作るができる。
目標 1年生 第1段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等		目標 2・3年生 第2段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等	
①心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。 ②健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 ③日常生活の経験を通して、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的・継続的に取り組む態度を養う。		①心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。 ②健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 ③日常生活の様々な経験を通して、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的・継続的に取り組む態度を養う。	

学習計画	1年生			2年生			3年生						
	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標 (何ができるようになるか) 「◎働くための心構え」/ 「○作業」	方法 (どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標 (何ができるようになるか) 「◎働くための心構え」/ 「○作業」	方法 (どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標 (何ができるようになるか) 「◎働くための心構え」/ 「○作業」 (A・Bそれぞれ)	方法 (どのように学ぶか)	
前期	4月	・オリエンテーション (1) ・心と体の発達 (1) ・身体各部の働きと生殖器★理科	1 身体各部の働きを理解するとともに、男女の体の違いを知る(①) 2 これまでの体の発育を振り返り、二次性徴の体の発達について正しく知る。(①) 3 二次性徴に伴う心身の変化について考えたことを発表し、互いに共有できる。(②) 4 自他の体のつくりの違いや、心の変化に向き合い、お互いを思いやる態度を育てる。(③)	・身体各部の働きについては、グループワークを通じて、共有しながら仲間と考える。 ・スキャモンの発育発達曲線などのグラフや絵を見ながら、体の各部の働きについて理解を深める。	4月	・オリエンテーション (1) ・生活習慣病の予防 (3)	1 生活習慣病を引き起こす要因と予防の仕方について理解する。(①) 2 不適切な歯みがきの習慣や、糖分の摂りすぎによりむし歯になるだけではなく、歯周病につながることを知る。(②) 3 生活習慣病予防の観点から、自分の生活を振り返り、改善へ向けて自主的・継続的に取り組む態度を養う。(③)	・生活習慣病の原因を知り、運動、休養、睡眠、心、などから、具体的に自分自身の生活習慣を見直してみよう。 ・歯と口の清潔を保つことの大切さを学ぶ。 ・改善に向けて、継続可能な方法を考える。考えたことをグループワークで共有し、考えを深める。	4月	・オリエンテーション (1) ・交通安全ルールと安全な行動 (2)	1 交通事故を防止するためには、どのような対策をとればよいか、ルールを守り、安全な行動をとることの必要性について考え、自分の日常生活に生かしていく。(②) 2 事故防止には、安全な装備を使用し、車両の整備を行ったり、環境を整えたりすることが大切なことを理解する。(①) 3 車や自転車の運転者は、法的責任が生じること理解する。(①) 4 安全に関する様々な課題に関心をもち、主体的に自他の安全な生活を実現しようしたり、安全で安心な社会づくりに貢献しようとする態度を身に付ける。(③)	・正しい交通安全ルールの確認をし知識の幅を広げる。安全な行動をとるために必要なことを具体的に考え、生活に取り入れる。	
	5月	・人との距離感 (2) ・性とどう向き合うか (2)	1 人との距離感は、年齢や関係性においても変化し、安心でき、心地よい距離感を保つことの必要性を知る。(①) 2 思春期における性意識の変化と適切な態度、行動の選択について理解する。(②) 3 性情報への対処と適切な行動を学び、実際の生活に生かすことができる。(③)	・パーソナルスペースやプライベートパーティについて、ロールプレイをしながら体験的に物理的・心理的な人との距離感について理解を深める。 ・熱れ合いの階段について学び、特定の人の関わり方や距離感を学びグループワークも交えながら理解を深める。	5月				5月				
	6月				6月					6月			
	7月	・性機能の成熟 (2) (男子、女子)	1 思春期の体の変化や、月経、射精の仕組みを正しく知り、その意味について考える。(①) 2 エッチケツやマナーについて考え、互いに共有できる。(②) 3 射精、月経の正しい対処方法を身に付け、生涯にわたって自他の心身の変化によりより向き合う態度を育てる。(男女別でも可) (③)	・思春期における心の変化について、グループワークを通じて、共有しながら仲間と考える。 ・男女それぞれの身体の変化について学習し、理解を深める。 ・エッチケツやマナーについては、グループワークを通じて、共有しながら仲間と考える。	7月	・受精と妊娠 (2)	1 受精と妊娠の仕組みを正しく知る。(①) 2 自他の体や、心を尊重し合うための考え方や態度を身に付ける。(②) 3 受精や妊娠に関する感想や、不安なことを考える。(③)	・受精と妊娠の仕組みを知る。 ・学びから、感想や不安なことを考える。	7月	・心理的発達と自己形成 (4)	1 思春期は、大脳が急速に発達する時期であり、知的機能(記憶、理解、思考、判断等)や情慮機能(感情や意思)が発達する。(①) 2 生活の場や行動の範囲、人間関係が広がる中で、社会性も発達し、自立する心が育つことを知る。(①②) 3 自己を見つめることには、どのような意味があり、どのように自己形成がなされるかを考え、理解するとともに、自己実現に向かうことができる豊かな心を築く。(③)	・自分自身を知るためにワークシートを使い、まとめる。 ・グループワークで他者の意見も聞き、共有して考えを深める	
後期	9月	・自然災害時の安全 (2) ・災害情報の取得と避難 (2)	1 日頃から、災害時の安全の確保に備えること。(③) 2 緊急地震速報を含む災害情報を正確に把握すること。自然災害による被害を防ぎ、安全の確保に備える。(①) 3 災害発生後、周囲の状況を的確に判断し、自他の安全を確保の上、行動できるようにする。(②)	・自然災害への備えや災害時の安全確保など、ICT機器を使用しながら知識を深める。 ・通学路、学校内など身近なところの危険をグループワークで考え共有し、理解を深める。	9月	・応急処置 (2)	1 患部の保護や固定などの応急処置をできるようにする。(①) 2 患部の状況に応じて、適切な道具を選択することができる。(②③)	・RICE処置を包帯やテーピングテープ、氷嚢など用具を使いながら学ぶ。	9月				
	10月				10月	・応急手当の意義と基本 熱中症の予防と手当 AEDの使用 心肺蘇生法 (2)	1 応急手当が必要なのはなぜか、どんな手当が基本なのか理解する。(①) 2 応急手当の一般的な流れや通報の仕方を理解する。(①) 3 熱中症の予防とその症状、疑いがある場合の正しい手当を知る。(②) 4 心肺蘇生法の基本とAEDの使用法を知り、実践できるようにする。(③)	・AEDやレザシアンを使い、心肺蘇生法を体験する。 ・グループワークで実際に一次救命処置の場で自分たちができることを学びながら共有し、考えを深める。 ・熱中症の予防と処置について理解を深める。	10月	・自分らしく生きる (5)	1 生徒一人一人が自他の個性を尊重し、互いによさを認め発揮し合えるような開かれた人間関係を形成する。(②) 2 性的マイノリティを正しく理解し、多様な性を受け入れ、互いの違いを尊重しあう態度を身につける。(①②) 3 自分の好きなことを見つめたり、気持ちを整理したりして、自分の生活に取り入れていく。(③)	・自分自身や他者を知るためにワークシートを使い、共有し考えを深める。 ・今後の学校生活に取り入れるために自分の考えを整理する。	
	11月	・感染症の予防 (かぜ、インフルエンザ、新型コロナウイルス等) (2)	1 感染症の症状や感染経路、その予防について知る。(①) 2 様々な感染症があることを知り、自分の考えた予防対策を共有する。(①②) 3 運動、食事、休養、睡眠、予防接種など、免疫力を高めるための生活を積極的に取り入れるようにする。(③)	・ICT機器を使い、身近な感染症について調べて知識を深める。 ・グループワークで共有し、考えを深める。 ・手洗いの正しい方法を学び、実践する。 ・自分の生活習慣を考え、運動、食事、休養の3つのうち1つを選択し、具体的に改善策を調べようとする。 ・考えたことを仲間と共有し、さらに考えを深める。 ・グループワークで、学校生活の中でできる予防を考え、共有する。 ・授業や日常生活の中で、傷害の発生の可能性をグループワークで話し合い、考えを共有する。	11月	・喫煙、飲酒と健康 (4)	1 喫煙や飲酒にはどのような害があるかを学ぶ。(①) 2 喫煙や飲酒を始めるきっかけ(好奇心、なげやりな気持ち、過度のストレス、断りにくい人間関係等)や理由と、その防止策について意見を出し合う。(②) 3 自らの健康のために、はっきりと断る強い意志を持ち、誘われた時の断り方を知る。(①③)	・ICT機器を使い、飲酒や喫煙について調べて、理解を深める。 ・飲酒については、アルコール依存症や急性アルコール中毒について理解を深めつつ、正しいお酒の付き合い方やお酒の席での対応方法を共有し、理解を深める。 ・喫煙については、受動喫煙や病気のリスクについて理解を深める。 ・グループワークで思いや不安を共有し、考えを深める。	11月	・薬物乱用と健康 (2) ★薬物乱用防止教室 (学校薬剤師による)	1 薬物乱用の心身への害と社会への悪影響について理解する。(①) 2 薬物乱用を開始する要因や環境について知り、自分自身の身を守るための力を高める。(②) 3 薬物乱用を防止するため様々な対策がとられていることについて知り、対策について考える。(③)	・薬物について正しい知識を深めて、自分自身を守るための行動を知る。	
	12月	・傷害の発生 (2)	1 傷害は、行動、環境、気象条件等が相互に関わることでより発生することを理解する。(①) 2 傷害の多くは、適切な対策により、防止できることを知る。(②③)		12月				12月				
後期	1月	・ストレスへの対応 (3)	1 心の発達に伴って生じるストレス(不安や悩み)への適切な対応方法を知り、活用することができる。(①) 2 精神的な安定を図るためには、日常生活に充実感をもてたり、欲求の実現に向けて取り組んだり、それが満たされないうちに自分の周囲の状況からより良い方法を見つけたりすることを知る。(②③) 3 ストレス原因についての受け止め方を見直し、リラクゼーションの方法を知り活用することにより、心身の負担を軽減できるようにする。(②③)	・ストレス(不安や悩み)への対応方法をコーピングリストを用いながら具体的に発散、緩和方法を考える。 ・グループワークで悩みや不安を共有し、悩みながら、解決方法を模索し、考えを深める。 ・自己肯定感の正しい理解を深め、自己価値の決定や自己受容の適切な方法を学び、自己理解を深め、心理的安定性を高められるようにする。	1月	・交際のあり方 (2) ・性意識の変化と性行動の選択 (2) ・性感症と避妊 (1)	1 思春期は、性に関わる意識が大きく変化する時期だが、その現れ方には個人差や男女差があることを知る。(①) 2 男は(女は)こうあるべきだと固定的に捉えることなく、相手の人格を尊重する。(③) 3 自分の行動への責任感や相手への理解と尊重の必要性について考え、人として対等で平等な関係を築くことができる。(②) 4 性感症はどのような病気であるかを理解し、その予防方法を学ぶ。(①)	・思春期の概念を知り、理解を深める。 ・性感症について理解を深める。	1月	・結婚と出産 (2) ・医療、保健制度とその活用 (2) ★家庭科・社会	1 結婚とは、法律で決められた婚姻状態である夫婦をさし、夫婦関係、親子関係による健康への影響を理解する。(①) 2 結婚以外の選択をする人もいることを知る。(①②) 3 家族計画の意義について理解し、妊娠中や育児中の方に対する配慮や思いやりある行動について考える。(①②) 4 母体の健康を維持するために大切なことを知り、母子保健サービスを適切に活用するとともに、医療機関で検診を受ける。(③)	・結婚や出産について知り、理解を深める。 ・自分の考えをまとめるためにワークシートを使い、他者の意見も共有し考えを深める。	
	2月	・リラクゼーション (2)			2月				2月				
	3月				3月				3月				

※ 保健の授業に関わらず、熱中症の予防については、各学年毎年扱うこととする。
※ 歯科衛生士による歯科巡回指導を、毎年各学年1時間ずつ行う。

令和7年度 年間指導計画 教科等名 「 ライフキャリア 」

【二つ橋高等特別支援学校の3年間をめざす資質・能力】

	<p>「働く」 主体的に社会貢献できる職業人をめざします。 ③働くことを目指した学びを通して、働く意味や喜びを知り、主体的に社会とつながり、もてる力を発揮し貢献する力を育てます。</p>	<p>「自立」 社会や他者とつながりがもてる自立した社会人をめざします。 ③社会とつながり、多様な人々の交わりを通して、自己の理解を深め、他者と行動しながら自分らしく社会生活を送ることができる力を育てます。</p>	<p>「自己実現」 自分の幸せを思い描き、実現していく人をめざします。 ③社会や他者を尊重し、自己の夢や希望に向かって、自分らしく幸せに生活するために自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力を育てます。</p>
<p>知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)</p>	<p>社会状況の変化に応じた働くことを目指した活動を通して、働くうえで必要な知識や技能を身に付けることができる。</p>	<p>社会とつながり多様な人々と交わったり、自立生活につながる知識や技能を理解し、活用することができる。</p>	<p>自分の幸せや豊かな生活の実現のために多様な見方・考え方を働かせて、生きた知識や技能を身に付けることができる。</p>
<p>思考力・判断力・表現力 (理解していること、できることをどう使うか)</p>	<p>多様化しているニーズや状況の変化、場に応じて対応するために、見方・考え方や判断、相談力を身に付けることができる。</p>	<p>課題解決に向けて、自己を知り、自ら目標を立て他者に協力を求めたり、相談したりすることができる。</p>	<p>自分の幸せや豊かな生活の実現のために何が必要かを考え、判断し、表すことができる。</p>
<p>学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)</p>	<p>働く意味や喜びを見出し、他者と協働しながらもてる力を発揮し、社会に貢献することができる。</p>	<p>社会の課題について自分ごととして考え、自己理解を深め、他者と協働しながら自分らしく社会生活を送ることができる。</p>	<p>生涯を通して働くことに意味を見出し、豊かな生活のために芸術やスポーツと関わり、幸せな生活するための拠地を作ることができる。</p>

目標 1年生 第1段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等

①職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。
②将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。
③よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。

目標 2・3年生 第2段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等

①職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。
②将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、改善し、表現する力を養う。
③よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。

学習計画	1年生				2年生				3年生			
月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示		目標(何ができるようになるか)「働くための備え」/「〇作業」		方法(どのように学ぶか)		学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示		目標(何ができるようになるか)「働くための備え」/「〇作業」		方法(どのように学ぶか)	
4月	<p>ライフキャリア学習 3年間の道のり流れ・事務担当について 働くために大切なこと 就労準備性プログラム 適切な身だしなみ(春)</p>	<p>ガイダンス (冬)の授業?</p>	<p>①職業生活に向けた流れを理解する。 ②働く上で求められる事柄について理解する。 ③自分のよさや課題に気付く。 ④よりよい職業生活に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。 ⑤職場にふさわしい身だしなみを知る。 ⑥職場にふさわしい身だしなみについて考える。 ⑦よりよい職業生活に向けて、身だしなみを工夫しようとする態度を養う。</p>	<p>・「お新・見てわかる ビジネスマナー編」や各種リーフレット、「障害福祉のあんない」、ワークシート、ICT機器、DVDなどを活用する。(通年) ・個人で考えたり調べたりする活動、グループで意見を発表し合い、考えを深める活動、教師の話聞いて知識を身に付ける学習などを効果的に設定していく。(通年) ・実際に身だしなみを整える。</p>	<p>ライフキャリア学習 現場実習 他職業、他地域関連</p>	<p>①職業生活に向けた流れを理解する。 ②働く上で求められる事柄や勤務の意義について理解を深める。 ③自分のよさや課題を見据え、必要な事柄を見いだす。 ④よりよい職業生活に向けて、生活を改善しようとする態度を養う。 ⑤職場にふさわしい身だしなみを知る。 ⑥職場にふさわしい身だしなみについて考える。 ⑦よりよい職業生活に向けて、適切な金融管理をしようとする態度を養う。</p>	<p>・「お新・見てわかる ビジネスマナー編」や各種リーフレット、「障害福祉のあんない」、ワークシート、ICT機器、DVDなどを活用する。(通年) ・個人で考えたり調べたりする活動、グループで意見を発表し合い、考えを深める活動、教師の話聞いて知識を身に付ける学習などを効果的に設定していく。(通年) ・実際の給付申請をもとに、その見方や必要な書類について学習する。 ・最低賃金の月給等から、生活するのに必要な費用を考える。</p>					
5月	<p>さまざまな職業の種類(夏) 企業と就労系障害福祉サービス事業所 職業コースの振り返り キャリアデザインシート</p>	<p>体験学習 ・事前学習 ・振り返り(事後学習) 福祉見学会?</p>	<p>①多様な職場やその役割を知る。 ②さまざまな職種が、どのように役立っているか考える。 ③自分の成長や課題に気付く、さらなる向上や解決に向けた目標、具体策を考える。 ④自分のさらなる成長のために、生活を工夫しようとする態度を養う。</p>	<p>・職場体験実習と職種を関連させて学習する。実際の職場を見学したり、動画を見たりすることで理解を深める。 ・職業コースで学んだことと学校生活、職業生活を結びつける。</p>	<p>社会を体みあとき 健康保険 面接練習</p>	<p>①各種職種や健康保険の仕組みについて理解を深める。 ②適切な休職のとり方について考える。 ③よりよい職業生活に向けて、適切に休んだり受診したりしようとする態度を養う。 ④適切な身だしなみや言葉遣い、応答など、面接時に求められる事柄について理解する。 ⑤面接のよい振る舞いについて考える。 ⑥面接や現場実習に向けて、主体的に取り組む態度を養う。</p>	<p>・ふだんの休みのとり方を振り返り、社会人として大切なことを考える。 ・連絡簿、対教師などの場を設定し、実際に面接練習をする。 ・1年次に学習した身だしなみや言葉遣いと関連付ける。</p>					
6月	<p>通勤時に気を付けること 通勤前に必要な準備 欠席、遅刻の連絡</p>	<p>体験実習 ・事前学習 ・場内・遅刻の振り返り(事後学習) ・職場共有会</p>	<p>①通勤時の注意や必要な準備を知り、欠席や遅刻の連絡のしかたを身に付ける。 ②通勤時に大切なことについて考える。 ③よりよい職業生活に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。 ④将来の職業生活に必要なことや自己の適性について理解する。 ⑤さまざまな職種やその役割を知る。 ⑥自分の成長や課題を確認する。 ⑦自分のさらなる成長のために、生活を工夫しようとする態度を養う。</p>	<p>・さまざまなケース別に、気を付けることや必要な準備を考える。 ・実際に、欠席、遅刻の連絡を練習し、実際の連絡のしかたを身に付けられるようにする。</p>	<p>希望職種実習 希望職種実習 希望職種実習</p>	<p>①労災保険の仕組みについて理解を深める。 ②必要な職務の履行や働き方について考える。 ③よりよい職業生活に向けて、安全に気を付けて働こうとする態度を養う。</p>	<p>・ふだん気を付けた対応を振り返り、社会人として大切なことを考える。 ・職場体験実習で学んだことと学校生活、職業生活を結びつける。</p>					
7月	<p>作業環境の整理整頓 職場内の過ごし方 適切な身だしなみ(夏)</p>		<p>①職場内での注意や適切な過ごし方について理解する。 ②職場内の安全や衛生について考える。 ③よりよい職業生活に向けて、日常生活を工夫しようとする態度を養う。</p>	<p>・さまざまなケース別に、職場内で過ごすにあたって大切なことを考える。 ・実際に身だしなみを整える。</p>	<p>就業コースの振り返り キャリアデザインシート</p>	<p>②自分の成長や課題に気付く、さらなる向上や解決に向けた目標、具体策を考える。 ③自分のさらなる成長のために、生活を工夫しようとする態度を養う。</p>	<p>・職業コースで学んだことと学校生活、職業生活を結びつける。</p>					
8月	<p>職場での適切な言葉遣い 仕事中心に心がけること</p>		<p>①仕事に求められる事柄について理解し、適切な言葉遣いを身に付ける。 ②上司や同僚と気持ちよく働くために大切なことを考える。 ③よりよい職業生活に向けて、日常生活を工夫しようとする態度を養う。</p>	<p>・実際に、言葉遣いを意識して話す練習をする。 ・さまざまなケース別に、上司や同僚と話す上で大切なことを考える。</p>	<p>仕事をするとき 雇用保険</p>	<p>①雇用保険の仕組みや仕事を辞めるときの手続きについて理解を深める。 ②仕事を辞めるときに必要な事柄について考える。 ③よりよい職業生活に向けて、必要な際には適切な手続きをしようとする態度を養う。</p>	<p>・ハローワークと関連付ける。</p>					
9月	<p>健康管理や余暇の過ごし方 前期の学習おさらい</p>		<p>①職業生活上求められる健康管理を身に付ける。 ②職業生活上に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考える。 ③よりよい職業生活に向けて、日常生活を工夫しようとする態度を養う。</p>	<p>・ふだんの健康管理や余暇の過ごし方を振り返りながら、社会人として必要なことを考える。 ・実際に、適切な対応を心がけた電話やメールの練習をする。</p>	<p>前期の学習おさらい 希望職種実習 希望職種実習</p>	<p>④自分の成長や課題に気付く、さらなる向上や解決に向けた目標、具体策を考える。 ⑤自分のさらなる成長のために、生活を工夫しようとする態度を養う。</p>	<p>・職場体験実習で学んだことと学校生活、職業生活を結びつける。</p>					
10月	<p>さまざまなハラスメント 適切な電話対応 適切なメールの文面</p>	<p>各職業コースで実践</p>	<p>①さまざまなハラスメントについて知る。 ②仕事と自分を大切にするために必要なことを考える。 ③電話やメールの基本的な操作方法や適切な対応を身に付ける。 ④印象のよい対応、文面について考える。 ⑤よりよい職業生活に向けて、適切な振返りをしようとする態度を養う。</p>	<p>・ふだんの自他の関わりを振り返りながら、自分に必要となることを考える。 ・実際に、適切な対応を心がけた電話やメールの練習をする。</p>	<p>就業コースの振り返り キャリアデザインシート</p>	<p>⑥自分の成長や課題に気付く、さらなる向上や解決に向けた目標、具体策を考える。 ⑦自分のさらなる成長のために、生活を工夫しようとする態度を養う。</p>	<p>・職業コースで学んだことと学校生活、職業生活を結びつける。</p>					
11月	<p>職業コースの振り返り キャリアデザインシート 名刺交換 来客応対</p>	<p>各職業コース(学年職業) 相談会(他学年タイプアップ) 各職業コースで実践 見学会と関連?</p>	<p>①自分の成長や課題に気付く、さらなる向上や解決に向けた目標、具体策を考える。 ②自分のさらなる成長のために、生活を工夫しようとする態度を養う。 ③親切でいいねい対応を身に付ける。 ④印象のよい対応について考える。 ⑤よりよい職業生活に向けて、適切な対応をしようとする態度を養う。</p>	<p>・職業コースで学んだことと学校生活、職業生活を結びつける。 ・実際に、適切な対応を心掛けた名刺交換や来客対応の練習をする。</p>	<p>さまざまな雇用形態 労働契約、就業規則、労働法 労働時間</p>	<p>①各種ワークルールについて理解を深める。 ②入社前に確認しておくべき事項について考える。 ③よりよい職業生活に向けて、ワークルールの理解をもとに、必要時には適切に相談しようとする態度を養う。</p>	<p>・求人票や労働契約書、就業規則の見本などを元に、理解を深める。</p>					
12月	<p>身近な障害福祉サービス ・受の手帳 ・福祉パス ・相談窓口 など</p>		<p>①身近な障害福祉サービスやその利用方法を知る。 ②職業生活上、適切な障害福祉サービスの利用のしかたを知る。 ③よりよい職業生活に向けて、必要時には各種サービスを利用しようとする態度を養う。</p>	<p>・ふだんの生活と関連付けて学習する。</p>	<p>厚生年金 障害基礎年金 障害福祉サービス ハローワーク 就労支援センター</p>	<p>④各種補助や福祉金、その利用方法について理解を深める。 ⑤職業生活上、困った時にどうしようよいかについて考える。 ⑥よりよい職業生活に向けて、必要時には各種補助や相談機関を利用しようとする態度を養う。</p>	<p>・「障害福祉のあんない」や、年金事務所の資料、就労支援センターのリーフレットなどを活用する。</p>					
3月	<p>職場体験実習まとめ ・自己理解 ・職種理解 2年次の道のり流れ ・卒業自己紹介書の作成(合理的配慮) 就業コースの振り返り キャリアデザインシート 1年間の学習おさらい</p>	<p>各職業コース(学年職業) 相談会(他学年タイプアップ)</p>	<p>①将来の職業生活に必要なことや自己の適性について理解する。 ②さまざまな職種やその役割を知る。 ③自分の成長や課題を確認する。 ④自分のさらなる成長のために、生活を工夫しようとする態度を養う。</p>	<p>・職場体験実習で学んだことと学校生活、職業生活を結びつける。 ・1年間学んだことと学校生活、職業生活を結びつける。</p>	<p>求人票と履歴書 3年次の道のり流れ ・生徒自己紹介書の作成(合理的配慮)</p>	<p>⑦自分の成長や課題に気付く、さらなる向上や解決に向けた目標、具体策を考える。 ⑧自分のさらなる成長のために、生活を工夫しようとする態度を養う。</p>	<p>①求人票の見本を元に、理解を深める。 ②実際の履歴書を作成する。</p>					

令和7年度 年間指導計画 教科・領域名「 情報 」科

【二つ橋高等特別支援学校の3年間でめざす資質・能力】

	「働く」 主体的に社会貢献できる職業人をめざします。 ◎働くことを目指した学びを通して、働く意味や喜びを知り、主体的に社会とつながり、もてる力を発揮し貢献する力を育てます。	「自立」 社会や他者とつながりがもてる自立した社会人をめざします。 ◎社会とつながり、多様な人々との交わりを通して、自己の理解を深め、他者と行動しながら自分らしく社会生活を送ることが出来る力を育てます。	「自己実現」 自分の幸せを思い描き、実現していく人をめざします。 ◎社会や他者を尊重し、自己の夢や希望に向かって、自分らしく幸せに生活するために自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力を育てます。
知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	社会状況の変化に応じた働くことを目指した活動を通して、働くうえで の生きた知識や般化できる技能 を身に付けることができる。	社会とつながり多様な人々と交わったり、自立生活につながったりする知識や技能 を理解し、活用することができる。	自分の幸せや豊かな生活の実現のために 多様な見方・考え方を働かせて、生きた知識や技能 を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、できることをどう使うか)	多様化している ニーズや状況の変化、場に応じて対応 できるように、 見方・考え方や判断、相談力 を身に付けることができる。	課題解決に向けて、 自己を知り、自ら目標 を立て 他者に協力 を求めたり、相談したりすることができる。	幸せな人生について考えたり、 夢や希望 を思い描いたりして、実現のために 何が必要かを考え、判断し、表す ことができる。
学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)	働く意味や喜び を見出し、 他者と協働 しながらもてる力を発揮し、社会に貢献することができる。	社会の 課題について自分ごと として考え、 自己理解 を深め、 他者と協働 しながら 自分らしく社会生活 を送ることができる。	生涯を通して働くことに意味を見出し、豊かな生活のために 芸術やスポーツと関わり、幸せな生活するための素地 を作ることができる。

目標 1年生 第1段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等	目標 2・3年生 第2段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等
---	---

①情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付ける。 ①情報に関する法律・規則やマナーについて知り、適切に行動する。 ②問題の発見・解決に向けて情報技術を適切に活用する。 ③情報を適切に活用して情報社会に主体的に参画する。	①情報と情報技術を活用した問題の発見・解決の方法を理解し、適切に活用するために必要な技能を身に付ける。 ①情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について理解し、適切に活用する。 ②複数の情報を結び付けて、新たな意味を見出したり、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切に活用する。 ③情報を適切に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付ける。
---	--

学習計画											
1年生			2年生			3年生					
月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標 (何ができるようになるか)	方法 (どのように学ぶか)
4月	オリエンテーション 正しい姿勢について ローマ字入力について ホームポジション・タッチタイピング 情報モラル①：GIGA開き iPadの使い方 ロイノートとグーグルアカウント	・ローマ字入力がホームポジションを守りながらできるようになる。 ・パワーポイントを使用して自己紹介ができるようになる。 ロイノートやグーグルアカウントの使用方法について知る。	・自己紹介カードを作る。 ・クラス目標の作成。	4月	・オリエンテーション 情報モラル①：GIGA開き、Gメールアカウントについて ・文書作成ソフトの活用 情報モラル②：個人情報流出について(写真)	・ホームポジションや姿勢を身に付け、正確にタイピングができるようになる ・長時間画面を見ているとどうなるか知る ・グーグルアカウントの管理を自分でできるようにする ・タブレット端末の管理ができるようになる ・文書作成ソフトの機能を使いこなせるようになる ・操作がわからないことがあった時は自分から相談できる	アカウントの紙を所持しているか確認し、自己管理を促す。 タブレット端末の管理方法を伝え、自己管理を促す。 自己紹介カードを作成し、工夫した点などを発表する。 ・修学旅行前に誰かが個人情報流出をさせたらどうなるか具体例を提示し、どうしていいか確認する。	4月	・主体的なタッチタイピング練習 ・主体的なタッチタイピング練習 ・学校PR動画作成 【情報モラル① 責任と義務】 【情報モラル② 著作権・肖像権】	【主体的なタッチタイピング練習】 ①自分の課題に合わせて選択することができる。 ②早さと正確さを意識して文字入力することができる。 ③5分間集中することができる。 【学校PR動画】 【情報モラル① 責任と義務】 【情報モラル② 著作権・肖像権】	【主体的なタッチタイピング練習】 ・授業開始の5分間にタイピング練習の時間を設け、自分で練習課題を選択して取り組み、結果をデータ入力する。
5月	情報モラル②情報セキュリティ			5月				5月			
6月	情報モラル③ インターネットの特性について知る(公開性・記録性・信憑性・公共性・流出性・拡散性) ・movieで卒業を迎えた自分へのビデオメッセージを作成しよう(肖像権など)	・エクセルを使用して計算ならびにグラフ化をすることができる。 ・ワードを用いてアンケート用紙の作成をすることができる。 ・パワーポイントを用いてアンケート結果をスライドショー等にして発表することができる。 ・インターネットの特性について気付き、自分の行動を振り返ることができる。	・校内に関する内容(自動販売機の中身やパン販売についてなど)についてアンケート取り、集約して発表する。 ・事例を通じて自分ならどうするかを考える。	6月	・情報モラル③ インターネットの特性について知る(公開性・記録性・信憑性・公共性・流出性・拡散性) ・修学旅行の文集スライド作成(プレゼンテーションソフト) ・情報モラル④ 夏休み前に自分のメディアバランスを考える(スマホ、ネット依存について知る)	情報モラル③ インターネットの特性について知り、自分で気をつけることができる 修学旅行文集 ・プレゼンテーションソフトの様々な機能を使いこなせるようになる。 ・操作がわからないことがあったら自分から相談できる 情報モラル④ 自分の生活の中でどれだけメディアに触れているか知り、バランスを見ながら行動できるようにする	【情報モラル③】 ・インターネットの特性についての動画を見て、自身に当てはめながら振り返る。 【修学旅行スライド】 ・修学旅行の写真を含まれた文集を作成する中で、プレゼンテーションソフトを使用し、機能について把握する。 【情報モラル④】 ワークシートを使用して、自分の生活がどうか整理する。	6月	・主体的なタッチタイピング練習 ・プログラミング(スクラッチ) ・情報モラル③ 【法の理解と順守(ルール・契約)】 【情報モラル④ 安全への配慮①夏休み前：スマホやネット依存などのトラブル対策】	【主体的なタッチタイピング練習】 ①自分の課題に合わせて選択することができる。 ②早さと正確さを意識して文字入力することができる。 ③5分間集中することができる。 【情報モラル③ 法の理解と順守(ルール・契約)】 【情報モラル④ 安全への配慮①夏休み前：スマホやネット依存などのトラブル対策】	【主体的なタッチタイピング練習】 ・授業開始の5分間にタイピング練習の時間を設け、自分で練習課題を選択して取り組み、結果をデータ入力する。
7・8月	情報モラル④ 夏休み前に自分のメディアバランスを考える(スマホ、ネット依存について知る)	・エクセルを使用して計算ならびにグラフ化をすることができる。 ・ワードを用いてアンケート用紙の作成をすることができる。 ・パワーポイントを用いてアンケート結果をスライドショー等にして発表することができる。	・スマホやTV、PCの利用頻度についてアンケートを取り、集約して発表する。	7・8月				7・8月			
9月	情報モラル⑤ 情報収集の仕方を知り、情報の比較・整理をする(経路検索・鎌倉遠足)	・インターネットを使用して適切な情報を得ることができる。 ・得た情報をわかりやすくまとめることができる。	・行き先や飲食店の候補をインターネットで調べる。 ・経路や交通費についてインターネットで調べる。 ・調べた内容をしおりにまとめる。	9月				9月	・主体的なタッチタイピング練習 ・卒業作品(情報モラル) ・情報モラル⑤ 【安全への配慮②信頼性】 【情報モラル⑥ 安全への配慮②】 【安全への配慮③健康面と安全面】	【主体的なタッチタイピング練習】 ①自分の課題に合わせて選択することができる。 ②早さと正確さを意識して文字入力することができる。 ③5分間集中することができる。 【情報モラル⑤ 安全への配慮②】 【情報モラル⑥ 安全への配慮③健康面と安全面】	【主体的なタッチタイピング練習】 ・授業開始の5分間にタイピング練習の時間を設け、自分で練習課題を選択して取り組み、結果をデータ入力する。
10月	情報モラル⑥ 著作権などの知的財産権を尊重する。			10月	・Vtuberになろう(動画編集・プログラミング) ・情報モラル⑤ 情報収集の仕方を知り、情報の比較・整理をする 情報モラル⑥ 著作権などの知的財産権を尊重する。 ・情報モラル⑦ インターネットの心理的・身体的特性について知る。	・Vtuberのアバター等の作成方法を知る ・動画の企画ができるようになる ・動画の撮影と編集ができるようになる 【情報モラル⑤】 ・情報収集し、比較整理をする中で意見を固めることができる 【情報モラル⑥】 ・外部に発信する際には著作権に配慮しなければならないことを知る ・著作権上、何が使えるか判断することができるようになる 【情報モラル⑦】 ・WEBの影響を知り、自分でどう付き合うか判断することができる	・外部講師として、大学生や専門学校生などに来てもらい、Vtubeの基礎的なことを教えてもらう。 ・実際に外部に配信する際は著作権などに気を付けなければならない等、具体的なイメージをもたせる。 【情報モラル⑤】 ・課題を提示し、比較して自分で判断できるようにする。 【情報モラル⑥】 ・実際にVtubeを配信する素材集めの際に説明する。 【情報モラル⑦】 ・WEBが与える影響に関する動画を見て、みんなで話し合い、自分の意見を固める。	10月	・主体的なタッチタイピング練習 ・情報モラル⑦ 【情報セキュリティ①基礎編】 ・情報モラル⑧ 【情報セキュリティ②(冬休み前SNSの影響や正しい使い方について考える)】 ・3年間の振り返りと後輩たちへのビデオメッセージ発表(movie)	【主体的なタッチタイピング練習】 ①自分の課題に合わせて選択することができる。 ②早さと正確さを意識して文字入力することができる。 ③5分間集中することができる。 【情報モラル⑦ 情報セキュリティ①基礎編】 【情報モラル⑧ 情報セキュリティ②冬休み前SNSの影響や正しい使い方について考える】	【主体的なタッチタイピング練習】 ・授業開始の5分間にタイピング練習の時間を設け、自分で練習課題を選択して取り組み、結果をデータ入力する。
11月	情報モラル⑦ インターネットの心理的・身体的特性について知る。			11月				11月			
12月	情報モラル⑧ 冬休み前にSNSの影響について知り、正しい使い方について考える。			12月	・アンケートをとろう(文章作成ソフト&表計算ソフト) ・取ったアンケートを集計しよう(表計算ソフト) 【情報モラル⑧】 SNS利用の仕方 【情報モラル⑨】 トラブルに遭遇したら?	・どのようなアンケートなら興味をもつか等、アンケートの作り方について知る ・アンケートの取り方について知る ・アンケートのまとめ方を知る 【情報モラル⑧】 ・SNSを正しく利用することができる ・アンケートの集計方法について知る 【情報モラル⑨】 ・トラブルに遭遇した時、主体的に解決を図る方法を知る。	・アンケートの作り方について話を聞いてイメージを膨らませる 【情報モラル⑧】冬休み前にSNSの影響について知り、正しい使い方について考える 【情報モラル⑨】 トラブルの具体例を示し、自分ごととして捉えさせる。	12月	・主体的なタッチタイピング練習 ・プレゼン発表(卒業作品・情報モラル) ・情報モラル⑨ 【公共的なネットワーク社会の構築】	【主体的なタッチタイピング練習】 ①早さと正確さを意識して文字入力ができる。 ②5分間集中してタイピング練習または検定練習ができる。 ③自分の課題に合わせて選択することができる。 ・プレゼン発表 ・情報モラル⑨【公共的なネットワーク社会の構築】	【主体的なタッチタイピング練習】 ・授業開始の5分間にタイピング練習の時間を設け、自分で練習課題を選択して取り組み、結果をデータ入力する。
1月	情報モラル⑨ トラブルに遭遇した時、主体的に解決を図る方法を知る。			1月				1月			
2月	情報モラル⑩ 個人の権利を尊重する。(人格権、肖像権)	・動画を撮影することができる。	・動画を撮影、編集し、1年の振り返りを行う。	2月	・アンケート結果をまとめよう(プレゼンテーション&文書作成ソフト) 情報モラル⑩：個人の権利を理解し尊重する。(人格権、肖像権) ・1年間のまとめをしよう	・集計結果を見やすく、関心をひくようにまとめることができる(プレゼンテーションソフト) 【情報モラル⑩】 ・個人の権利を尊重する意識を身に付ける ・自己表現するスキルを身に付ける	・プレゼンテーションソフトを使用し、アンケート結果と考察をまとめていく。 ・個人の権利について動画を見て、自分ごととして捉えさせる。 ・今まで学習したソフトを使用し、今年度印象に残ったことなどを発表する。	2月			
3月	情報モラル⑪：個人の権利を理解し、尊重する。(人格権、肖像権)			3月				3月			

学校 Keep Safe®プログラムの導入について

(授業構想)

1. 目的

本校の総合的な探究の時間では、キャリア支援をテーマとして扱っている。その内容は、さまざまな進路行事の事前・事後学習を取り扱っており、自分の体験や目標・課題などを話し合う場面が用意されている。このように、働き方だけでなく生き方も含めた「豊かなキャリア発達」のためには、生徒同士が継続的に語り合う場面を設定する必要がある。

特に生き方に関しては、性にかかわる部分も含めた社会的なトラブルが発生しており、口頭での指導だけでは、改善が難しく、同じ行為を繰り返してしまうことも多い。

このことを踏まえ、知的障害特別支援学校の高等部の生徒たちが、各々が考える幸せな人生を送っていくために、生活と労働の両方を合わせた将来への計画を立て、青年期における様々な社会的トラブル(性問題行動、窃盗、暴力等)の加害者にも被害者にも、傍観者にもならないよう、適切な予防教育を行う必要がある(「グッドウェイ・モデル」「グループワーク」「ピアサポート」「相談活動」「内省支援」「(就労も含めた)進路支援」がキーワード)。そのために、知的障害のある方を対象にした、Keep Safe®プログラムを授業として取扱う。本校の教育課程上の「総合的な探究の時間」での実施とするため、各学年の目標や毎時の授業のめあてを「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む姿勢」の3観点で整理し、評価が行えるように準備した。

Keep Safe®とは、「グッドウェイ・モデル」(L.Aylandらが開発)を基盤とした、知的障害のある方への包括的な性教育プログラムであり、自分の権利を守るセルフアドボカシーとしての役割も果たすことが期待されている。

本校では、知的障害のある生徒が豊かなキャリア発達をしていくために、という目的で、従来のキャリア発達に関するものに「生命の安全教育」の目的に重なる部分も意識しながら、実際の指導・支援の計画をKeep Safe®によって授業を実施することとした。

Keep Safe®の目的: ①豊かに生きるための発達支援

2. 方針

Keep Safe®プログラムの理論や実践的基礎をベースにした授業実践を行う。

<Keep Safe®の主要構成モデル>

- ① 認知行動療法(CBT)、ナラティブ
- ② 保護者とのワーク⇒いまのところは行わない。
- ③ Good-Lives-Model(グッドライフ・モデル)
- ④ Good-Way-Model(グッドウェイ・モデル)

* 「グッドウェイ・モデル」

既存の認知行動療法(CBT)の限界⇒知的障害のある人向けに修正された統合モデル

*グッドウェイ・モデルの6つの構成要素(授業の骨子として目指したいこと)

- ① 行動の問題を「BPS(生物-心理-社会)モデル」から全体で捉える。
- ② 思考・信念・価値観をグッドウェイ・モデルで違いを対比させ、概念をわかりやすくする。
- ③ 行動と結果のつながりを理解し、意思決定や問題解決スキルの促進、自己の有害行動や問題行動の再発を防止する。
- ④ 意思決定を日常的に「グッドウェイ」モデルで行う。
- ⑤ 「こうなりたい」という目標として「グッドハウス」「バッドハウス」で自分の行動を考える。
- ⑥ グッドライフ計画でまとめる。

3. 対象生徒

高等部1年～3年

<Keep Safe®実行可能性の参加者選定基準条件>

12～17歳、IQ50～70 ⇒満たしている(本校の生徒は療育手帳B1～B2を所持しているため)

*今回は予防実践としての授業なので、「性問題行動の有無、治療の適合性のスクリーニングの実施、参加する養育者」は問わないこととする。(堀江まゆみ先生と確認済み)

4. 実施する授業

「総合(Keep Safe®)」の時間(各クラスによって)年間35時間を設定。1コマ50分

主に3学年は5・6月と10月・11月に実施が難しい時期がある。メンバーがそろわない時期は、Keep Safe®以外の活動(横浜プログラムの活動を配置予定)をおこなうこともある。

「総合的な探究の時間」の授業の年間指導計画:(二つ橋高等特別支援学校の教育課程より)

卒業後就労を軸とした社会参加、社会自立を目標とする本校教育課程の独自性を踏まえ、自己の特性を知り、自己の進路の行方を見出すために、適切に題材を提供し、幅広い探究課題に興味・関心を持つことができるよう具体的な経験を伴う学習の場を設定する。

1. 生徒の興味・関心を高め、**自ら学び・自ら考え主体的に判断する資質**を育てる。(主体)
 2. 知識や技能を学習や**生活に活用し、自らの課題を解決する能力**を育てる。(課題解決)
 3. **自らの在り方・生き方を考える**ことができるようにする。(生き方)
 4. **他者や社会と協働・共生する力**を育てる。(協働・共生)
- (「環境」「福祉」「町づくり・地域経済」「伝統文化」「キャリア」「国際理解・多文化共生」「安全・防災」:
横浜版学習指導要領「総合的な学習の時間」より)

1年の場合 (R7年度 Keep Safe®25時間、YPI0時間)

- キャリア発達支援にかかわる課題 (自他の尊重、デートDV、セクシャルハラスメントなど)
 - ・グループワークで、自分のことを素直に語れるようになる。【知識・技能】
 - ・自分にとって幸せな人生を考える。【思考・判断・表現】
 - ・他者の語りを聞き、自己の特性について理解する。【主体的に取り組む姿勢】

2年の場合 (R7年度 Keep Safe®25時間、YPI0時間)

- キャリア発達支援にかかわる課題
 - (自他の尊重、デートDV、セクシャルハラスメント、SNSの危険性など)

- ・「グッドサイド」「バッドサイド」の考え方を身に付ける。【知識・技能】
- ・自分の価値観に気づき、自分にとって幸せな人生を考える。【思考・判断・表現】
- ・他者の語りを聞き、自分と相手の特性について理解する。【主体的に取り組む姿勢】

3年の場合（R7年度 Keep Safe®22時間、YP 9時間）

○キャリア発達支援にかかわる課題

- （自他の尊重、デートDV等、セクシャルハラスメント、SNSの危険性など）
- ・いろいろなテーマでも「グッドサイド」「バッドサイド」を使える。【知識・技能】
 - ・自分にとっての幸せな人生について考えを深める。【思考・判断・表現】
 - ・自他の特性に気づき、将来について前向きに取り組める。【主体的に取り組む姿勢】

5. 指導形態、指導体制

クラスごと、男女混合（ただし第5回のみグループでは男女に分けることもある）教員はMTI名（インスト資格者）、STI名、学年単位で行うため、学年によって構成メンバーが変更になる。

6. 授業計画(案)

時数	モジュール	テーマ	活動	1年	2年	3年
1	M1. 導入（開始にあたり）	Keep Safe®とは何か。 歓迎と導入 （主体）	・グループのルール ・つながりのエクササイズ ・何のための学習か。 ・チルスキル	4月 実施	4月 実施	4月 実施
2		お互いを知ろう （生き方）	・スチュワートの人間像づくり ・自分発見（SWととの比較） ・SWの幸せな人生に必要なもの （自分へ視点を移していく）	4月 実施	4月 実施	4月 実施
3		私のグッドライフ・モデル （生き方）	・グッドライフ・モデル作成 *毎回授業のスタートで「よくできたこと」を4領域に振り分ける	5月 実施	5月 実施	4月 実施
4		グッドサイド・グッドウェイ （生き方）	・タイムラインと人生計画 ・グッドサイド・バッドサイド導入 ・分かれ道に立つ男紹介	5月 実施	5月 実施	5月 実施
5	M2. 人間関係	わたしたちの体	・体の部位 男、女 （男女を分けたグループ構成も可） ・言葉の使い分け	6月 実施	6月 実施	5月 実施
6		成長	・年齢当てゲーム ・成長による変化	6月 実施	6月 実施	5月 実施
7		友だち、家族、 恋人関係	・スチュワートの人間関係 ・人間関係サークル、親しさの表現	6月 実施	6月 実施	
5/8		関係性、恋人	・関係作りのステップ ・性のビックルール ・同意のルール シナリオで	7月 実施	7月 実施	7月 実施

9		良いタッチ、悪いタッチ・同意	・壁ドン ・グッドウェイ、バッドウェイ (酩酊の同意:3年)	7月 実施	7月 実施	
10		ソーシャルメディア	・インターネットの危険性 (匿名性、不快な情報の対処)	9月 実施	9月 実施	7月 実施
11		ソーシャルメディア	・セク스팅／ポルノ画像 *同心円の復習 (サイバー犯罪防止対策講座の受講で代える。)	9月 実施	9月 実施	9月 実施
12	M3.感情コントロール *ストーリーでグッドサイドと	どんな気持ちかな	・感情も識別 ・感情と状況の関連付け ・人の感情の識別方法 ・STOPステップへのシナリオ	10月 実施	10月 実施	9月 実施
13	バッドサイドを語ることを大切に。	感情と私たちの体	・彼らの感情は(写真から) ・身体の兆候 ・ボディマップ(怒り・悲しみ)	10月 実施	10月 実施	9月 実施
14		思考と感情の関連づけ	・感情の体温計紹介、作成 「怒り」「悲しみ」 ・身体の兆候ボディマップの関連	11月 実施	11月 実施	10月 実施
15		思考と感情と行動の関連づけ	・グッドライブモデルを理解する。 ・お菓子屋さんのシナリオ ・グッドサイド、バッドサイドのシナリオの活動(スチュワートの2)	11月 実施	11月 実施	10月 実施
16		3人の悪者と3人の賢者の紹介	・3人の悪者の役割を理解する。 ・3人の賢者の役割を理解する。 ・「考える、感じる、行動する」の関連を話し合う。感情自体ではなく、その使い方、制御の仕方	11月 実施	11月 実施	10月 実施
17	M4.自分の行動を理解する *ストーリーを3つ用意し、毎回取り組む。コマ調整もここで	「グッドウェイ・モデル」 グッドサイドとバッドサイド	・3人の悪者・3人の賢者と自分の失敗行動を関連づける。 ・失敗経験を振り返る。失敗のシナリオ作成(スチュワートの物語) ・グッドサイドとバッドサイドは何ていう?	12月 実施	12月 実施	12月 実施
18	行う。	3人の悪者と自分の行動3人の賢者と自分の行動	異なるシナリオで3人の悪者は何ていう?3人の悪者と賢者は何という? ロールプレイ ・ストップステップ、チルスキルの実践	12月 実施	12月 実施	12月 実施

19		自分のグッドサイドの強化	・グッドサイドメーターの作成・活用 ・グッドサイドシート作成	1月 実施	1月 実施	12月 実施
20	M5. 共感と結末の予測	自己と他者の感情の理解と共感・共感の理解	共感シナリオについて話し合う	1月 実施	1月 実施	省略可
21	M 6 . Keep Safe®計画 *一人ずつ過去のファイルを見ながら、自分のソーシャルストーリーを書き上げるイメージ。コラージュするときも同様。	私のグッドライフ(よき人生)を組み立てる	グッドサイド・ルールの確認 グッドサイド・ルールのシナリオ	1月 実施	1月 実施	1月 実施
22		古い人生と新しい人生	・バッドウェイに行く ・グッドウェイに行く ・人々への影響を考える。	2月 実施	2月 実施	1月 実施
23		私の Keep Safe®計画とツール	手助けしてくれる人やツールを考える	2月 実施	2月 実施	1月 実施
24		振り返り	私の道具箱と Keep Safe®計画の発表(3年のみ、Keep Safe®修了証)	3月 実施	3月 実施	2月 実施

1年生のモデルケースとして

	学習内容・学習活動	ねらい
第1次 4/下旬	テーマ1「導入」 (1) Keep Safe®とは何か。歓迎と導入 ・グループのルール ・つながりのエクササイズ ・何のための学習か。 ・チルスキル	・幸せな人生の道を自分で選ぶための学習であることを理解する。 ・授業に参加することの不安を解消する。 ・グループ内ルールを自分たちで決める。
第2次 5/上旬	(2) お互いを知ろう ・スチュワートの人間像づくり ・自分発見(SW ととの比較) ・SW の幸せな人生に必要なもの	・お互いを知る。 ・自尊心や動機を高めるような「うまくやれたこと」「強み」に注目して、自信を高める。
第3次 5/下旬	(3) 私のグッドライフ・モデル ・グッドライフ・モデル作成	・自分にとっての「グッドライフ・ニーズ」の考え方を紹介する。 ・「グッドライフ・ニーズ」と自分の人生を関連づけられるように、自分のニーズのいくつかの例を挙げる。
第4次 6/上旬	(4) グッドライフ・グッドサイド・グッドウェイ ・タイムラインと人生計画 ・グッドサイド・バッドサイド導入 ・分かれ道に立つ男紹介	・自分の「タイムライン」を作成し、自分の人生を考え始める。 ・タイムラインと将来の計画を「よい人生」と関連づける。 ・「グッドサイド」「バッドサイド」「分かれ道に立つ男」を紹介する。

第5次 6/下旬	<p>テーマ2「感情と感情のコントロール」</p> <p>(1)どんな気持ちかな</p> <ul style="list-style-type: none"> 感情の識別 感情と状況の関連付け 人の感情の識別方法 STOP ステップへのシナリオ 	<ul style="list-style-type: none"> 感情に名前を付け、感情について話しあう。 人によって感情の経験には共通点と相違点があることを知る。 状況と感情を関連づける。 感情が身体に現れる兆候を識別し始める。
第6次 7/月上旬	<p>(2)感情と私たちの体</p> <ul style="list-style-type: none"> 彼らの感情は(写真から) 身体の兆候 ボディマップ(怒り・かなしみ) 	<ul style="list-style-type: none"> 感情と身体的兆候を識別し始める。 感情と行動とグッドウェイ・バッドウェイをつなげる。 「STOP ステップ」の理解を深める。
第7次 7/下旬 もしくは 8月	<p>(3)思考と感情と行動を関連づける</p> <ul style="list-style-type: none"> 感情の体温計紹介、作成 身体の兆候ボディマップの関連 	<ul style="list-style-type: none"> コントロールが難しい感情のコントロールのしかたを練習する 怒り・悲しみの身体の兆候の識別を始める 困難な感情をコントロールするための道具の使い方を復習する グッドサイド・バッドサイドシナリオを使って「思考-感情-行動」のつながりを強くする
第8次 9/月上旬	<p>(4)グッドサイドとバッドサイド</p> <ul style="list-style-type: none"> お菓子屋さんのシナリオ グッドサイド、バッドサイドのシナリオの活動 考える、感じる、行動する の関連を話し合う。感情自体ではなく、その使い方、制御の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> グッドライブモデルを理解する。 3人の悪者の役割を理解する。 3人の賢者の役割を理解する
第9次 9/下旬	<p>テーマ3「自分の行動を理解する」</p> <p>(1)3人の悪者・3人の賢者と自分の失敗行動を関連づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 失敗経験を振り返る。失敗のシナリオ作成 	<ul style="list-style-type: none"> 失敗経験を振り返る。失敗のシナリオを考える。 3人の悪者と3人の賢者を、自分たちのトラブルや問題行動に結びつけて考える。
第10次 10/月上旬	<p>(2)グッドサイド・グッドウェイが、感情・考え・行動を変えるか、関連性を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 異なるシナリオで3人の悪者は何ていう?ロールプレイ(感情と身体的兆候) ストップステップチルスキルの実践 3人の賢者は何という? 	<ul style="list-style-type: none"> 分かれ道での3人の賢者と3人の悪者の影響力を検討する。 3人の賢者と3人の悪者を、自分たちのトラブルや問題行動に結びつける。 バッドサイドの考えが浮かんだ時、「ストップステップ」を使うことを知る。
第11次 11/下旬	<p>(3)自分のグッドサイドの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> グッドサイドシート作成 グッドサイドメーターの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のグッドサイドを強くする。 グッドサイドが感情、考え、行動にどのように影響をあたえるか、グッドウェイ・モデルについて理解する。 グッドウェイまたはバッドウェイのどちらに行くか選択することの責任はだれにあるのかを考える。 自分が安心と感じた時、または安心ではないと感じた時の経験を、グッドハウス、バッドハウスの概念に関連づける。

第12次 12/上旬	テーマ4「共感と結末の予測」 自己と他者の感情の理解と共感・共感の理解 ・共感のシナリオについて話し合う。	・事例を通して、相手の視点で物事を見ることを紹介する。 ・「共感」が何を意味するのかを紹介する。 ・「後に何が起こるか」という結末について考える。 (波紋の広がり)
第13次 12/下旬 1月	「Keep Safe®計画」 (1) 私のグッドライフ(よき人生)を組み立てる ・グッドサイド・ルールの確認 ・グッドサイド・ルールのシナリオ	・自分はどんな人になりたいか、どんな人生を送りたいかを、具体的な人やその人の人生を当てはめながら表現する。 ・「よき人生」のための自分の目標を考える。 ・「グッドサイド・ルール」を紹介する。 グラハム、エミリーのストーリー
第14次 2/上旬	(2) 古い人生と新しい人生 ・バッドウェイ・グッドウェイに行く。 ・人々への影響を考える。 ・どこが分かれ道だったのか。修復のチャンス	・悪い道と良い道、選ぶのは自分であると認識する。 ・私が選ぶのは、良い道か悪い道かを見分ける。 ・バッドウェイ、グッドウェイに行ったら、人々にどう影響するのかを認識する。 ・お菓子屋のストーリーで分かれ道と修復のチャンスについて再考する。
第15次 2/下旬	(3) 私の Keep Safe®計画とツール ・手助けしてくれる人とツールを考える。	・自分をグッドウェイに行くことを支えてくれる人やツールなどのリソースの存在を知る。 ・Keep Safe®・レターを書く。
第16次 3/	(4) 振り返り、まとめ ・私の工具箱と Keep Safe®計画の発表	プログラム全体を振り返る。 ・自分の工具箱(チルスキル)と Keep Safe®計画について発表する。

*セッションの内容によっては、複数のセッションをまとめて実施することもある。

逆に、1回のセッションを複数回に分けて実施することもある。

*生徒の状況や成育歴(精神疾患、施設入所者、LGBT等)、トラウマ体験を踏まえ、扱う話題には十分に配慮する。

*男女別に考えてから、あとから合同で話し合ったり、発表しあったりすることもある。

*扱う内容は、「**生命の安全教育**」の補足資料(事例集)とする。(リスク管理)

セクシャルヘルスの項目「**・セックス、避妊、性感染症予防**」は保健師の講習による

*4月に学校 Keep Safe を実施するためのインストラクター研修を9時から5時で行う。

*保護者向けに、堀江先生から講演会をしてもらうようにする。もしできればPTA総会で話も。

総合的な探究の時間（学校KeepSafe@25コマ+YP10コマ）年間指導計画

1学年（学習内容／行事等）		学校KeepSafe®		2学年（学習内容／行事等）		学校KeepSafe®		3学年（学習内容／行事等）		学校KeepSafe®	
4月	目標づくり		キープセーフとは 「お互いを知ろう」 「私のグッドライフモデル」	将来の生活において 修学旅行の事前		キープセーフとは 「お互いを知ろう」 「私のグッドライフモデル」	将来の生活にむけ		キープセーフとは 「お互いを知ろう」 「私のグッドライフモデル」		
5月	職場体験1		「グッドサイド、グッドウェイ」 「私たちの体」 「成長」 「友達、家族、恋人関係」	修学旅行 現場実習事前全体 実習担当者会		「グッドサイド、グッドウェイ」 「私たちの体」 「成長」 「友達、家族、恋人関係」	現場実習事前全体 実習担当者会		「グッドサイド、グッドウェイ」 「私たちの体」 「成長」 「友達、家族、恋人関係」	前期現場実習	「友達、家族、恋人関係」（省略可） 「関係性、恋人」「同意」
6月	余暇の過ごし方 キャリア相談会	職場体験2	「同意」 「良いタッチ、悪いタッチ」 「ソーシャルメディア」	キャリア相談会		「同意」 「良いタッチ、悪いタッチ」 「ソーシャルメディア」	キャリア相談会		「同意」 「良いタッチ、悪いタッチ」 「ソーシャルメディア」	キャリア相談会	「良いタッチ、悪いタッチ」（省略） 「ソーシャルメディア」
7月	余暇の過ごし方	職場体験3 全校集会（進）	「どんな気持ちかな」 「感情と私たちの体」1 「感情と私たちの体」2	現場実習の事後 合理的配慮について 進路面談	全校集会（進路） 進路面談	「どんな気持ちかな」 「感情と私たちの体」1 「感情と私たちの体」2	現場実習の事後 合理的配慮について 進路面談	全校集会（進路） 進路面談	「どんな気持ちかな」 「感情と私たちの体」1 「感情と私たちの体」2	全校集会（進路） 進路面談	「感情と私たちの体」 「思考と感情の関連付け」 「3人の悪者、3人の賢者」5
8・9月	余暇の過ごし方	職場体験4	「思考と感情の関連付け」1 「思考と感情の関連付け」2 「3人の悪者、3人の賢者」1 「3人の悪者、3人の賢者」2	GHについて（連携）		「思考と感情の関連付け」1 「思考と感情の関連付け」2 「3人の悪者、3人の賢者」3 「3人の悪者、3人の賢者」4	求職登録について 現場実習事前全体	求職登録 現場実習事前全体	「思考と感情の関連付け」2 「3人の悪者、3人の賢者」3 「3人の悪者、3人の賢者」4	求職登録 現場実習事前全体	「共感の理解」（省略可） 「グッドライフを組み立てる」 「古い人生と新しい人生」
10月	将来の生活において	職場体験5	「自分のグッドサイドを強化する」 「共感の理解」 「グッドライフを組み立てる」 「古い人生と新しい人生」	現場実習担当者会	現場実習2	「自分のグッドサイドを強化する」 「共感の理解」 「グッドライフを組み立てる」 「古い人生と新しい人生」	現場実習担当者会	後期現場実習	「自分のグッドサイドを強化する」 「共感の理解」 「グッドライフを組み立てる」 「古い人生と新しい人生」	後期現場実習	「私のキープセーフ計画とツール」 振り返り （全体のSNS関係の講習会）
11月	修学旅行において	職場体験6	「私のキープセーフ計画とツール」 振り返り （全体のSNS関係の講習会）	現場実習の事後		「私のキープセーフ計画とツール」 振り返り （全体のSNS関係の講習会）	現場実習の事後		「私のキープセーフ計画とツール」 振り返り （全体のSNS関係の講習会）	現場実習の事後	YPアクティビティその1 YPアクティビティその2 YPアクティビティその3 YPアクティビティその4 YPアクティビティその5
12月	余暇の過ごし方 キャリア相談会	職場体験7	YPアクティビティその1 YPアクティビティその2 YPアクティビティその3 YPアクティビティその4 YPアクティビティその5	余暇の過ごし方 キャリア相談会	進路面談	YPアクティビティその1 YPアクティビティその2 YPアクティビティその3 YPアクティビティその4 YPアクティビティその5	余暇の過ごし方 キャリア相談会		YPアクティビティその1 YPアクティビティその2 YPアクティビティその3 YPアクティビティその4 YPアクティビティその5	余暇の過ごし方 キャリア相談会 求人票について	YPアクティビティその6 YPアクティビティその7 YPアクティビティその8 YPアクティビティその9
1月	合理的配慮について	職場体験8	YPアクティビティその6 職業講話 コース選択希望調査（仮）			YPアクティビティその6 職業講話 コース選択希望調査（仮）			YPアクティビティその6 職業講話 コース選択希望調査（仮）	ケースワーカーについて（連携） 卒業生のお話を聴く会	
2月			YPアクティビティその7 YPアクティビティその8 YPアクティビティその9 YPアクティビティその10			YPアクティビティその7 YPアクティビティその8 YPアクティビティその9 YPアクティビティその10		卒業遠足			
3月	将来の生活において	個別面談 校外学習		将来の生活において 校外学習							

横浜市立二つ橋高等特別支援学校 総合的な探究の時間 全体計画 (A)

学校教育目標

「働く」「自立」「自己実現」

- ◎主体的に社会貢献できる職業人をめざします。
 - ・働くことを目指した学びを通して、働く意味や喜びを知り、主体的に社会とつながり、もてる力を発揮し貢献する力を育てます。
- ◎社会や他者とつながりがもてる自立した社会人をめざします。
 - ・社会とつながり、多様な人々との交わりを通して、自己の理解を深め、他者と行動しながら自分らしく社会生活を送ることができる力を育てます。
- ◎自分の幸せを思い描き、実現していく人をめざします。
 - ・社会や他者を尊重し、自己の夢や希望に向かって、自分らしく幸せに生活するために自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力を育てます。

【学校経営スローガン】

一人ひとりが輝き成長する学校 ～ウェルビーイングの向上を目指して～

本校 総合的な探究の時間の目標

卒業後、就労を軸とした社会参加、社会的自立、自己実現できることを目指す本校の教育課程の独自性を踏まえ、探究の見方・考え方を働かせ、就労や自立、社会参加に関わる総合的な学習を通して学校生活と社会のつながり考えたり、自己理解を深めたり、自己受容を高めたりすることで自己の在り方生き方、自己のウェルビーイングが探究できる資質・能力を育成する。

(1) 自己の在り方・生き方に関する課題の探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、ウェルビーイングの視点から社会や他者との関係の中で主体的に充実した生活や人生を探究する意義を理解する。

(2) 自己の在り方・生き方に関する問いを見だし、ウェルビーイングの視点から自ら課題を設定して、その解決に向けて体験的な活動を中心にしながら、情報を集め、整理・考察して、まとめ・表現する力を身に付ける。

(3) 自己の在り方・生き方に関する探究活動に主体的・協働的に取り組むことでウェルビーイングの視点から自分らしい生活や人生を構築するために計画し、行動しようとする気持ちを涵養する。

【生徒の実態】
 ○通学区は横浜市全域である。
 ○卒業後企業就労を目指している。
 ○実際の経験が不足している生徒が多い。
 ○自己理解や自己受容、他者視点を深める必要がある生徒が多い。
 ○好きなことや興味が限定的だったり、少なかったりする。

【地域・企業の実態】
 ○周辺に、県立支援学校や市立の小中学校、保育園などがある。区役所をはじめケアプラザ、資源循環局や水道局事務所など様々な施設があり、様々な施設が現場実習の受け入れを求めている。
 ○横浜市内だけでなく、近隣の神奈川県や東京都などで現場実習の受け入れを求めている。

【学校の実態】
 ○横浜市内に3校ある高等特別支援学校の1つである。
 ○職業教育を中核とした実践が積み重なり、企業就労に向けた取組や企業開拓、定着支援が丁寧に行われている。
 ○高等学校が多様化しているのもあり、志願者数が減少傾向にある。

【保護者の願い】
 ○将来的に企業就労して社会的、経済的に自立してほしい。
 ○卒業直後は福祉的な就労をしてもいいので、長く働けるようになってほしい。
 ○将来は自己決定しながら幸せな人生を送ってほしい。

【地域・企業の願い】
 ○魅力があり、住みやすい地域づくりに一緒に取り組んでほしい。
 ○「返事・挨拶」「報告・連絡・相談」「基本的な生活習慣」「体調管理」「ビジネスマナー」などが身につけている生徒になってほしい。
 ○勤怠が良く、感情が安定しており、素直に話が聞ける、伸びしろがある生徒になってほしい。

学校として想定される探究課題と、探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力

学年	【第1学年】	【第2学年】	【第3学年】
探究課題	「『働く』って何？」 ～学校生活と働くことのつながりの探究～ ＜職業や自己の進路に関する課題：働くことの意味や価値と社会的責任＞	「自分の力を発揮して、なりたい自分になるには？」 ～「自立・自己実現」を目指した自分らしい生活、人生の探究～ ＜職業や自己の進路に関する課題：職業の選択と社会貢献及び自己実現＞	「私たちはどうつながり合うか」 ～長寿番組の「サイコロトーク」の魅力の探究～ ＜生徒の興味・関心に基づく課題＞
知識技能	・様々な仕事があることを知り、興味がある職種を探究した上で学校生活と働くこととのつながりを理解する。【相互性】 ・オリジナル商品の開発や販売を通して働くことの意味や価値に気付く。【創造性】	・ウェルビーイングの視点から「自立・自己実現」の多面的・多角的な側面に気付く。【多様性】 ・ウェルビーイングの視点から自分の「自立・自己実現」のためのキャリアプランや生活習慣プランを構築する。【創造性】	・サイコロトークを通して自分や他の生徒の独自性に気付く。【独自性】 ・サイコロトークを通して自分と他の生徒の共通点に気付く。【多様性】
課題の解決を落として育成を目指す資質・能力	・課題の設定＞様々な仕事について調べること全体像を把握した上で興味がある職種を決め、深く探究するための計画を立てる。 ・情報の収集＞計画に沿って各種資料を調べたり、その職種従事者にインタビューをしたり、関連施設を訪問したりして適切な情報を収集する。 ・整理・分析＞集めた情報を自分なりに整理し、みんなに伝えたいことを視覚的に整理し、今の学校生活とのような関連があるかを考察する。 ・まとめ・表現＞まとめた内容を他者視点で整理し、発表する。 ・課題の設定＞みんなが買いたいオリジナル商品を考えて、販売までの計画を立てる。 ・情報の収集＞外部講師の話や校内アンケート、各種資料などを通して適切な情報を収集する。 ・整理・分析＞集めた情報を精査した上で改めてみんなが買いたいオリジナル商品を検討する。 ・まとめ・表現＞働くことと関連させながら一連の活動を振り返り、考察を加え、他者視点で整理し、発表する。	・課題の設定＞ウェルビーイングの視点から捉えた「自立・自己実現」の多面的・多角的な側面を踏まえて自分のキャリアプランや生活習慣プランに関する計画を立てる。 ・情報の収集＞外部講師の話や体験的な活動、各種資料を通して適切な情報を収集する。 ・整理・分析＞集めた情報や体験を精査した上でウェルビーイングの視点から自分の「自立・自己実現」のためのキャリアプランや生活習慣プランを立てる。 ・まとめ・表現＞作成した自分のキャリアプランや生活習慣プランを他者視点でまとめ、発表する。	・課題の設定＞サイコロトーク参加者が共通して話し合えるようなテーマを探究する。 ・情報の収集＞共通するテーマに関係する適切な情報を収集する。 ・整理・分析＞共通するテーマについて自分の経験や集めた情報、他の生徒の話を手掛かりに整理する。 ・まとめ・表現＞考えた話の内容をサイコロトークの中で他者視点でまとめ、発表する。
主体的に取り組む姿勢	・働くことの意味や価値を見出し、具体的に学校生活とつながりながら行動している。	・ウェルビーイングの視点から、自分らしい生活・人生を探究する課題に取り組んでいる。 ・作成した自分のキャリアプランや生活習慣プランを学校生活や日頃の生活習慣につなげて生かしている。	・参加者に配慮しながらテーマの提案や話の内容を調整している。 ・他者の意見を尊重したり、手掛かりにしたりしながらサイコロトークに参加している。

【学習活動】
 ・就労先も含めた「地域」や生徒の実態を踏まえた探究課題を設定する。
 ・積極的に外部との連携を図ることによって実社会との接続を生かした学習活動を行う。
 ・グループの仲間や他学年の生徒、地域の人々と協働して課題解決に向かおうとする計画にする。
 ・課題研究を発表する場を設け、学習内容を外部に公開する。

【指導方法】
 ・個に応じて生徒の課題意識が向上する支援と指導の工夫を行う。
 ・体験を重視する。
 ・各教科や職業に関する授業、自立活動、特別活動、道徳、現場実習と関連した指導を行う。
 ・「自ら問いを立てる力」を大切に、協働的な学習を重視する。

【指導体制】
 ・校内で研究グループを設置し、連絡・調整をしながら中心となって進めていく。
 ・現場実習や職場見学会等の機会を生かすために進路支援との連携を積極的に進めていく。
 ・生徒の学習が継続的に進むことを重視し、外部の地域資源とも日常的な連携を行う。

【学習評価】
 ・探究課題別に評価規準を設定する。
 ・探究課題別に生徒が振り返る機会を設け、個人評価を行う。
 ・生徒の活動の様子の記録や個人のキャリアプランなどの成果物などを評価の対象として活用する。

教科等を超えて全ての学習の基盤となる資質・能力

自ら問いを立てる力	自己理解・自己受容・他者視点	学習内容を自分とつなげる	コミュニケーション力
-----------	----------------	--------------	------------

各教科等との関連

国語	・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。 ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
社会	社会的現象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、自分の生活と結び付けて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
数学	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。
理科	・自然の事物・現象について基本的な理解を回り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようになる。 ・観察、実験などを行い、解決の方法や考えをより妥当な考えをつくりだす力を養う。 ・自然を愛する心情を養うとともに、心豊かな生活を営むことにつながる態度を養う。
音楽	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する完成を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。
美術	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、完成を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う。
情報	身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。

保健体育	生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持推進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
家庭	家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。
英語	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
職業	よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。
自立活動	各種アセスメントシートや「キャリアパスポート」を活用しながら探究を進めていく。
道徳	よりよい生活のための基盤となる道徳性を養うため、道徳的価値観についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。
特別活動	自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自己理解を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
学習	現場実習との往還をしながら探究を進めていく。

近隣の学校、機関、会社等との連携

- 【具体的な連携先】
 - ・進路支援：職業安定所（ハローワーク戸塚）、職場見学会の見学先、現場実習先
 - ・相談機関：区のケースワーカー、基幹相談支援センターや後見の支援室
 - ・その他：起業家プログラム、メイクアップセミナー
- 【進路支援での連携】
 - ・職場見学会、現場実習の準備、事後学習を通して、自己の適性や就労先で求められることを理解し、実践する。
- 【相談機関との連携】
 - ・相談機関の職員の方に講演を依頼し、講演会を開催する。
 - ・卒業直前に、区の担当ケースワーカーを訪ね、必要な支援などを確認する。
- 【近隣の中学校との連携】
 - ・個別的教育支援計画を基に、中学校での資質・能力の取組について確認する。
 - ・本校の中学生対象の学校見学会の対応で、学校生活や現場実習の取組について発表をする。（※職業の授業として行う）

令和7年度 総合的な探究の時間 年間指導計画(A)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
1 学 年	課 探 題 究	『働く』って何? ~学校生活と働くことのつながりの探究~ <職業や自己の進路に関する課題:働くことの意味や価値と社会的責任>												●第1単元は、現場実習や職場見学会など往還しながら進めていく。貴会があれば実際に働かれている方へのインタビューなどを行う。 ●第2単元は、角川アスキー総合研究所の「起業家プログラム」の一環として進めていく。
	元 小 名 単	第1単元「働くことについてとことん追究してみよう」(13時間)						第2単元「会社をつくってモノを売ってみよう」(14時間)						
	目 単 標 元	外部講師の話の聞いたり、様々な資料を活用したりしながら、様々な職種があることを理解し、その関連性に気づき、さらに詳しく追究することで働くことに対する認識を深め、学校生活とつながりを見出す。						様々な資料を活用したり、他の生徒と協働したりしながら、会社づくりやものづくりにかかわる一連のプロセスを経験することでビジネスや起業家精神(アントレプレナーシップ)について理解し、職業生活に対する認識を深め、自ら行動をしたり、新たな価値を生み出したりする気持ちを育む。						
	学 習 内 容	オリエンテーション	課題の設定 探究計画の立案	情報収集	整理・分析	まとめ・発表	オリエンテーション 外部講師講演 課題の設定	情報収集 商品開発 投資家融資	商品作成 販売促進	販売	まとめ・発表	振返り		
2 学 年	課 探 題 究	「自分の力を発揮して、なりたい自分になるには?」~「自立・自己実現」を目指した自分らしい生活・人生の探究~ <職業や自己の進路に関する課題:職業の選択と社会貢献及び自己実現>												●第1単元では、中央教育審議会が定義する「ウェルビーイング」を軸に様々な定義も参考にしていく。外部講師へのインタビューも行う。 ●第2単元は、フィールドワークなどの実際の体験を通じた情報収集を行い、成果物としてのキャリアプランや生活習慣プランとしてまとめる。 ●第3単元での発表用には動画や実物などを使用することを奨励していく。
	元 小 名 単	第1単元「探究計画を立てよう」(9時間)				第2単元「自分らしい生活・人生の実現に向けて実践しよう」(9時間)				第3単元「探究成果を発表しよう」(9時間)				
	目 単 標 元	「ウェルビーイング」の定義を把握した上で、様々な資料を活用し、他の生徒と協働しながら、自分らしい生活・人生を追求するための課題を設定し、その実現のための探究計画を立てる。				立てた探究計画を踏まえて、実際の体験を通して情報収集をし、その状況や他の生徒の様子を手掛かりに調整しながら探究を進め、その結果に考察を加えながらキャリアプランや生活習慣プランを作成する。				作成したキャリアプランや生活習慣プランを他者視点も考慮しながらまとめ、発表し、それに対する他者の意見を踏まえて、自分らしい生活・人生について振り返る。				
	学 習 内 容	オリエンテーション (ウェルビーイングについて)	外部講師講演 課題についての現状分析	課題の設定 情報収集	探究計画の立案	情報収集 (フィールドワーク・アンケートなど)	キャリアプラン・生活習慣プラン作成	発表準備	発表	振返り				
3 学 年	課 探 題 究	「私たちはどうつながり合うか」~長寿番組の「サイコロトーク」の魅力の探究~ <生徒の興味・関心に基づく課題>												●第1単元では、 ●第2単元では、他のクラスが作成したサイコロを使うだけでなく、「どの話がなぜ印象に残ったか」、「サイコロトークの魅力」または「どのようにすればより魅力的になるか」「どのように自分の今後の生活に生かすか」などの振返りを重要視する。
	元 小 名 単	第1単元「自分たちでサイコロをつくって、サイコロトークをしてみよう」(9時間)				第2単元「他のクラスがつくったサイコロを使ってサイコロトークをしてみよう」(9時間)				第3単元「探究成果を発表しよう」(6時間)				
	目 単 標 元	サイコロトークの全体像を理解した上で、他の生徒の意見を聞きながら考えを調整し、全員で共有できるテーマを決め、活動を通して自分のことを伝えたり、話を聞いたりしてつながるきっかけをつくり、つながりを深めたりする。				他のクラスが作成したサイコロを使いながら活動を通して、自分のことを伝え、相手の話を聞くことで他の生徒とつながるきっかけをつくり、つながりを深めたり、興味関心を深めたり、自分理解を深めたりする。				探究成果を他者視点も考慮しながらまとめ、発表する。				
	学 習 内 容	オリエンテーション (サイコロトークについて)	探究計画を立案 クラスのサイコロ作成	クラスでサイコロトークを実施 振返り	他のクラスが作成したサイコロを使ってサイコロトークを実施	振返り	発表準備	発表						

学校教育目標
働く
自立
自己実現

教育課程全体で育成を目指す資質・能力
主体的に社会に貢献できる職業人を目指します
社会や他者とのつながりがもてる自立した社会人を目指す
自分の幸せを思い描き、実現していく人を目指します

特 別 活 動

目 標	1年生 第 1 段 階
	<p>(1) 基本的な生活習慣、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、実践できるようにすること。人間関係よりよく構築していく中で大切にしていけるべきことを理解し実践できるようにすること。</p> <p>(2) 人間関係をよりよく構築していくために、多様な場面で、自分と異なる考えや立場にある多様な他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働していくこと。</p> <p>(3) 多様な他者の価値観や個性を受け入れ、認め合い、助け合ったり協力し合ったり、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度。</p>
	2年生 第 2 段 階
	<p>(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 集団をよりよく改善したり、主体的に社会に参画し形成したりするために自他のよさや可能性を發揮しながら、主体的に集団や社会の問題について理解し、合意形成を図ってよりよい解決策を決め、それに取り組むこと。</p>

ホームルーム	生徒会活動(委員会活動)	学校行事
ホームルームや学校での生活をよりよくするための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、ホームルームでの話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むこと。	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むこと。	全校若しくは学年又はそれらに準ずる集団で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属観や連帯感を深め、公共の精神を養う。

<内容>	<内容>	<内容>
全ての学年において、次の書く活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。	学校の全生徒をもって組織する生徒会において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。	全校若しくは学年又はそれらに準ずる集団を単位として、次の各行事において、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うことを通して、それぞれの学校行事の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。

<p>(1) ホームルームや学校における生活づくりへの参画</p>	<p>(1) 生徒会(委員会)の組織づくりと生徒会活動(委員会活動)の計画や運営</p>	<p>(1) 儀式的行事</p>
<p>ア ホームルームや学校における生活上の諸問題の解決</p> <p>ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。</p>	<p>生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。</p>	<p>学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・着任式 ・始業式 ・修了式 ・卒業式 ・離任式 ・終業式 ・朝会
<p>イ ホームルーム内の組織づくりや役割の自覚</p> <p>ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること。</p>	<p>(2) 学校行事への協力</p> <p>学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりする。</p>	<p>(2) 文化的行事</p> <p>平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会 ・芸術鑑賞会・弘済会コンサート
<p>ウ 学校における多様な集団の生活の向上</p> <p>生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合って決めること。</p>	<p>(3) ボランティア活動などの社会参画</p> <p>地域や社会の課題を見だし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにすること。</p>	<p>(3) 健康安全・体育的行事</p> <p>心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会本部 ・学級委員会 ・視聴覚・広報委員会 ・生活・環境委員会 ・保健委員会 ・社会福祉 兼 選挙管理委員会 ・図書委員会 ・行事検討委員会 ・定期健康診断 ・避難訓練 ・防災訓練 ・スポーツデイ
<p>(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全</p>		<p>(4) 旅行・集団宿泊的行事</p> <p>平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域散策 ・遠足 ・修学旅行 ・校外学習
<p>ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成</p> <p>自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくること。</p>		
<p>イ 男女相互の理解と協力</p> <p>男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画すること。</p>		
<p>ウ 国際理解と国際交流の推進</p> <p>我が国と他国の文化や生活習慣などについて理解し、よりよい交流の在り方を考えるなど、共に尊重し合い、主体的に国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を探求しようとする事。</p>		
<p>エ 青年期の悩みや課題とその解決</p> <p>心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする事。</p>		

オ	<p>生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立</p> <p>節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。</p>
	(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現
ア	<p>学校生活と社会的・職業的自立の意義の理解</p> <p>現在及び将来の生活や学習と自己実現とつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること。</p>
イ	<p>主体的な学習態度の確立と学校図書館等の活用</p> <p>自主的に学習する場としての学校図書館等を活用し、自分にふさわしい学習習慣を身に付けること。</p>
ウ	<p>社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成</p> <p>社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動すること。</p>
エ	<p>主体的な進路の選択決定と将来設計</p> <p>適性やキャリア形成などを踏まえた教科・科目を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らし考えること。</p>

(5) 勤労生産・奉仕的行事
<p>勤労の尊さや想像することの喜びを体得し、就業体験活動などの勤労観・職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。</p> <p>・大掃除 ・募金活動</p> <p>●各行事のねらいを明確にし、全教師が協力して指導にあたる。</p>

	4月	5月	6月	7・8月	9月	10月	11月	12月	1月
1年	6	2	2	3	2	3	2	2	2
2年	6	2	2	3	2	3	2	2	2
3年	6	2	2	3	2	3	2	3	3
	2月	3月	合計						
1年	3	2	27						
2年	3	2	27						
3年	4		27						

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学校教育法施行規則
- ・学習指導要領
- ・横浜教育ビジョン
- ・横浜版学習指導要領

横浜版学習指導要領
【重点的課題】

- ①豊かな心の育成
- ②健康でたくましい体の育成
- ③国語力及び学習の基盤的能力の育成
- ④コミュニケーション能力の育成
- ⑤社会の変化に対応する能力の育成
- ⑥社会の変化に対応する能力の育成

- ・人権教育
- ・環境教育
- ・情報教育

学校教育目標

「働く」「自立」「自己実現」

<指導・支援の重点>

- ・「働く」……「働く」ことを目指した学習を進め、積極的に社会貢献しようとする人を育てます。
- ・「自立」……「社会に貢献できる人」としての育ちを通して、社会的・精神的・経済的に自立していく態度・姿勢を高め、健康的で文化的な生活を旨とする人を育てます。
- ・「自己実現」……「社会人」としての基礎的素養を育むとともに、自己や他者の特性や長所等を理解したうえで自他を尊重し、人や社会とのかかわりの中で「自分らしさ」を生かした生き方を実現していこうとする人を育てます。

道徳教育重点目標

- 社会自立に必要な道徳的心情、道徳的判断、道徳的実践力と態度を養う
- 学校生活や社会生活を円滑に営むために社会性や協調性を養う
- 人間形成において重要な自尊感情や他者の受容性を養う
- 職業教科の学習や現場実習を通し、勤労することの大切さや福祉の心情を養う

異校種との連携

- ・中学校との連携

子どもの実態と課題

- ・明るく素直で素朴さがあり、元気にあいさつをする活動的な生徒が多い。
- ・落ち着いた学校生活を送り、何事にも一生懸命取り組もうとする。
- ・他律的で依存心が高く、粘り強さや集中力に欠けるところがある。
- ・自分の気持ちをうまく伝える事ができず、互いを理解することが苦手である。

学校、家庭、地域の願い

- ・互いに思いやりの気持ちをもって、共に生きる人となってほしい。
- ・自主・自律の精神を大切に人になってほしい。
- ・自己の生き方を切り開く力を培ってほしい。

各 学 年 道 徳 教 育 重 点 目 標			
	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
A	自分で考えて生活ルールを守り、規則正しい生活ができるようになる。	目標に向かって諦めずに取り組む意志を育てる。	自主的に考えて節度を重んじた生活を送り、自分の個性を知って充実した生き方をしようとする態度を育てる。
B	互いのよさを認め合い、思いやりの心を育てる。	互いの個性を認め合い、優しさと思いやりの心をもつ。	互いの立場を理解して行動する態度を養う。
C	集団の中で自己の役割と責任を自覚し、行動する態度を育てる。	公平で正しい判断をして、差別や偏見のない集団作りになる。	平和について考え、社会の人々の幸福に努めるようになる。
D	自然を愛し、美しいものに感動する豊かな心を育てる。	生命の尊さを理解し、広く温かい心をもって周りの人を受け入れることができる。	生きる喜びを味わい豊かに生きることができる。

各 教 科

国語	・コミュニケーションの基礎として「聞く」「話す」「読む」「書く」ことを中心に学び、コミュニケーション力の向上と定着を図る。
社会	・政治や経済のしくみ、各地の自然や人々の生活、その変化についての理解を深める。 ・社会のきまりについて理解を深め、制度や公共施設を効果的に利用する態度を育てる。
数学	・生活に必要な数量の処理や計算、長さ・重さ・量などの測定方法、図形や表、グラフを理解し、活用する。 ・生活に必要な金銭や時計・暦を工夫して使う。
理科	・科学的な知識を身に付け、日常生活の中で活かす。
音楽	・表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。
美術	・感動する心を持つ人間性を育み、生活に彩りを持たせられるようになる。 ・基礎基本としての表現力と発表力を育む。
保健体育	・健康や安全に関する知識を理解して自らの健康を適切に管理し、改善していく態度を育てる。 ・様々な運動を通して健康・安全・ルールについて理解し、体を動かす楽しさを味わい、仲間と協力することへの意欲を高め、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる。
家庭	・卒業後の自立生活を目指し、家庭生活や衣食住の生活を営む上に必要な知識や技能を身に付け、実践する態度を育てる。
英語	・外国語に親しみ、簡単な表現を通して外国語や外国への関心を育てる。簡単な外国語を使ってコミュニケーションの基礎的能力や態度を育てる。
職業	・いろいろな職業があることを知り、働くことの意義について理解する。 ・職業生活に必要な知識と態度のより一層の習得を図り、実践に役立てる。

道徳の時間の指導方針

- ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
- ・生徒一人ひとりが道徳的価値を理解し、それを自分との関わりでとらえて自己を見つめ、主体的に道徳的実践力を身に付けていく時間として展開する。

特別活動

- ・いろいろな集団の活動を通じて、集団や社会の一員として自主的に取り組もうとする意欲を育てる。
- ・実践的活動を展開し、社会性や豊かな人間性、積極的な態度を養う。

総合的な学習

- ・生徒の興味・関心を高め、自ら学び・自ら考え主体的に判断する資質を育てる。
- ・他者や社会と協働・共生する力を育てる。

自立活動

- ・健康で文化的な生活を築こうとする意欲と態度を養う。
- ・生徒一人ひとりの特性に応じた目標を立て、その目標の達成にむけた活動を通して、達成感を味わわせながら、障害に基づく困難を主体的に改善、克服するために必要な力を養い、自ら判断し生きていける力をつける。

家庭・地域との連携

- ・学校、家庭及び地域が連携し、それぞれが持つ教育機能を発揮することにより、次代を担う生徒の自立心を高め、豊かな人間性を育てる。

学習環境の充実・整備

- ・教師と生徒、生徒相互が信頼関係を育む。
- ・言語環境を整え、よりよい人間関係をつくる。
- ・清潔で落ち着いたある学級、学校環境の整備に努める。

道徳 指導内容一覧

A【主として自分自身に関すること】		1学年	2学年	3学年
A(1) 自主, 自律, 自由と責任	自律の精神を重んじ, 自主的に考え, 判断し, 誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	9	3	2
A(2) 節度, 節制	望ましい生活習慣を身に付け, 心身の健康の増進を図り, 節度を守り節制に心掛け, 安全で調和のある生活をする。	1		
A(3) 向上心, 個性の伸長	自己を見つめ, 自己の向上を図るとともに, 個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。		4	
A(4) 希望と勇気, 克己と強い意志	より高い目標を設定し, その達成を目指し, 希望と勇気を持ち, 困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。			4
A(5) 真理の探究, 創造	真実を大切に, 真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。			8
B【主として人との関わりに関すること】				
B(6) 思いやり, 感謝	思いやりの心をもって人と接するとともに, 家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し, 進んでそれに応え, 人間愛の精神を深めること。	3		
B(7) 礼儀	礼儀の意義を理解し, 時と場に応じた適切な言動をとること。	4		
B(8) 友情, 信頼	友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち, 互いに励まし合い, 高め合うとともに, 異性についての理解を深め, 悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	5		
B(9) 相互理解, 寛容	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, それぞれの個性や立場を尊重し, いろいろなものの見方や考え方があることを理解し, 寛容の心をもって謙虚に他に学び, 自らを高めていくこと。	8	8	7
C【主として集団や社会との関わりに関すること】				
C(10) 遵法精神, 公徳心	法やきまりの意義を理解し, それらを進んで守るとともに, そのよりよい在り方について考え, 自他の権利を大切に, 義務を果たして, 規律ある安定した社会の実現に努めること。		5	
C(11) 公正, 公平, 社会正義	正義と公正さを重んじ, 誰に対しても公平に接し, 差別や偏見のない社会の実現に努めること。		6	
C(12) 社会参画, 公共の精神	社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め, 公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。			9
C(13) 勤労	勤労の尊さや意義を理解し, 将来の生き方について考えを深め, 勤労を通じて社会に貢献すること。	7	7	1
C(14) 家族愛, 家庭生活の充実	父母, 祖父母を敬愛し, 家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。			5
C(15) よりよい学校生活, 集団生活の充実	教師や学校の人々を敬愛し, 学級や学校の一員としての自覚をもち, 協力し合ってよりよい校風をつくるとともに, 様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。	2		
C(16) 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	郷土の伝統と文化を大切に, 社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め, 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し, 進んで郷土の発展に努めること。	6		
C(17) 我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度	優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに, 日本人としての自覚をもって国を愛し, 国家及び社会の形成者として, その発展に努めること。		9	
C(18) 国際理解, 国際貢献	世界の中の日本人としての自覚をもち, 他国を尊重し, 国際的視野に立って, 世界の平和と人類の発展に寄与すること。			3
D【主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること】				
D(19) 生命の尊さ	生命の尊さについて, その連続性や有限性なども含めて理解し, かけがえのない生命を尊重すること。			6
D(20) 自然愛護	自然の崇高さを知り, 自然環境を大切にすることの意義を理解し, 進んで自然の愛護に努めること。		1	
D(21) 感動, 畏敬の念	美しいものや気高いものに感動する心を持ち, 人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。		2	
D(22) よりよく生きる喜び	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し, 人間として生きることの喜びを見いだすこと。	10	10	10

知的障害	
学習上の困難さ	
困難さの状況	<ul style="list-style-type: none"> 記憶、推理、判断などの知的機能の発達に有意な遅れがみられる。 一人ひとりの言語面、運動面、知識面など未発達の部分や社会生活などへの適応が難しいことがある。
道徳指導上の困難	<ul style="list-style-type: none"> 学習で得た知識や技能が断片的になりやすく実際の生活の場で応用されにくいことがある。 実的な生活経験が不足しがちで、抽象的な学習内容の理解が難しいことがある。 他人との意見交換、日常生活や社会生活などについての適応能力に困難がある。
指導上必要な配慮	<ul style="list-style-type: none"> 教科内容の理解の程度などに応じて、学習内容の焦点化を図り、基礎的で基本的な事項を身に付けられるようにする。 生活上必要な基礎的・基本的な語彙などの意味を確実に理解できるように配慮する。 認知上の課題（記憶することや文字、形を見分けることが困難など）や身体運動上の課題（ぎこちない動きや微細な作業ができないなど）、情緒の安定に関する課題（興奮しやすい、極端な自信喪失など）に対応した指導・支援を行う。 できるだけ実生活につながる技術や態度のための指導目標を設定する。（分担した係仕事をこなすなど） 学習や生活に必要で実的な技術や態度を身に付けられるよう配慮する。（注意深く聞くことや板書などを注視することなど） 個々の子どもの興味・関心や生活に結び付いた具体的な題材を設定し、実的な活動を取り入れることで、主体的に活動できるようにする。 生活指導などにおいて、ルール理解などの実的な社会性を身に付けていくための指導目標を設定する。（順番を守る、交通ルールを知る、基本的な対人関係のルールを知る、生活に必要な法令を知るなど）

令和7年度 年間指導計画 教科等名 「自立活動」

【二つ橋高等特別支援学校の3年間でめざす資質・能力】

	「働く」 主体的に社会貢献できる職業人をめざします。 ◎働くことを目指した学びを通して、働く意味や喜びを知り、主体的に社会とつながり、もてる力を発揮し貢献する力を育てます。	「自立」 社会や他者とつながりがもてる自立した社会人をめざします。 ◎社会とつながり、多様な人々との交わりを通して、自己の理解を深め、他者と行動しながら自分らしく社会生活を送ることが出来る力を育てます。	「自己実現」 自分の幸せを思い描き、実現していく人をめざします。 ◎社会や他者を尊重し、自己の夢や希望に向かって、自分らしく幸せに生活するために自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力を育てます。
知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	社会状況の変化に応じた働くことを目指した活動を通して、働くうえでの 生きた知識や般化できる技能 を身に付けることができる。	社会とつながり多様な人々と交わったり、自立生活につながったりする知識や技能 を理解し、活用することができる。	自分の幸せや豊かな生活の実現のために 多様な見方・考え方を働かせて、生きた知識や技能 を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、できることをどう使うか)	多様化している ニーズや状況の変化、場に応じて対応 するために、 見方・考え方や判断、相談力 を身に付けることができる。	課題解決に向けて、 自己を知り、自ら目標 を立て 他者に協力 を求めたり、相談したりすることができる。	幸せな人生について考えたり、 夢や希望 を思い描いたりして、実現のために 何が必要かを考え、判断し、表す ことができる。
学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)	働く意味や喜び を見出し、 他者と協働 しながらもてる力を発揮し、社会に貢献することができる。	社会の 課題について自分ごととして考え、自己理解 を深め、 他者と協働 しながら 自分らしく社会生活 を送ることができる。	生涯を通して働くことに意味を見出し、豊かな生活のために芸術やスポーツと関わり、 幸せな生活するための素地 を作るすることができる。

目標 1年生 第1段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等

目標 2・3年生 第2段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等

個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

学習計画	1年生			2年生			3年生					
	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標(何が出来るようになるか)「◎働くための心構え」/「○作業」	方法(どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標(何が出来るようになるか)「◎働くための心構え」/「○作業」	方法(どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標(何が出来るようになるか)「◎働くための心構え」/「○作業」(A・Bそれぞれ)	方法(どのように学ぶか)
前期	4月	●ガイダンス ●アセスメントシート ●キャリアデザインシート	◎新しい自立活動の取り組み内容や目的・意義を確認する。 ◎自分のできること、苦手としていることを把握する。 ◎自分の目指す姿を自分の言葉で表現する。	アセスメントシートの結果を参考にしながらキャリアデザインシートを作成する。	4月	●ガイダンス ●アセスメントシート ●キャリアデザインシート	◎新しい自立活動の取り組み内容や目的・意義を確認する。 ◎自分のできること、苦手としていることを把握する。 ◎自分の目指す姿を自分の言葉で表現する。	アセスメントシートの結果を参考にしながらキャリアデザインシートを作成する。	4月	●ガイダンス ●アセスメントシート ●キャリアデザインシート	◎新しい自立活動の取り組み内容や目的・意義を確認する。 ◎自分のできること、苦手としていることを把握する。 ◎自分の目指す姿を自分の言葉で表現する。	アセスメントシートの結果を参考にしながらキャリアデザインシートを作成する。
	5月	●プレ相談会(1・3年生)	◎学校生活や職業のことなどを3年生に質問したり相談したりすることができるようにする。	1,3年生合同で実施。キャリアデザインシートをもとに、3年生が1年生の質問に答えたり、アドバイスをしたりする。	5月	●修学旅行に向けて ●修学旅行を終えて	◎修学旅行での自分自身の役割を意識しながら目標をたてる。 ◎修学旅行を終えて	キャリアパスポートに個人目標を記入する。 キャリアパスポートに振り返りを記入する。 記入した内容をクラス内で発表する。	5月	●プレ相談会(1・3年生)	◎1年生からの質問や相談に応じることができるようにする。	1,3年生合同で実施。キャリアデザインシートをもとに、1年生が3年生に質問をしたり相談したりする。
	6月	●第1回キャリア相談会(学年)	◎自分のキャリアデザインについて発表をしたり、相談したりすることができるようにする。	各クラス、学年で実施。キャリアデザインシートをもとに、自分のことについて発表をしたり、周りの人に相談したりする。	6月	●第1回キャリア相談会(学年)	◎自分のキャリアデザインについて発表をしたり、相談したりすることができるようにする。	各クラス、学年で実施。キャリアデザインシートをもとに、自分のことについて発表をしたり、周りの人に相談したりする。	6月	●第1回キャリア相談会(学年)	◎自分のキャリアデザインについて発表をしたり、相談したりすることができるようにする。	各クラス、学年で実施。キャリアデザインシートをもとに、自分のことについて発表をしたり、周りの人に相談したりする。
	7・8月	●個別面談に向けての準備	◎個別面談で自分のキャリアについて話ができるように整理できるようにする。	キャリアデザインシートをもとに、自分の理想や取り組むことについて面談で話せるように準備をする。夏休みの取り組みについても振り返る。	7・8月	●キャリア相談会(2・3年生)	◎学校生活や職業のことなどを3年生に質問したり相談したりすることができるようにする。	2,3年生合同で実施。「働く」「自立」「自己実現」の3つの視点で自由に相談をする。	7・8月	●キャリア相談会(2・3年生)	◎2年生からの質問や相談に応じることができるようにする。	2,3年生合同で実施。「働く」「自立」「自己実現」の3つの視点で自由に相談をする。
	9月	●個別面談に向けての準備 ●前期の振り返り	◎個別面談で自分のキャリアについて話ができるように整理できるようにする。	キャリアデザインシートをもとに、自分の理想や取り組むことについて面談で話せるように準備をする。夏休みの取り組みについても振り返る。 キャリアパスポートに振り返りを記入する。	9月	●個別面談に向けての準備 ●前期の振り返り	◎個別面談で自分のキャリアについて話ができるように整理できるようにする。	キャリアデザインシートをもとに、自分の理想や取り組むことについて面談で話せるように準備をする。夏休みの取り組みについても振り返る。 キャリアパスポートに振り返りを記入する。	9月	●個別面談に向けての準備 ●前期の振り返り	◎個別面談で自分のキャリアについて話ができるように整理できるようにする。	キャリアデザインシートをもとに、自分の理想や取り組むことについて面談で話せるように準備をする。夏休みの取り組みについても振り返る。 キャリアパスポートに振り返りを記入する。
後期	10月	●キャリア相談会に向けて	◎キャリア相談会に向けて話を整理することができる。	各クラスで実施。キャリア相談会で質問したいことや相談したいことをワークシートに記入する。	10月	●キャリア相談会に向けて	◎キャリア相談会に向けて話を整理することができる。	各クラスで実施。キャリア相談会で質問したいことや相談したいことをワークシートに記入する。	10月	●キャリア相談会に向けて	◎キャリア相談会に向けて話を整理することができる。	各クラスで実施。キャリア相談会で質問したいことや相談したいことをワークシートに記入する。
	11月	●第2回キャリア相談会(縦割り)	◎自分のキャリアデザインについて発表をしたり、相談したりすることができるようにする。	3学年合同で実施。「働く」「自立」「自己実現」の3つの視点で自由に相談をする。	11月	●第2回キャリア相談会(縦割り)	◎自分のキャリアデザインについて発表をしたり、相談したりすることができるようにする。	3学年合同で実施。「働く」「自立」「自己実現」の3つの視点で自由に相談をする。	11月	●第2回キャリア相談会(縦割り)	◎自分のキャリアデザインについて発表をしたり、相談したりすることができるようにする。	3学年合同で実施。「働く」「自立」「自己実現」の3つの視点で自由に相談をする。
	12月	●スポーツデイの目標設定(チームごと) ●スポーツデイの振り返り(チームごと)	◎スポーツデイでの自分自身の役割を意識しながら目標をたてる。	キャリアパスポートに個人目標を記入する。 キャリアパスポートに振り返りを記入する。 記入した内容をチーム内で発表する。	12月	●スポーツデイの目標設定(チームごと) ●スポーツデイの振り返り(チームごと)	◎スポーツデイでの自分自身の役割を意識しながら目標をたてる。	キャリアパスポートに個人目標を記入する。 キャリアパスポートに振り返りを記入する。 記入した内容をチーム内で発表する。	12月	●スポーツデイの目標設定(チームごと) ●スポーツデイの振り返り(チームごと)	◎スポーツデイでの自分自身の役割を意識しながら目標をたてる。	キャリアパスポートに個人目標を記入する。 キャリアパスポートに振り返りを記入する。 記入した内容をチーム内で発表する。
	1月	●第3回キャリア相談会(縦割り)→公開研究会	◎自分のキャリアデザインについて発表をしたり、相談したりすることができるようにする。	3学年合同で実施。「働く」「自立」「自己実現」の3つの視点で自由に相談をする。	1月	●第3回キャリア相談会(縦割り)→公開研究会	◎自分のキャリアデザインについて発表をしたり、相談したりすることができるようにする。	3学年合同で実施。「働く」「自立」「自己実現」の3つの視点で自由に相談をする。	1月	●第3回キャリア相談会(縦割り)→公開研究会	◎自分のキャリアデザインについて発表をしたり、相談したりすることができるようにする。	3学年合同で実施。「働く」「自立」「自己実現」の3つの視点で自由に相談をする。
	2月	●第4回キャリア相談会(縦割り)	◎自分のキャリアデザインについて発表をしたり、相談したりすることができるようにする。	1,2年生合同で実施。「働く」「自立」「自己実現」の3つの視点で自由に相談をする。	2月	●第4回キャリア相談会(縦割り)	◎自分のキャリアデザインについて発表をしたり、相談したりすることができるようにする。	1,2年生合同で実施。「働く」「自立」「自己実現」の3つの視点で自由に相談をする。	2月	●3年間の振り返り ●将来に向けて	◎3年間の生活を多面的に振り返ることができる。	キャリアパスポートに振り返りを記入する。
	3月	●後期の振り返り	◎後期を多面的に振り返ることができる。	キャリアパスポートに振り返りを記入する。	3月	●後期の振り返り	◎後期を多面的に振り返ることができる。	キャリアパスポートに振り返りを記入する。				

令和7年度 年間指導計画 教科・領域名「製造・加工」科

【二つ橋高等特別支援学校の3年間をめざす資質・能力】

	「働く」 主体的に社会貢献できる職業人をめざします。 ◎働くことを目指した学びを通して、働く意味や喜びを知り、主体的に社会とつながり、もてる力を発揮し貢献する力を育てます。	「自立」 社会や他者とつながりがもてる自立した社会人をめざします。 ◎社会とつながり、多様な人々との交わりを通して、自己の理解を深め、他者と行動しながら自分らしく社会生活を送ることができる力を育てます。	「自己実現」 自分の幸せを思い描き、実現していく人をめざします。 ◎社会や他者を尊重し、自己の夢や希望に向かって、自分らしく幸せに生活するために自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力を育てます。
知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	社会状況の変化に応じた働くことを目指した活動を通して、働くうえでの 生きた知識 や 般化できる技能 を身に付けることができる。	社会とつながり多様な人々と交わったり、自立生活につながったりする知識や技能を 理解し、活用することができる。	自分の幸せや豊かな生活の実現のために 多様な見方・考え 方を働かせて、 生きた知識や技能 を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、できることをどう使うか)	多様化している ニーズや状況の変化、場に応じて対応 できるように、 見方・考え方や判断、相談力 を身に付けることができる。	課題解決に向けて、 自己を知り、自ら目標 を立て 他者に協力 を求めたり、相談したりすることができる。	幸せな人生について考えたり、 夢や希望 を思い描いたりして、実現のために 何が必要か を考え、 判断し、表す ことができる。
学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)	働く意味や喜び を見出し、 他者と協働 しながらもてる力を発揮し、社会に貢献することができる。	社会の 課題について自分ごととして考え、自己理解 を深め、 他者と協働 しながら 自分らしく社会生活 を送ることができる。	生涯を通して働くことに意味を見出し、豊かな生活のために 芸術やスポーツと関わり、幸せな生活するための素地 を作ることができる。

目標 1年生 第1段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等	目標 2・3年生 第2段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等
--	--

目標 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力 ③学びに向かう力・人間性等
 ①メモを見返したり、調べた内容をもとに作業に必要な情報を整理することができる。 ②環境や状況に合わせた作業方法や手順などを考えることができる。 ③班でコミュニケーションをとり作業をすることができる。環境や状況を見て、自分ができることを見つけ出し取り組むことができる。

学習計画												
1年生				2年生				3年生				
月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標(何ができるようになるか)	方法(どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標(何ができるようになるか)	方法(どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか) 関連教科は★印をつけて明示	目標(何ができるようになるか)	方法(どのように学ぶか)	
4月	1クール目 <共通> ・オリエンテーション ・ミーティングの仕方 ・体験 ・挨拶練習 ・道具の名称と用法を知る ・メモの取り方	◎環境園芸の授業の目的を理解する。 ○日誌の書き方、ミーティングのやり方 ○入室室 ◎気持ちと体を整える方法を知る。	入退室の手本を見る/練習をする ラジオ体操のやり方を覚える、大きな声で挨拶をする	4月	<農作業> ・園芸技術の復習 ・夏野菜の準備 ・畑/プランターの準備 ・畑の植え付け準備(マルチ張りや施肥など) ・除草 ・熱中症予防(DVD) ・校外販売場所、地域交流場所の訪問、挨拶まわり ・用土、肥料の名称、用法の調べ学習 ・自分で土づくりをする(プランター) (用土を計量したり、配合の目安を知る)	◎前年度のメモを見返し、道具の準備、作業準備を行っている。 ◎班で協力しマルチ張りなどの作業を行うことができる。 ○水分補給の適切な目安量を知る。	2年生の畑にて	4月	<農作業> ・園芸技術の復習 ・夏野菜の準備 ・畑/プランターの準備 ・畑の植え付け準備(マルチ張りや施肥など) ・除草 ・熱中症予防(DVD) ・校外販売場所、地域交流場所の訪問、挨拶まわり ・用土、肥料の名称、用法の調べ学習 ・自分で土づくりをする(プランター) (用土を計量したり、配合の目安を知る)	◎前年度のメモを見返し、道具の準備、作業準備を行うことができる。 ◎班で協力しマルチ張りなどの作業を行うことができる。 ◎年間の活動の見通しをもち、計画性をもった作業習慣を身に付けていく。 ○1年間の活動場所を知る。	3年生の畑にて	
5月	<農作業> ・野菜、花の苗の扱い方 ・畑/プランターの準備 ・定植 ・水やり ・施肥 ・花の植えかえ ・野菜の準備 ・野菜の収穫 ・校内での野菜販売 ・野菜のラッピング ・水やり	◎道具の名前と使い方を知る。 ◎植物の扱い方を知る。 ○苗の持ち方を学ぶ。 ◎道具を安全に扱い、丁寧に片付けることができる。 ○苗の植え付け方を知る。 ○水やりの当番を決める。	道具の名前を書いて覚える 道具を実際に使ってみる 野菜苗の植え付け作業 剣スコップ、移植ゴテなどを扱う 陶芸用粘土を小さくこねて球をたくさん作る 肥料庫、畑にて	5月	・プランター/畑の土づくり ・野菜/花の苗の定植 ・大温室での作業 ・野菜の収穫 ・野菜販売【ケアブラザ】 ・校内向け収穫体験の計画 ・販売利益の管理(流通の仕組み) ・夏野菜の収穫 ・校外で販売 ・売上利益の金銭管理 ・冬野菜の準備/定植 ・自分で畑の土づくり ・冬野菜の準備/定植 ・二つ橋小学校との収穫体験の計画【地域交流】	◎用土、肥料の名称と用法を調べる。(扱うものの知識を深める。) ◎自分たちで考えながら試行錯誤してみる。 ○目的と用土の効用を考えながら計量して土づくりを行う。 ○二つ橋小学校の児童向けに作り方をレクチャする ○前年度習った花の定植方法を、メモを見返しながらやってみる	ipodを使用して調べ学習。 調べて得た知識をもとにして、土づくりを試みる 大温室にて(避暑)	5月	・プランター/畑の土づくり ・野菜/花の苗の定植 ・大温室での作業 ・野菜の収穫 ・野菜販売【ケアブラザ】 ・校内向け収穫体験の計画 ・販売利益の管理(流通の仕組み) ・夏野菜の収穫 ・校外で販売 ・売上利益の金銭管理 ・冬野菜の準備/定植 ・自分で畑の土づくり ・冬野菜の準備/定植 ・二つ橋小学校との収穫体験の計画【地域交流】	◎メモを見返したり、調べたこと、学んだことをもとに自分たちで土づくりをする。 ◎時間を意識して、目標に即した作業を行うことができる。	3年生の畑にて	
6月	<校外業務> ・ハマロードサポーター<6月?> ★職業体験実習(6月頃～)	◎スタッフの話したこと板書したことをメモ帳に記す。		6月	<製造加工> ・ハイドロボール作り	◎自分以外の人と、協力して、時間内に作業を終わらせるようにする。 ○これまでの習ったことを、確実に作業することができる。	大温室にて(避暑) プランター栽培もできる夏野菜	6月	・畑の管理、施肥(追肥) <製造加工> ・ハイドロボール作り	◎利用者の立場を考えて、作業する ◎押し木で育てる植物の知識を増やす ・畑の管理、施肥(追肥) <製造加工> ・ハイドロボール作り	◎利用者の立場を考えて、作業する ◎押し木で育てる植物の知識を増やす ◎自分以外の人と、協力して、時間内に作業を終わらせるようにする。 ○これまでの習ったことを、確実に作業することができる。	第二地域ケアブラザ 大温室
7月	<製造・加工> ・ハイドロボール作り	◎ハイドロカルチャーを陶芸用粘土で作る。 ◎肥料の植物に与える量の目安を知る。 ◎花苗の植え方を知る。		7月	<外部講師の方> ・アジサイの押し木受注作業 ・ローズマリーの押し木受注作業 <校外での業務> ・ハイドロボール作りのレクチャ(業者ハイツ、地域との地域交流) ・シャローム保育園【地域交流】 ・二つ橋小学校の落ち葉掃き【地域交流】 ・にこにらすの園庭整備	◎作業について、わからなかったら、メモを確認する。メモを確認してもわからなかったら、担当者に聞きに行く。 ○必要な物品を揃えて、作業を最後まで行い、手順を考えて片づけることができる。	大温室にて(避暑) プランター栽培もできる夏野菜	7月	・畑の管理、施肥(追肥) <製造加工> ・ハイドロボール作り	◎作業について、わからなかったら、メモを確認する。メモを確認してもわからなかったら、担当者に質問する。 ○必要な物品を揃えて、作業を最後まで行い、手順を考えて片づけることができる。	大温室(避暑) プランター栽培もできる夏野菜	
8月	<製造・加工> ・ハイドロボール作り	◎自分の課題に気づき、積極的に練習に取り組むことができる。 ○効率を意識し、いろいろな人とも作業をすることができる。		8月	<外部講師の方> ・アジサイの押し木受注作業 ・ローズマリーの押し木受注作業 <校外での業務> ・ハイドロボール作りのレクチャ(業者ハイツ、地域との地域交流) ・シャローム保育園【地域交流】 ・二つ橋小学校の落ち葉掃き【地域交流】 ・にこにらすの園庭整備	◎自分の課題に気づき、積極的に練習に取り組むことができる。 ○効率を意識し、いろいろな人とも作業をすることができる。	2年生の畑にて プランター栽培もできる夏野菜	8月	・畑の管理、施肥(追肥) <製造加工> ・ハイドロボール作り	◎園庭の利用者の使いやすさを考えて整備する。 ○与えられた時間を意識し、効率を考え、仲間と協力、分担して作業をする。	第二地域ケアブラザ	
9月	<校外業務> ・ハマロードサポーター<6月?> ★職業体験実習(6月頃～)	◎スタッフの話したこと板書したことをメモ帳に記す。		9月	<外部講師の方> ・アジサイの押し木受注作業 ・ローズマリーの押し木受注作業 <校外での業務> ・ハイドロボール作りのレクチャ(業者ハイツ、地域との地域交流) ・シャローム保育園【地域交流】 ・二つ橋小学校の落ち葉掃き【地域交流】 ・にこにらすの園庭整備	◎自分の課題に気づき、積極的に練習に取り組むことができる。 ○効率を意識し、いろいろな人とも作業をすることができる。	2年生畑にて	9月	・畑の管理、施肥(追肥) <製造加工> ・ハイドロボール作り	◎自分の課題に気づき、積極的に練習に取り組むことができる。 ○効率を意識し、協力して作業をすることができる。	3年生の畑にて	
10月	2クール目 <共通> ・メモの取り方	◎メモの取り方、書く速度などのポイントを理解する。 ○畑に肥料を与える。 ○花の植えかえ作業をする。 ◎冬野菜の収穫方法を知る。 ○野菜の販売方法を知る。	簡易作業室にて 1年生畑にて 1年生畑にて 校内の共通廊下など	10月	<外部講師の方> ・アジサイの押し木受注作業 ・ローズマリーの押し木受注作業 <校外での業務> ・ハイドロボール作りのレクチャ(業者ハイツ、地域との地域交流) ・シャローム保育園【地域交流】 ・二つ橋小学校の落ち葉掃き【地域交流】 ・にこにらすの園庭整備	◎自分の課題に気づき、積極的に練習に取り組むことができる。 ○効率を意識し、いろいろな人とも作業をすることができる。	2年生畑にて	10月	・畑の管理、施肥(追肥) <製造加工> ・ハイドロボール作り	◎園庭の利用者の使いやすさを考えて整備する。 ○与えられた時間を意識し、効率を考え、仲間と協力、分担して作業をする。	第二地域ケアブラザ	
11月	<農作業> ・施肥(追肥) ・花の植えかえ ・水やり ・収穫 ・販売 ・畑の管理 ・収穫体験の計画・振り返り【校内向け】 ・学習発表会への準備	◎畑の管理で、除草、施肥、整枝を行う。 ◎学習発表会ステージ発表の内容を話し合っって決定する。 ◎販売用に野菜の収穫をする。 ◎きれいなラッピング方法を学び実践する。		11月	<外部講師の方> ・アジサイの押し木受注作業 ・ローズマリーの押し木受注作業 <校外での業務> ・ハイドロボール作りのレクチャ(業者ハイツ、地域との地域交流) ・シャローム保育園【地域交流】 ・二つ橋小学校の落ち葉掃き【地域交流】 ・にこにらすの園庭整備	◎冬野菜の収穫方法を知る。 ○野菜の販売方法を知る。 ○畑の管理で、除草、施肥、整枝を行う。 ◎振り返りをして、改善する。	2年生畑にて 校内の共通廊下など	11月	・畑の管理、施肥(追肥) <製造加工> ・ハイドロボール作り	◎冬野菜の収穫方法を知る。 ○校外での野菜の販売方法を知る。 ◎収穫方法を他者にわかりやすく伝える。 ○畑の管理で、除草、施肥、整枝を行う。 ◎振り返りをして、改善する。 他者にわかりやすく伝えられる ◎自分たちが見つけた工夫などを伝え、引き継ぐ。	参加者が安全で楽しく収穫できるように配慮して計画する	
12月	<製造・加工> ・販売野菜のラッピング ・★職業体験実習(～2月)			12月	<外部講師の方> ・アジサイの押し木受注作業 ・ローズマリーの押し木受注作業 <校外での業務> ・ハイドロボール作りのレクチャ(業者ハイツ、地域との地域交流) ・シャローム保育園【地域交流】 ・二つ橋小学校の落ち葉掃き【地域交流】 ・にこにらすの園庭整備	◎自分の課題に気づき、積極的に練習に取り組むことができる。 ○効率を意識し、いろいろな人とも作業をすることができる。	2年生畑にて	12月	・畑の管理、施肥(追肥) <製造加工> ・ハイドロボール作り	◎自分の課題に気づき、積極的に練習に取り組むことができる。 ○効率を意識し、協力して作業をすることができる。	3年生の畑にて	
1月				1月	<外部講師の方> ・アジサイの押し木受注作業 ・ローズマリーの押し木受注作業 <校外での業務> ・ハイドロボール作りのレクチャ(業者ハイツ、地域との地域交流) ・シャローム保育園【地域交流】 ・二つ橋小学校の落ち葉掃き【地域交流】 ・にこにらすの園庭整備	◎自分の課題に気づき、積極的に練習に取り組むことができる。 ○効率を意識し、いろいろな人とも作業をすることができる。	2年生畑にて	1月	・畑の管理、施肥(追肥) <製造加工> ・ハイドロボール作り	◎自分の課題に気づき、積極的に練習に取り組むことができる。 ○効率を意識し、協力して作業をすることができる。	3年生の畑にて	
2月	・学習発表会でのプレゼンテーション ・販売計画 ※職業選択コース ・畑の撤収	◎学習発表会のステージ発表でプレゼンテーションを行う。 ○販売する場所の配置や導線を考えレイアウトする。 ◎次年度のために畑をきれいに耕す。	体育館 1年生畑にて	2月	<外部講師の方> ・アジサイの押し木受注作業 ・ローズマリーの押し木受注作業 <校外での業務> ・ハイドロボール作りのレクチャ(業者ハイツ、地域との地域交流) ・シャローム保育園【地域交流】 ・二つ橋小学校の落ち葉掃き【地域交流】 ・にこにらすの園庭整備	◎自分の課題に気づき、積極的に練習に取り組むことができる。 ○効率を意識し、いろいろな人とも作業をすることができる。	2年生畑にて	2月	・畑の管理、施肥(追肥) <製造加工> ・ハイドロボール作り	◎自分の課題に気づき、積極的に練習に取り組むことができる。 ○効率を意識し、協力して作業をすることができる。	3年生の畑にて	
3月	※職業選択コース ・畑の土壌改良 ・畑の土振るい ・肥料、用土の注文	◎次年度のために畑をきれいに耕す。 ○使った用土、肥料を2、3年生に注文する。 ◎次年度植える夏野菜について調べて希望を書く。	1年生畑にて	3月	・畑の土壌改良 ・畑の土振るい ・肥料、用土の注文 ・次年度の夏野菜の希望	◎次年度のために畑をきれいに耕す。 ○使った用土、肥料を2、3年生に注文する。 ◎次年度植える夏野菜について調べて希望を書く。	2年生畑にて	3月	・畑の土壌改良 ・畑の土振るい ・肥料、用土の注文 ・次年度の夏野菜の希望	◎次年度のために畑をきれいに耕す。 ○使った用土、肥料を2、3年生に注文する。 ◎次年度植える夏野菜について調べて希望を書く。	3年生の畑にて	

令和7年度 年間指導計画 教科等名 職業科「 オフィス・ロジスティクス 」

【二つ橋高等特別支援学校の3年間をめざす資質・能力】

Table with 4 columns: 知識・技能, 思考力・判断力・表現力, 学びに向かう力・人間性等, and 自立, 自己実現. It details learning outcomes and social skills for the vocational course.

Table with 4 columns: 目標 1 3年生 第1段階, 目標 2 3年生 第2段階, ①知識及び技能, ②思考力・判断力・表現力等, ③学びに向かう力・人間性等. It outlines specific learning goals for the 3rd year students.

Main curriculum plan table with columns for 学年 (Year), 学習計画 (Learning Plan), 1 年生 (1st Year), 2 年生 (2nd Year), and 3 年生 (3rd Year). It includes monthly details for subjects like 簿記 (Bookkeeping), オリエntation (Orientation), and office work.

令和7年度年間指導計画 教科等名 職業科「フード」

【二つ橋高等特別支援学校の3年間をめざす資質・能力】

	「働く」 主体的に社会貢献できる職業人をめざします。 ②働くことを目指した学びを通して、働く意味や喜びを知り、主体的に社会とつながり、もてる力を発揮し貢献する力を育てます。	「自立」 社会や他者とながらも自立した社会人をめざします。 ②社会とながら、多様な人々との交わりを通して、自己の理解を深め、他者と行動しながら自分らしく社会生活を送ることができるよう育てます。	「自己実現」 自分の幸せを思い描き、実現していく人をめざします。 ②社会や他者を尊重し、自己の夢や希望に向かって、自分らしく幸せに生活するために自分の人生を自分で選び、決断し、実現していく力を育てます。
知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	社会状況の変化に応じた働くことを目指した活動を通して、働くうえで 生きた知識や一般化できる技能を身に付けることができる。	社会とながら多様な人々と交わり、自立生活につながり する知識や技能を理解し、活用することができる。	自分の幸せや豊かな生活の実現のために 多様な見方・考え方を働かせて、生きた知識や技能を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、できることをどう使うか)	多様化している ニーズや状況の変化、場に応じて対応 するために、 見方・考え方や判断、相談力 を身に付けることができる。	課題解決に向けて、 自己を知り、自ら目標を立て 他者に協力を求めたり、相談したりすることができる。	幸せな人生について考えたり、 夢や希望を思い描いたりして、実現のために何が必要かを考え、判断し、表す ことができる。
学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)	働く意味や喜びを見出し、他者と協働しながらも てる力を発揮し、社会に貢献することができる。	社会の 課題について自分ごととして考え、自己理解を深め、他者と協働しながら自分らしく社会生活を送ることが できる。	生涯を通して働くことに意味を見出し、豊かな生活のために 芸術やスポーツと関わり、幸せな生活するための素地を作ることが できる。

目標 1年生 第1段階	目標 2・3年生 第2段階
①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等 ①フードサービス・販売に関する事柄について 理解 するとともに、接客などに係る技能を身に付けるようにする。 ②将来の職業生活を見据え、カフェ運営や販売、学校案内に必要な事柄を知り、課題を見いだして解決策を考えようとする力を養う。 ③よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への 参画 に向けて、カフェ運営・学校案内などを体験し、主体的に取り組もうとする実践的な態度を養う。	①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等 ①フードサービス・販売に関する事柄について 理解を深め るとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 ②将来の職業生活を見据え、カフェ運営や販売、学校案内に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を 評価・改善 し、表現する力を養う。 ③よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への 貢献 に向けて、自らカフェ運営をしたり、学校案内をしたりし、工夫して取り組もうとする実践的な態度を養う。

学習計画	1年生	2年生	3年生		
4月～5月 職業見学 オリエンテーション 入退室練習 ミーティング練習 ・服装、身だしなみ ・日誌の書き方 ・身だしなみチェック エプロン ・エプロンの扱い方 手指衛生 ・手洗い・手指消毒 ・衛生管理について おじぎ お辞儀実践 ・お辞儀の意味 ・お辞儀の角度や目線 接客業とは ・接客に必要なあいさつ ・お辞儀について 【中3授業体験】 ・中3授業体験 見学会の案内 ・中2生見学会 ・立ち振る舞い ・説明練習 ・声の出し方 ・あいさつ・おじぎ ・表情練習	①見学を通して、フード・販売のイメージをもつ。 ①・2・3年生が取り組む様子を見学し、フード・販売ではどのようなことをしているのかわかる。(知識) ②働くための基礎・基本的な知識の理解をし、技能を身に付けようとする姿勢をもつ。 ③①・縦割りグループの関係を確認し、ミーティングの仕方を知る。(学びに向かう力・人間性) (知識) ①・フードでは、何を学ぶのかを知る。(知識) ③②・ホスピタリティについて考える。(学びに向かう力・人間性) (思考・判断・表現力) ②・フードに相応しい服装は何かを考える。(思考・判断・表現力) ①・フードで決められた服装を知る。(知識) ①・フードで求められる身だしなみのレベルを知る。(知識) ①・日誌の書き方を知る。(知識) ②・何を目標に授業を受けるか考える。(思考・判断・表現力) ③①・言葉遣いに気をつけて、仲間とやりとりする。(思考・判断・表現力) (学びに向かう力・人間性) ①・エプロンの仕組みを知る。(知識) ①・エプロンの着方やたたみ方を知る。(知識・技能) ②・自分の体に合わせてエプロンのボタンを調整する。(思考・判断・表現力) ②・手洗いの意味について考える。(思考・判断・表現力) ①・衛生的な手洗いや消毒の仕方を知る。(知識・技能) ②・どのように手洗したら汚れが落ちるか実践する。(思考・判断・表現力) ②・中3生へどのように声をかけ、誘導したらいいか考え実践する。(思考・判断・表現力) ①・笑顔挨拶練習の意味ややり方を知る。(知識・技能) ③・2・3年生が、どのように接客をするのかを見て、積極的に学ぶ。(学びに向かう力・人間性)	オリエンテーション ・入退室練習 ・ミーティング練習 ショー <縦割り班で> ・1年生へ基礎基本の伝達 【カフェ開店に向けて】 ・店のレイアウト ・販売構想 ・お菓子について ・飲み物 ・お金の計算練習 ・接客 ・校内のカフェメニュー作り 見学会 【A:校内案内】 ・案内練習及び実践 【B:カフェ運営】 ・開店準備(清掃) ・立ち振る舞い ・接客 ・声の出し方 ・あいさつ・おじぎ ・表情練習 ・飲み物 ・レジン打ち ・お金の計算 ・閉店準備(片付け) 【C:販売】 ・販売物品の依頼 ・接客練習 ・POP作り ・陳列 ・会計処理 中3授業体験 【中3授業体験準備】 カフェ運営 【B:カフェ運営】 【C:販売】 見学会 【A:校内案内】 ・案内練習及び実践 【B:カフェ運営】 【C:販売】 学校案内 【A:校内案内】 ・案内練習及び実践 【B:カフェ運営】 ・開店準備(清掃) ・立ち振る舞い ・接客 ・声の出し方 ・あいさつ・おじぎ ・表情練習 ・飲み物 ・レジン打ち ・お金の計算 ・閉店準備(片付け) 【C:販売】 ・販売物品の依頼 ・接客練習 ・POP作り ・陳列 ・会計処理	①働くために必要なとされる実践的知識の理解を深め技能を定着させる。 ①食品を扱う際の注意事項(衛生管理・身だしなみ) ○挨拶・返事を適切に行う。 ○状況に応じた対応やコミュニケーションをとる。 ○報告・連絡・相談を確実に進行。 ○体調管理や清潔な身なりを心掛ける。 ○安全を考え、取り組む。 ○時間を意識して取り組む。 ○作業の効率性を考える。 ○技術の向上を目指す。 ○他者と協力して取り組む。 ○接客の基礎的な技術を身に付ける。 ②自分の課題を意識しながら作業に取り組み、振り返りを通して自己を評価し、まとめる。 ③①最上級生として、率先して様々な作業に取り組む中で、貢献する喜びを体得し、よりよい作業を目指す。 ・現場実習における自分の課題や自己目標を意識しながら、常に振り返りを行う。 ・他職種の職業や地域と連携し、つながりを深める。 ・販売やカフェの運営を行う中で、お客様と関わりながら接客に必要なコミュニケーションの学びを深める。 ・見学会のお茶出しで、実際に来校者の方とのやりとりを通して案内やお茶出しの方法を学ぶ 中3生を想定して、繰り返し練習を行う。 ・どんな言葉掛けをすれば安心してできるかを考えて、他の生徒と共有する。 見学会の案内では、実際に来校者の方とのやりとりを通して学ぶ。	①1年間の流れや作業内容の確認 <縦割り班で> ・1年生へ基礎基本の伝達 【カフェ開店に向けて】 ・店のレイアウト ・販売構想 ・お菓子について ・飲み物 ・レジン打ち ・お金の計算練習 ・接客 【見学会】 ・見学会の日程を確認 ・見学会の日程共有 ・見学会の案内内容確認 【A:校内案内】 ・案内練習及び実践 【B:カフェ運営】 ・開店準備(清掃) ・立ち振る舞い ・接客 ・声の出し方 ・あいさつ・おじぎ ・表情練習 ・飲み物 ・レジン打ち ・お金の計算 ・閉店準備(片付け) 【C:販売】 ・販売物品の依頼 ・接客練習 ・POP作り ・陳列 ・会計処理 中3授業体験 【A:中3授業体験】 【B:カフェ運営】 【C:販売】 【B:カフェ運営】 【C:販売】 中3授業体験 【B:カフェ運営】 【C:販売】 見学会の案内では、実際に来校者の方とのやりとりを通して学ぶ。	①働くために必要とされる実践的知識の理解を深め技能を定着させる。 ①食品を扱う際の注意事項(衛生管理・身だしなみ) ○挨拶・返事を適切に行う。 ○状況に応じた対応やコミュニケーションをとる。 ○報告・連絡・相談を確実に進行。 ○体調管理や清潔な身なりを心掛ける。 ○安全を考え、取り組む。 ○時間を意識して取り組む。 ○作業の効率性を考える。 ○技術の向上を目指す。 ○他者と協力して取り組む。 ○接客の基礎的な技術を身に付ける。 ②自分の課題を意識しながら作業に取り組み、振り返りを通して自己を評価し、まとめる。 ③①最上級生として、率先して様々な作業に取り組む中で、貢献する喜びを体得し、よりよい作業を目指す。 ①1年間の目標やこれまでやってきたことを振り返り、成長した自分を見つめるとともに、今後、どのように社会に貢献していくか考える。 ・これまでやってきた作業方法を1Padや書面でまとめる。1・2年生に引き継ぎを行う。
11月～2月 接客 ・接客マナー ・接客における言葉遣い ・お茶の出し方 ・ホスピタリティ ・校内案内練習	①接客の基本マナーやトレーの扱い方を知る。(知識・技能) ②どのような言葉遣いだと心地よいか考え実践する。(思考・判断・表現力) ①・お茶の出し方を知る。(知識・技能) ②・案内やお茶出しを実践する。(思考・判断・表現力) ・実践しながらお茶の出し方やトレーの持ち方を知る。 ・どのような言葉遣いが相応しいかを考え、案内の練習をする。 ・相手から見てどう感じるかを考え、お互いにフィードバックし合う。	①働くための基礎・基本的な知識の理解を深め、技能を定着させる。 ○挨拶・返事を適切に行う。 ○状況に応じた対応やコミュニケーションをとる。 ○報告・連絡・相談を確実に進行。 ○体調管理や清潔な身なりを心掛ける。 ○安全を考え、取り組む。 ○時間を意識して取り組む。 ○他者と協力して取り組む。 ○作業技術の向上 ②現場実習の経験から得られた自分の課題や適性を意識しながら作業に取り組み、振り返りを通して自己を評価し、文にまとめる。 ③自分で選んだ職業であることに責任をもち、様々な作業に進んで取り組み、任された仕事を最後までやり遂げる。	①働くために必要とされる実践的知識の理解を深め技能を定着させる。 ①食品を扱う際の注意事項(衛生管理・身だしなみ) ○挨拶・返事を適切に行う。 ○状況に応じた対応やコミュニケーションをとる。 ○報告・連絡・相談を確実に進行。 ○体調管理や清潔な身なりを心掛ける。 ○安全を考え、取り組む。 ○時間を意識して取り組む。 ○作業の効率性を考える。 ○技術の向上を目指す。 ○他者と協力して取り組む。 ○接客の基礎的な技術を身に付ける。 ②自分の課題を意識しながら作業に取り組み、振り返りを通して自己を評価し、まとめる。 ③①最上級生として、率先して様々な作業に取り組む中で、貢献する喜びを体得し、よりよい作業を目指す。		
3月 次年度準備 ・2年生に向けた準備	②これまで学習したことを振り返ると共に、2年次で行う作業の確認と準備を行う。(思考・判断・表現力) ・今までの振り返りをし、プリント記入する。 ・2年生へのイメージをつかむ。 ・2年次で行う作業内容を確認する。	①働くための基礎・基本的な知識の理解を深め、技能を定着させる。 ○挨拶・返事を適切に行う。 ○状況に応じた対応やコミュニケーションをとる。 ○報告・連絡・相談を確実に進行。 ○体調管理や清潔な身なりを心掛ける。 ○安全を考え、取り組む。 ○時間を意識して取り組む。 ○他者と協力して取り組む。 ○作業技術の向上 ②現場実習の経験から得られた自分の課題や適性を意識しながら作業に取り組み、振り返りを通して自己を評価し、文にまとめる。 ③自分で選んだ職業であることに責任をもち、様々な作業に進んで取り組み、任された仕事を最後までやり遂げる。	①働くために必要とされる実践的知識の理解を深め技能を定着させる。 ①食品を扱う際の注意事項(衛生管理・身だしなみ) ○挨拶・返事を適切に行う。 ○状況に応じた対応やコミュニケーションをとる。 ○報告・連絡・相談を確実に進行。 ○体調管理や清潔な身なりを心掛ける。 ○安全を考え、取り組む。 ○時間を意識して取り組む。 ○作業の効率性を考える。 ○技術の向上を目指す。 ○他者と協力して取り組む。 ○接客の基礎的な技術を身に付ける。 ②自分の課題を意識しながら作業に取り組み、振り返りを通して自己を評価し、まとめる。 ③①最上級生として、率先して様々な作業に取り組む中で、貢献する喜びを体得し、よりよい作業を目指す。		

令和 7年度 年間指導計画 教科等名 職業科「清掃・介護」

【二つ橋高等特別支援学校の3年間をめざす資質・能力】			
	「働く」 主体的に社会貢献できる職業人をめざします。 ◎働くことを目指した学びを通して、働く意味や喜びを知り、主体的に社会とつながり、もてる力を発揮し貢献する力を育てます。	「自立」 社会や他者とながりがもてる自立した社会人をめざします。 ◎社会とながり、多様な人々との交わりを通して、自己の理解を深め、他者と行動しながら自分らしく社会生活を送ることができるよう育てます。	「自己実現」 自分の幸せを思い描き、実現していく人をめざします。 ◎社会や他者を尊重し、自己の夢や希望に向かって、自分らしく幸せに生活するために自分の人生を自分で選び、決定し、実現していく力を育てます。
知識・技能 (何を理解しているか、何ができるか)	社会状況の変化に応じた働くことを目指した活動を通して、働くうえで 生きた知識や一般化できる技能 を身に付けることができる。	社会とながりが多様な人々と交わったり、自立生活につながったり する知識や技能を理解し、活用することができる。	自分の幸せや豊かな生活の実現のために 多様な見方・考え 方を働かせて、 生きた知識や技能 を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力 (理解していること、できることをどう使うか)	多様化している ニーズや状況の変化、場に応じて対応 できるように、 見方・考え方や判断、相談力 を身に付けることができる。	課題解決に向けて、 自己を知り、自ら目標 を立て 他者に協力 を求めたり、相談したりすることができる。	幸せな人生について考えたり、 夢や希望 を思い描いたりして、実現のために 何が必要かを考え、判断し、表す ことができる。
学びに向かう力、人間性等 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)	働く意味や喜び を見出し、 他者と協働 しながらもてる力を発揮し、 社会に貢献 することができる。	社会の 課題について自分ごと として考え、 自己理解 を深め、 他者と協働 しながら自分らしく社会生活を送ることができる。	生涯を通して働くことに 意味 を見出し、豊かな生活のために 芸術やスポーツ と関わり、 幸せな生活するための素地 を作ることができる。
目標 1年生 第1段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等		目標 2・3年生 第2段階 ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力等 ③学びに向かう力・人間性等	
①職業に関する事柄について 理解 するとともに、将来の職業生活に係る 技能 を身に付けるようにする。 ②将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見だして課題を設定し、 解決策 を考え、実践を 評価 し、表現する力を養う。 ③よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への 参画 に向けて、生活を 工夫 しようとする実践的な態度を養う。		①職業に関する事柄について 理解 を 深める とともに、将来の職業生活に係る 技能 を身に付けるようにする。 ②将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見だして課題を設定し、 解決策 を考え、実践を 評価 ・ 改善 し、表現する力を養う。 ③よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への 貢献 に向けて、生活を 改善 しようとする実践的な態度を養う。	

1年生					2年生					3年生								
学習計画			学習計画		学習計画			学習計画		学習計画			学習計画		学習計画			
月	学習内容(何を学ぶか)	関連教科は★印をつけて明示	目標(何ができるようになるか)	◎働くための心構え／「O」作業	方法(どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか)	関連教科は★印をつけて明示	目標(何ができるようになるか)	◎働くための心構え／「O」作業	方法(どのように学ぶか)	月	学習内容(何を学ぶか)	関連教科は★印をつけて明示	目標(何ができるようになるか)	◎働くための心構え／「O」作業 (A・Bそれぞれ)	方法(どのように学ぶか)	
	ミーティング 日誌記入 持ち物、身だしなみチェック		働く上での心構えを身に付ける (学びに向かう力、人間性等) ・成果や課題を次につながる姿勢をもつ (思考力・判断力・表現力) ・働く準備を整える(知識・技能)		・実際の職場を想定した場面設定を行い、持ち物、身だしなみを確認する。 ・適切な挨拶、返事、言葉遣いでミーティングを行う。 ・その日の活動をふり取り、スタッフと確認する。		1年を通して身に付けたい力 ・指示理解 ・報告、連絡、相談 ・同僚とのコミュニケーション ・時間の意識 ・言葉遣い ・身だしなみ											
4月	◎オリエンテーション ◎ウエス清掃 ・絞り方、色分け、拭き方、片付け ◎自在ぼうき清掃 ・ほうきやとちりごりの持ち方、使い方		・授業の流れがわかる(知識・技能) ・働くために大切なことを理解する (学びに向かう力、人間性等) ・正しい清掃手順を身に付ける(知識・技能)		・授業の流れや流通サービスで大切なことについてスタッフの話を聞く。 ・外部講師から道具の使い方、清掃手順を学び実践を通して学ぶ。 ・止給生と清掃を行い、次年度に向けての課題を確認する。	【通年】 ◎家老ハイツ集会所清掃 ◎こまち清掃 ◎校内清掃 ・教室 ・特別教室 ・廊下、階段 等 ⇒1人・2人・複数名での清掃 【6月】 ◎プール清掃 縦割りでの活動 ◎1年生 ◎3年生	4月	1年を通して身に付けたい力 ◎メモをとり、作業内容の確認や作業方法の記録をする ◎作業前のミーティングで効率の良い方法を考え、話し合う ◎作業後のミーティングで自分の意見を伝えたり、相手の意見聞き、振り返りを行ったりする ◎授業毎に個人の振り返り、教員からのフィードバックを行い、自分の課題や今後の目標を考える				4月	目標設定(学びに向かう力)		自分の目標を設定し、主体的に授業を受けられるようにする (学びに向かう力・人間性等)			
5月	◎ハマロード清掃(通年) ・ゴミ拾い ・除草 ・落ち葉拾い		・外の清掃方法について知る(知識・技能) ・地域との関わりを知り、校外を清掃する経験を通す (思考力・判断力・表現力)		・受注元について、スタッフの話を聞き、責任感をもって作業できるようにする。 ・受注内容について全体指示を行い、正確に作業ができるか確認する。 ・くり返し行う活動では、作業効率を高める。	5月 ◎3年生 ・清掃手技の確認・スキルアップ ・協働の経験を通す		・作業前に話し合いの時間を設ける ・自分たちもお客様になり、評価をする経験をする ・安全面や衛生面に注意した作業を徹底し、けがや事故の未然防止に務めた作業の進め方を考え、実践する				5月	◎教室清掃 ◎ハマロード清掃 ◎校内清掃 ◎校内ポリッシュャー・ワックスかけ ◎プール清掃		・仕事であることを意識し、安全を意識して取り組むことができる (学びに向かう力・人間性等) ・正確な手順で作業をすることができる(知識及び技能) ・自分たちで主体的に清掃を進めることができる。 (思考力・判断力・表現力等)		・班で話し合い、清掃道具を選んだり、清掃手順を考えたりする。 ・スタッフだけではなく、班の人の報告・相談をする。 ・清掃終了後に振り返りを行い、班や個人での feedback や次回に向けての取り組み等を共有する。	
6月	◎モップ清掃 ・モップの持ち方、使い方 ◎スクイージー清掃 ・スクイージーの持ち方、使い方 ◎ブル清掃		・正しい清掃手順を身に付ける(知識・技能)		・外部講師から道具の使い方、清掃手順を学び実践を通して学ぶ。	6月	◎3年生 ・清掃手技の確認・スキルアップ ・協働の経験を通す		・指示を出し過ぎず、自分たちで考え相談できるようにする			6月						
7月	◎教室清掃 ・清掃手技の実践		・正しい清掃手順を身に付ける(知識・技能) ・学習したことを活かして清掃する (思考力・判断力・表現力)		・正しい清掃手順をその都度確認しながら清掃を行う。 ・工程表をもとに、効率の良い順番を考え、実践する。	7月	外部講師講習 ・トイロ清掃(5月) ・掃除機(10月) ・ポリッシャー・ワックスかけ(10月)	素者ハイツ清掃 ①清掃用具の数や清掃方法をグループで相談する ②お客様を意識し、清掃用具や清掃方法を状況に応じて工夫する ③移動時間や片付け時間考え、自分たちで計画を立てる ④地域との関りの中で仕事をする楽しさや達成感を感じる			7月	◎外部清掃 ◎嶋の森保育園 ◎上川井幼稚園 ◎こまち清掃		・受注先の求めていることを意識し、仕事に取り組むことができる (学びに向かう力・人間性等) ・これまで習った清掃技術を利用し、場に応じた清掃方法を選択することができる。 (思考力・判断力・表現力等) ・班で協力して時間内に終わらせることができる。 (思考力・判断力・表現力等)		・学校で習った技術を活用し、班でその場に合った清掃方法を考える。 ・班で保育園で清掃するうえで起こりうる危険性を予測し、安全な清掃を考える。 ・その場に合った表情や話し方、動き方などのようなもの事前、事後に話し合う。		
9月	◎洗面台清掃 ・手順を知る		・指示を正しく理解し、正確に作業ができる(知識・技能) ・正確、安全に、効率よく作業できるように工夫する (思考力・判断力・表現力)		・受注元について、スタッフの話を聞き、責任感をもって作業できるようにする。 ・受注内容について全体指示を行い、正確に作業ができるか確認する。 ・くり返し行う活動では、作業効率を高める。	9月	縦割り授業 ＜1年生＞ ・授業の流れや清掃の基本的な手技を教える ・協働を通して職場を意識した適切な言葉遣いやマナーを身に付ける ・作業内容を理解し、協働する相手に報道することを忘れずに仕事に取り組む ＜3年生＞ ・よりレベルの高い清掃手技を学ぶ ・協働を通して職場を意識した適切な言葉遣いやマナーを身に付ける ・作業内容を理解し、協働する相手に報道することを忘れずに仕事に取り組む				9月							
10月	◎教室清掃 ・複数名での清掃 ・2人1組での清掃		正しい手順で清掃する(知識・技能) 学習したことを活かして清掃する (思考力・判断力・表現力) 同僚と協力して効率よく清掃する (学びに向かう力、人間性等)		正しい手順で清掃する(知識・技能) 学習したことを活かして清掃する (思考力・判断力・表現力) 同僚と協力して効率よく清掃する (学びに向かう力、人間性等)	10月	◎3年生 ・清掃手技の確認・スキルアップ ・協働の経験を通す					10月						
11月	◎教室清掃 ・複数名での清掃 ・2人1組での清掃		正しい手順で清掃する(知識・技能) 学習したことを活かして清掃する (思考力・判断力・表現力) 同僚と協力して効率よく清掃する (学びに向かう力、人間性等)		正しい手順で清掃する(知識・技能) 学習したことを活かして清掃する (思考力・判断力・表現力) 同僚と協力して効率よく清掃する (学びに向かう力、人間性等)	11月						11月						
12月	◎教室清掃 ・複数名での清掃 ・2人1組での清掃 ・1人での清掃		正しい手順で清掃する(知識・技能) 学習したことを活かして清掃する (思考力・判断力・表現力) 同僚と協力して効率よく清掃する (学びに向かう力、人間性等)		正しい手順で清掃する(知識・技能) 学習したことを活かして清掃する (思考力・判断力・表現力) 同僚と協力して効率よく清掃する (学びに向かう力、人間性等)	12月						12月						
1月	◎教室清掃 ・複数名での清掃 ・2人1組での清掃 ・1人での清掃		正しい手順で清掃する(知識・技能) 学習したことを活かして清掃する (思考力・判断力・表現力) 同僚と協力して効率よく清掃する (学びに向かう力、人間性等)		正しい手順で清掃する(知識・技能) 学習したことを活かして清掃する (思考力・判断力・表現力) 同僚と協力して効率よく清掃する (学びに向かう力、人間性等)	1月						1月						
2月	◎教室清掃 ・複数名での清掃 ・2人1組での清掃 ・1人での清掃		正しい手順で清掃する(知識・技能) 学習したことを活かして清掃する (思考力・判断力・表現力) 同僚と協力して効率よく清掃する (学びに向かう力、人間性等)		正しい手順で清掃する(知識・技能) 学習したことを活かして清掃する (思考力・判断力・表現力) 同僚と協力して効率よく清掃する (学びに向かう力、人間性等)	2月						2月						
3月	◎教室清掃 ・複数名での清掃 ・2人1組での清掃 ・1人での清掃 ◎家老ハイツ清掃に向けて		正しい手順で清掃する(知識・技能) 学習したことを活かして清掃する (思考力・判断力・表現力) 同僚と協力して効率よく清掃する (学びに向かう力、人間性等)		正しい手順で清掃する(知識・技能) 学習したことを活かして清掃する (思考力・判断力・表現力) 同僚と協力して効率よく清掃する (学びに向かう力、人間性等)	3月						3月						